

日本循環器学会 会告

Contents

- 4** 第83回日本循環器学会学術集会
- 開催概要
 - チーム医療セッション
 - プレレジストレーションのお知らせ
 - プレナリーセッション・シンポジウム・一般演題要項
 - 宿泊のご案内
 - 学術集会問い合わせ先のご案内
- 98** 第84回日本循環器学会学術集会・アジア太平洋心臓病学会
- 開催概要
- 99** 第3回日本循環器学会基礎研究フォーラム
- 100** 2019年度日本循環器学会基礎研究助成募集要項
- 101** 循環器専門医制度
- 第83回日本循環器学会学術集会の循環器専門医研修単位について
 - 2019年からの新しい循環器専門医制度のご案内
 - 循環器専門医認定更新のご案内／資格認定更新申請書／所定単位表
 - 2019年度日本循環器学会認定循環器専門医資格認定審査について
 - 「循環器専門医カード」再発行のご案内／循環器専門医カード再発行申請書
- 111** 会員ポータルサイト開始のお知らせと利用に伴うお願い
- 112** 2019年度実施 代議員(社員)選挙・理事選挙のお知らせ
- 114** 地方会・関連学会・研究会情報
- 日本循環器学会地方会情報
 - 海外学会情報
 - その他の学会開催情報
 - 研究助成
- 118** Circulation Journal 英文姉妹誌 Circulation Reports 創刊のご案内
- 119** ACLS 講習会情報
- 123** 映像教材販売のご案内
- 128** 事務局からのお知らせ
- 登録事項変更届

2019
No.1

頻脈性心房細動治療に
テープ剤という
新たな選択肢。



経皮吸収型・β₁遮断剤 薬価基準収載

処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）

β ビソ テープ[®] 4mg・8mg
(ビソプロロール・テープ剤) *Bisono tape 4mg・8mg*

効能・効果
追加

テープ剤
改良

経皮吸収型・β₁遮断剤 薬価基準未収載

処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）

β ビソ テープ[®] 2mg
(ビソプロロール・テープ剤) *Bisono tape 2mg*

発売
準備中

ビソテープの特性



- 1 本態性高血圧症、頻脈性心房細動治療薬※1にテープ剤という、新たな選択肢。
- 2 24時間にわたり降圧効果と心拍数調節効果を示します。
- 3 頻脈性心房細動治療の用量調節を可能にするため、2mgを追加※2。
- 4 汗をかいてもはがれにくい製剤に改良しました。
- 5 本態性高血圧症（軽症～中等症）承認時における副作用は789例中233例（29.5%）に認められ、主なものは適用部位そう痒感56例（7.1%）、適用部位皮膚炎29例（3.7%）、適用部位紅斑17例（2.2%）等でした。また、主な臨床検査値異常変動は、血中トリグリセリド増加20例（2.5%）、ALT（GPT）の上昇13例（1.6%）、血中尿酸増加12例（1.5%）、好酸球百分率増加12例（1.5%）等でした。頻脈性心房細動承認時における副作用は247例中43例（17.4%）に認められ、主なものは適用部位皮膚炎9例（3.6%）、適用部位そう痒感6例（2.4%）、心不全3例（1.2%）等でした。また、臨床検査値異常変動は3例（1.2%）であり、肝機能検査値上昇2例（0.8%）、血小板数減少1例（0.4%）でした。重大な副作用として心不全（0.6%）、完全房室ブロック、高度徐脈、洞不全症候群（いずれも頻度不明）が報告されています。

※1: ビソテープ2mgの効能・効果: 頻脈性心房細動 ビソテープ4mg・8mgの効能・効果: 本態性高血圧症（軽症～中等症）、頻脈性心房細動
 ※2: 2mg規格については発売準備中

【禁忌（次の患者には投与しないこと）】（抜粋）

1. 高度の徐脈（著しい洞性徐脈）、房室ブロック（Ⅱ、Ⅲ度）、洞房ブロック、洞不全症候群のある患者
2. 糖尿病性ケトアシドーシス、代謝性アシドーシスのある患者
3. 心原性ショックのある患者
4. 肺高血圧による右心不全のある患者
5. 強心薬又は血管拡張薬を静脈内投与する必要のある心不全患者
6. 非代償性の心不全患者
7. 重度の末梢循環障害のある患者（壊疽等）
8. 未治療の褐色細胞腫の患者
9. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人
10. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効能・効果】 1. 本態性高血圧症（軽症～中等症） 2. 頻脈性心房細動（ビソテープ2mgの効能・効果は頻脈性心房細動のみ）
 【用法・用量】 1. 本態性高血圧症（軽症～中等症） 通常、成人にはビソプロロールとして8mgを1日1回、胸部、上腕部又は背部のいずれかに貼付し、貼付後24時間ごとに貼りかえる。なお、年齢、症状により1日1回4mgから投与を開始し、1日最大投与量は8mgとする。2. 頻脈性心房細動 通常、成人にはビソプロロールとして1日1回4mgから投与を開始し、効果が不十分な場合には1日1回8mgに増量する。本剤は胸部、上腕部又は背部のいずれかに貼付し、貼付後24時間ごとに貼りかえる。なお、年齢、症状により適宜増減するが、

1日最大投与量は8mgとする。

【用法・用量に関連する使用上の注意】 (1) 褐色細胞腫の患者では、本剤の単独投与により急激に血圧が上昇することがあるので、α遮断剤で初期治療を行った後に本剤を投与し、常にα遮断剤を併用すること。(2) 腎機能障害のある患者では、本剤の血中濃度が上昇するおそれがあるため低用量から投与を開始することを考慮すること。〔薬物動態〕の項参照。(3) 頻脈性心房細動を合併する本態性高血圧症の患者に投与する場合、頻脈性心房細動の用法・用量は1日1回4mgから開始することに留意した上で、各疾患の指標となる血圧や心拍数、症状等に応じ、開始用量を設定すること。

【使用上の注意】（抜粋） 1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること） (1) 気管支喘息、気管支痙攣のおそれのある患者 (2) つつ血性心不全のおそれのある患者 (3) 特発性低血糖症、コントロール不十分な糖尿病、長期間絶食状態の患者 (4) 甲状腺中毒症の患者 (5) 腎機能障害のある患者 (6) 重篤な肝機能障害のある患者 (7) 末梢循環障害のある患者（レイノー症候群、間欠性跛行症等） (8) 徐脈、房室ブロック（Ⅰ度）のある患者 (9) 過度に血圧の低い患者 (10) 異型狭心症の患者 (11) 乾癬の患者又は乾癬の既往のある患者 (12) 高齢者 2. 重要な基本的注意 (1) 投与が長期にわたる場合は、心機能検査（脈拍、血圧、心電図、X線等）を定期的に行うこと。徐脈又は低血圧の症状があらわれた場合には減量又は投与を中止すること。また、必要に応じアトロピンを使用すること。なお、肝機能、腎機能、血液像等に注意すること。(2) 類似化合物（プロプラノロール塩酸塩）使用中の狭心症患者で急に投与を中止したとき、症状が悪化したとき、筋梗塞を起こした症例が報告されているので、休薬を要する場合は徐々に減量し、観察を十分に行うこと。また、患者に医師の指示なしに使用を中止しようとするなど、特に高齢者においては同様の注意を要すること。(3) 甲状腺中毒症の患者では急に投与を中止すると、症状が悪化させることがあるので、休薬を要する場合には徐々に減量し、観察を十分に行うこと。(4) 手術前48時間は投与しないことが望ましい。(5) めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、本剤投与中の患者（特に投与初期）には自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意を要すること。(6) 心不全を合併する患者では本剤投与により心不全の症状を悪化させる可能性があるため、心機能検査を行う等、観察を十分に行うこと。(7) 本剤の貼付により皮膚症状を起こすことがあるので、本剤の使用が適切であるか慎重に判断すること。また、本剤の貼付に際しては貼付部位を毎回変更すること。皮膚症状があらわれた場合には、ステロイド軟膏等を投与するか、本剤を投与中止するなど適切な処置を行うこと。 3. 相互作用 併用注意（併用に注意すること） 交感神経系に対し抑制的に作用する薬剤（レセルピン等）、血糖降下剤（インスリン製剤、トルブタミド等）、Ca拮抗剤（ベラパミル塩酸塩、ジルチアゼム塩酸塩等）、ジギタリス製剤（ジゴキシン、メチルジゴキシン）、クロニジン塩酸塩、グアネシス酢酸塩、クラスⅠ抗不整脈剤（ジソピラミドリン酸塩、プロカイナミド塩酸塩、アジマリン等）、クラスⅢ抗不整脈剤（アミオダロン塩酸塩）、非ステロイド性抗炎症剤（インドメタシン等）、降圧作用を有する薬剤（降圧剤、硝酸剤）、フィンゴリド塩酸塩 4. 副作用 本態性高血圧症 臨床試験（承認時まで）：総症例数789例中、副作用が報告されたのは233例（29.5%）であり、その主なものは、適用部位そう痒感56例（7.1%）、適用部位皮膚炎29例（3.7%）、適用部位紅斑17例（2.2%）等であった。また、主な臨床検査値異常変動は、血中トリグリセリド増加20例（2.5%）、ALT（GPT）の上昇13例（1.6%）、血中尿酸増加12例（1.5%）、好酸球百分率増加12例（1.5%）等であった。頻脈性心房細動 臨床試験（承認時まで）：総症例数247例中、副作用が報告されたのは43例（17.4%）であり、その主なものは、適用部位皮膚炎9例（3.6%）、適用部位そう痒感6例（2.4%）、心不全3例（1.2%）等であった。また、臨床検査値異常変動が報告されたのは3例（1.2%）であり、肝機能検査値上昇2例（0.8%）、血小板数減少1例（0.4%）であった。(1) 重大な副作用 心不全（0.6%）、完全房室ブロック、高度徐脈、洞不全症候群（いずれも頻度不明）があらわれることがあるので、心機能検査を定期的に行い、このような副作用が発現した場合には減量又は投与を中止するなどの適切な処置を行うこと。

■その他の使用上の注意等詳細は、製品添付文書をご参照下さい。

トーアイヨー
製造販売

astellas
販売 アステラス製薬

2019年1月作成
(BTB51071)

体外診断用医薬品

認証番号 228ABEZ00080000

保険適用

ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白キット

ヴェリファスト® H-FABP



1回用



5回用

使用目的、用法・用量を含む使用上の注意等については
添付文書を参照してください。

包装：テストプレート 1枚 (1回用) / 5枚 (5回用)

製造販売業者

バイオリンクス株式会社

〒224-0065

神奈川県横浜市都筑区高山 18-6

製造元

株式会社日本凍結乾燥研究所

東京都清瀬市松山三丁目 1 番 5 号

販売元

日本ビーシージー製造株式会社

(資料請求先)

カスタマーセンター

〒112-0012

東京都文京区大塚一丁目 5 番 21 号

TEL 03-5395-5590

<http://www.bcg.gr.jp/>

第83回日本循環器学会学術集会 (JCS2019)

開催概要

会 期：2019年3月29日(金)～31日(日)
会 長：小室 一成 (東京大学大学院医学系研究科 循環器内科学 教授)
会 場：パシフィコ横浜

メインテーマ：循環器病学 Renaissance — 未来医療への処方箋
Renaissance of Cardiology for the Creation of Future Medicine

1. 美甘レクチャー(日本心臓財団美甘基金) 〈英語〉
(3月30日(土) 14:55～15:40 パシフィコ横浜 国立大ホール)
Napoleone Ferrara (Department of Pathology, University of California San Diego, USA)
座長：Masatsugu Hori (Osaka International Cancer Institute)
2. 真下記念講演 〈日本語〉
TGF-beta Family Signaling in Cardiovascular Diseases
(3月29日(金) 14:40～15:25 パシフィコ横浜 国立大ホール)
宮園 浩平(東京大学 分子病理学)
座長：矢崎 義雄(日本心臓血圧研究振興会)
3. 会長講演 〈日本語〉
Task and Future Outlook of Cardiology - History of 30 Years as a Physician Scientist
(3月29日(金) 15:30～16:15 パシフィコ横浜 国立大ホール)
小室 一成(東京大学 循環器内科学)
座長：矢崎 義雄(東京医科大学)
4. 代表理事講演 〈日本語〉
Task and Outlook of Cardiovascular Medicine in Japan - Future Direction of the JCS
(3月30日(土) 13:20～13:40 パシフィコ横浜 国立大ホール)
小室 一成(東京大学 循環器内科学)
座長：小川 久雄(国立循環器病研究センター)
5. 横浜宣言 〈日本語〉
知ってほしい、あなたの心臓の守り方
(3月30日(土) 13:40～13:50 パシフィコ横浜 国立大ホール)
小室 一成(東京大学 循環器内科学)
6. 日本心臓財団設立50年記念シンポジウム 〈日本語〉
(3月29日(金) 13:40～14:40 パシフィコ横浜 国立大ホール)
座長：矢崎 義雄(日本心臓財団 代表理事)
演 者：
 1. 山口 徹(日本心臓財団 業務執行理事)
 2. 林田健太郎(慶應義塾大学 循環器内科)
 3. 赤澤 宏(東京大学 循環器内科学)

7. 会長特別講演

〈日本語〉

- (1) Innovative Cybernic System for Medical and Social Innovation
(3月30日(土) 16:50~17:35 パシフィコ横浜 国立大ホール)
山海 嘉之(筑波大学 システム情報系 教授/筑波大学 サイバニクス研究センター 研究統括/内閣府 ImPACT 革新的研究開発推進プログラム プログラムマネージャー/CYBERDYNE 株式会社 代表取締役社長/CEO)
座長: 松崎 益徳(聖比留会セントヒル病院/山口大学 名誉教授/元日循理事長)
- (2) (3月30日(土) 17:35~18:20 パシフィコ横浜 国立大ホール)
門脇 孝(東京大学 特任教授/帝京大学 病態栄養学講座常勤客員教授)
座長: 島本 和明(日本医療大学 真栄キャンパス)
- (3) Artificial Intelligence for Medical Applications
(3月31日(日) 10:10~10:55 パシフィコ横浜 会議センター, 1階「メインホール」)
三宅 淳(大阪大学 国際医工情報センター)
座長: 細田 瑳一(自治医科大学 名誉教授)

8. 国際名誉会員講演

〈英語〉

- (1) Memorial Lecture in Honor of the Dr. Sam-Soo Kim
(3月29日(金) 16:30~17:00 パシフィコ横浜 国立大ホール)
Jae Oh(Mayo Clinic, USA)
Chuwa Tei(Waon Therapy Research Institute, Tokyo)
座長: Katsuo Kanmatsuse(Tokyo Heart Center, Tokyo)
- (2) (3月29日(金) 17:00~17:30 パシフィコ横浜 国立大ホール)
Fausto J. Pinto(University of Lisbon, Portugal)
座長: Sasayama Shigetake(Uji Hospital, Kyoto)
- (3) Genetic Determinants of Dilated Cardiomyopathy
(3月29日(金) 17:30~18:00 パシフィコ横浜 国立大ホール)
Christine E. Seidman(Brigham and Women's Hospital and Harvard Medical School, USA)
座長: Masakazu Yamagishi(Osaka University of Human Sciences, Suita)

9. 特別講演

〈英語〉

- (1) Pulmonary Venous Occlusive Disease
(3月29日(金) 9:40~10:25 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
Marc Humbert(University of South Paris, France)
座長: Keiichi Fukuda (Department of Cardiology, Keio University School of Medicine, Tokyo)
- (2) (3月29日(金) 10:25~11:10 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
Juan Carlos Izpisua Belmonte(Salk Institute for Biological Studies, USA)
座長: Ichiro Shiojima (Department of Medicine II, Kansai Medical University, Hirakata)
- (3) (3月29日(金) 13:50~14:35 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
Gordon F. Tomaselli(Albert Einstein College of Medicine, USA)
座長: Hiroshi Kasanuki(Waseda University, Tokyo)
- (4) The Expanding Regulatory Influence of Protein Kinase G
(3月29日(金) 14:35~15:20 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
David A. Kass(Johns Hopkins University School of Medicine, USA)
座長: Chuwa Tei(Waon Therapy Research Institute, Tokyo)

- (5) Use of iPS Cells in Cardiac Repair: Challenges & Opportunities
 (3月29日(金) 16:30~17:15 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
 Joshua Hare(University of Miami Miller School of Medicine, USA)
 座長: Yoshiki Sawa(Division of Cardiovascular Surgery, Department of Surgery,
 Osaka University Graduate School of Medicine, Suita)
- (6) (3月29日(金) 17:15~18:00 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
 Douglas L. Mann(Cardiovascular Division, Washington University School of Medicine,
 USA)
 座長: Yasushi Sakata(Department of Cardiovascular Medicine, Osaka University
 Graduate School of Medicine, Suita)
- (7) Expanding Indications of TAVR
 (3月30日(土) 15:50~16:35 パシフィコ横浜 会議センター, 1階「メインホール」)
 Stephan Windecker(Bern University Hospital, Switzerland)
 座長: Kyoichi Mizuno(Mitsukoshi Health and Welfare Foudation, Tokyo)
- (8) Cellular Heterogeneity in Cardiovascular Repair
 (3月30日(土) 14:10~14:55 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
 Stefanie Dimmeler(Goethe University, Germany)
 座長: Toyoaki Murohara(Department of Cardiology, Nagoya University Graduate
 School of Medicine, Nagoya)
- (9) (3月30日(土) 14:55~15:40 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
 Ivor Benjamin(American Heart Association, USA)
 座長: Hisayoshi Fujiwara(Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center,
 Amagasaki)
- (10) Interventional Cardiology: Present and Future
 (3月31日(日) 10:55~11:40 パシフィコ横浜 会議センター, 1階「メインホール」)
 Antonio Colombo(EMO GVM Centro Cuore Columbus, Italy / San Raffaele Hospital,
 Italy)
 座長: Takeshi Kimura(Department of Cardiovascular Medicine, Kyoto University
 Graduate School of Medicine, Kyoto)
- (11) Transcriptional Control of Cardiac Regeneration and Reprogramming
 (3月31日(日) 15:10~15:55 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「503」)
 Eric N. Olson(University of Texas Southwestern Medical Center, USA)
 座長: Issei Komuro(Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of
 Medicine, The University of Tokyo, Tokyo)
- (12) (3月31日(日) 15:55~16:40 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「503」)
 Joseph A. Hill(UT Southwestern Medical Center, USA)
 座長: Tetsuji Miura(Department of Cardiovascular, Renal and Metabolic Medicine,
 Sapporo Medical University, Sapporo)

10. 招聘講演

〈英語〉

- (1) (3月29日(金) 13:50~14:20 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「301」)
 Christian Butter(Heart Center Brandenburg, Germany)
 座長: Minoru Ono(Department of Cardiac Surgery, Graduate School of Medicine,
 The University of Tokyo, Tokyo)

- (2) (3月29日(金) 14:20~14:50 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「301」)
Eberhard Grube(University Hospital Bonn, Germany)
座長: Hirofumi Takemura (Department of Thoracic, Cardiovascular and General Surgery, Kanazawa University, Kanazawa)
- (3) (3月29日(金) 14:50~15:20 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「301」)
Joao A. C. Lima(Johns Hopkins University, USA)
座長: Masahiro Jinzaki (Department of Radiology, Keio University School of Medicine, Tokyo)
- (4) Heart Failure and Diabetes : the Dangerous Liaisons
(3月29日(金) 16:30~17:00 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「301」)
Michel Komajda(Saint Joseph Hospital, Department of Cardiology, France)
座長: Takashi Akasaka (Department of Cardiovascular Medicine, Wakayama Medical University, Wakayama)
- (5) Cloud-based Information Extraction, Phrase Mining, and Analysis of User-defined Phrase-category Association: Applications in Cardiovascular Medicine
(3月30日(土) 9:40~10:10 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
Peipei Ping(David Geffen School of Medicine, UCLA, USA)
座長: Koichi Node (Department of Cardiovascular Medicine, Saga Univeristy, Saga)
- (6) Device Closure of Intracardiac Shunts - PFO, ASD and VSD, Hints and Tips
(3月30日(土) 10:20~10:50 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
Peter Zartner(German Pediatric Heart Center, Germany)
座長: Yoshihide Mitani (Department of Pediatrics, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu)
- (7) (3月30日(土) 10:50~11:20 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
James F. Martin(Baylor College of Medicine, USA)
座長: Ken-Ichi Hirata(Cardiovascular Medicine, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe)
- (8) The Frontiers of Genomic Science and Medicine
(3月30日(土) 11:20~11:50 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
Heribert Schunkert (German Heart Center Munich, Technical University Munich, Germany)
座長: Wataru Shimizu (Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo)
- (9) Human Pluripotent Stem Cell-derived Cardiomyocytes as a Target Platform for Dissecting Cardiac Survival Factors
(3月30日(土) 16:50~17:20 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
Michael David Schneider (British Heart Foundation Centre of Research Excellence, Imperial College London, UK)
座長: Yasuchika Takeishi (Department of Cardiovascular Medicine, Fukushima Medical University, Fukushima)
- (10) (3月30日(土) 17:20~17:50 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
Mona Nemer(Government of Canada, Canada)
座長: Koji Maemura (Department of Cardiovascular Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki)

- (11) AI-powered Single Cell Analysis to Explore Mechanisms for Macrophage Heterogeneity
 (3月30日(土) 17:50~18:20 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
 Masanori Aikawa (Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School, USA)
 座長: Masataka Sata (Department of Cardiovascular Medicine, Tokushima University Graduate School, Tokushima)
- (12) (3月31日(日) 13:30~14:00 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
 Gudrun Feuchtner (Innsbruck Medical University, Austria)
 座長: Yasuki Kihara (Department of Cardiovascular Medicine, Hiroshima University Graduate School of Biomedical & Health Sciences, Hiroshima)
- (13) (3月31日(日) 14:00~14:30 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
 Javid Moslehi (Vanderbilt School of Medicine, USA)
 座長: Hiroshi Itoh (Department of Cardiovascular Medicine, Okayama University Graduate School of Medicine, Okayama)
- (14) 25 Years of Cardiac Tissue Engineering - A Translational Journey
 (3月31日(日) 14:30~15:00 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
 Thomas Eschenhagen (University Medical Center Hamburg-Eppendorf, Germany)
 座長: Yoshihiko Saito (Department of Cardiovascular Medicine, Nara Medical University, Kashihara)
- (15) Stroke Prevention in Patients with Atrial Fibrillation : Lessons from the Clinical Trials and Big Data Analysis
 (3月31日(日) 15:10~15:40 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
 Shih-Ann Chen (Taipei Veterans General Hospital, Taiwan)
 座長: Akihiko Nogami (Department of Cardiology, Faculty of Medicine, University of Tsukuba, Tsukuba)
- (16) Catheter Mapping/Ablation of Brugada syndrome: Japanese Experience
 (3月31日(日) 15:40~16:10 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
 Hiroshi Nakagawa (Heart Rhythm Institute, University of Oklahoma Health Sciences Center, USA)
 座長: Takanori Ikeda (Department of Cardiovascular Medicine, Toho University Faculty of Medicine, Tokyo)
- (17) Aortic Aneurysm and Dissection: the Translational Journey from Marfan to Sartan and Back.
 (3月31日(日) 16:10~16:40 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
 Bart Loeys (Center for Medical Genetics, University of Antwerp, Belgium)
 座長: Yasunobu Hirata (Tokyo Teishin Hospital, Tokyo)

11. 会長特別企画

- (1) Prevention of Cardiogenic Stroke: The State-of-the-Art 〈英語〉
 (3月29日(金) 8:00~9:30 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「303」)
 座長: Haruhiko Hoshino (Department of Neurology, Tokyo Saiseikai Central Hospital, Tokyo)
 Shunichi Homma (Columbia University Medical Center, USA)
 Keynote :
 Echocardiography in Stroke Patients
 Shunichi Homma (Columbia University Medical Center, USA)

演 者：

1. Cardiovascular Abnormality and Subclinical Cerebrovascular Disease
Kouki Nakanishi (Department of Cardiovascular Medicine, The University of Tokyo, Tokyo)
2. Effectiveness and Safety of Oral Anticoagulants for Prevention of Cardiac Emboli in the Contemporary Clinical Real-world: Current Status and Future Perspectives
Masaharu Akao (Department of Cardiology, National Hospital Organization Kyoto Medical Center, Kyoto)
3. Current Status and Perspective of Percutaneous Patent Foramen Ovale Closure for Cryptogenic Stroke
Hideaki Kanazawa (Department of Cardiology, Keio University School of Medicine, Tokyo)
4. Catheter Ablation for Stroke Prevention in Atrial Fibrillation Patients; Fantasy or Reality?
Koichi Inoue (Cardiovascular Center, Sakurabashi Watanabe Hospital, Osaka)

(2) Transcend the Current Arrhythmia Diagnosis and Treatment (英語)

(3月29日(金) 9:40~11:10 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「303」)

- 座長：Hiroshi Nakagawa (Heart Rhythm Institute, University of Oklahoma Health Sciences Center, USA)
Nobuhisa Hagiwara (Department of Cardiology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo)

Keynote：

Real-Time Propagation Vector Mapping Using a Novel Close Unipolar Electrode Catheter and System

Hiroshi Nakagawa (Heart Rhythm Institute, University of Oklahoma Health Sciences Center, USA)

演 者：

1. Spatio-temporal Dispersion of Multipolar Electrogram, a Visually Recognizable Electric Footprint of Rotor during Cardiac Fibrillation
Masatoshi Yamazaki (Medical Device Development and Regulation Research Center, The University of Tokyo, Tokyo)
2. Is the ExTRa Mapping-guided Ablation Targeting Non-passively Activated Areas a Novel and Effective Approach for Non-paroxysmal Atrial Fibrillation?
Takashi Ashihara (Department of Cardiovascular Medicine, Shiga University of Medical Science, Otsu)
3. Therapeutic Targets to Avoid ICD Shocks-associated Worsening Heart Failure
Yukiomi Tsuji (Department of Molecular Physiology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki)

(3) Multi-modality Assessment of Heart Failure (英語)

(3月29日(金) 8:00~9:30 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「503」)

座長：Takahiro Shiota (Clinical Professor of Medicine at UCLA School of Medicine, USA / Professor of Medicine at Cedars-Sinai Medical Center, USA)

Jeroen J. Bax (Leiden University Medical Centre, The Netherlands)

Keynote：Jeroen J. Bax (Leiden University Medical Centre, The Netherlands)

演 者：

1. Echocardiography-guided Management of Heart Failure
Hirohiko Motoki (Shinshu University, Matsumoto)
2. Role of Cardiac CT in Heart Failure
Akira Sato (Department of Cardiology, Faculty of Medicine, University of Tsukuba, Tsukuba)

3. Usefulness of Cardiac Anatomical Mapping by Cardiac Magnetic Resonance in Patients with Heart Failure

Yasuyo Taniguchi (Department of Cardiology, Hyogo Brain & Heart Center at Himeji)

(4) チャネル変容から心病態に迫る 〈日本語〉

(3月29日(金) 9:40~11:10 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F205+F206」)

座長: 外山 淳治(名古屋ハートセンター)

堀江 稔(滋賀医科大学 アジア疫学研究センター(ゲノム部門))

演 者:

1. Insight into Life Cycle of Ion channels and Its Density Regulation Will Bring a New Prospect of Electrophysiology - Revisiting "Cardiac Memory" and "Giant Negative T Wave" as Examples-

外山 淳治(名古屋ハートセンター)

2. Role of Gap-Junctional Channel, Pannexin, in I/R Pre-conditioning and Arrhythmias

古川 哲史(東京医科歯科大学 難治疾患研究所 生体情報薬理学)

3. Comprehensive Analyses Using Functional Evaluation and Whole-Exome Sequencing to Decipher the Genetic Predispositions for Sudden Death in Brugada Syndrome

蒔田 直昌(長崎大学 分子生理学)

4. 藤生 克仁(東京大学 循環器内科)

(5) How to Start Left Atrial Appendage Closure 〈英語〉

(3月29日(金) 16:30~18:00 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「302」)

座長: Kazutaka Aonuma (Cardiovascular Division, University of Tsukuba, Faculty of Medicine, Tsukuba)

Martin W. Bergmann (Cardiologicum Hamburg, Germany)

Keynote: Martin W. Bergmann (Cardiologicum Hamburg, Germany)

演 者:

1. Anatomy and Assessment of the Left Atrial Appendage for Percutaneous LAA Closure

Maiko Hozawa (Division of Cardiology, Department of Internal Medicine, Iwate Medical University, Morioka)

2. Left Atrial Appendage Closure for Japanese Patients: How Should we Spread It?

Hidehiko Hara (Division of Cardiovascular Medicine, Toho University Ohashi Medical Center, Tokyo)

3. Atrial Fibrillation Patients Suitable for Left Atrial Appendage Occlusion in Japan: Insights from the Fushimi AF Registry

Mitsuru Abe (Department of Cardiology, National Hospital Organization Kyoto Medical Center, Kyoto)

(6) 医療機器のこれからのイノベーション 〈日本語〉

(3月29日(金) 16:30~18:00 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「303」)

座長: 山本 晴子(国立循環器病研究センター 臨床試験推進センター)

赤堀 眞(東京大学 臨床研究支援センター)

演 者:

1. The Regulation for Medical Devices with Innovative Technologies

中井 清人(厚生労働省 医薬・生活衛生局 医療機器審査管理課)

2. 徳増 有治(大阪大学 イニシアティブ 産学連携・クロスイノベーションイニシアティブ)

3. Open Innovation in Medical Device Development

湯元 昇(国立循環器病研究センター OIC 準備室)

4. Entrepreneurship Education for Medical Products

池野 文昭(スタンフォード大学 循環器科)

- (7) The Frontiers of Genomic Science and Medicine 〈英語〉
(3月29日(金) 16:30~18:00 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F201+F202」)
座長: Hiroyuki Morita (Department of Cardiovascular Medicine, The University of Tokyo, Tokyo)
Heribert Schunkert (German Heart Center Munich, Technical University Munich, Germany)
Keynote: Heribert Schunkert (German Heart Center Munich, Technical University Munich, Germany)

演 者:

1. Whole Genome Sequencing-enhanced GWAS Revealed Clinically Important Rare Variants in Coronary Artery Disease
Kaoru Ito (Laboratory for Cardiovascular Diseases, RIKEN Integrative Medical Sciences, Yokohama)
2. Clinical Use of Genetic Analysis for the Inherited Primary Arrhythmia Syndromes
Seiko Ohno (Department of Bioscience and Genetics, National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)
3. Systems Cardiology for Multi-omics Dissection of Cardiomyopathy
Seitaro Nomura (Department of Cardiovascular Medicine, Tokyo)

- (8) 女性循環器医の妊娠・出産, その後—新時代にむけて 〈日本語〉
(3月30日(土) 8:40~10:10 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「303」)
座長: 市田 落子(富山大学 医学薬学研究部 小児科)
大石由美子(日本医科大学 生化学・分子生物学(代謝・栄養学))

演 者:

1. What Can be Done for the True Gender Equality
松本佐保姫(まつもとメディカルクリニック)
2. Improvements in the Work Environment for All Doctors Will Lead to Create a Desirable Environment for Female Doctors
谷地 織(地域医療機能推進機構 東京新宿メディカルセンター 循環器内科)
3. Why Female Physicians are Still Limited in Cardiology, is the Problem Solvable or Not
松尾 弥枝(群馬大学 循環器内科)
4. Current Scenario of Pregnancy Among the Women Physicians in Japan and the Risk of Threatened Abortion and Preterm Birth: Results of Women Physicians' Survey
竹内 真純(神戸大学 人間発達環境学研究所)
5. One Female Cardiologist's Work Ethic in University Hospital, Including the Study of the Effect of Treatment by Female Cardiologists in Japan
中山 敦子(東京大学 循環器内科学)

- (9) Molecular Medicine in Hereditary Aortic Aneurysm and Dissection 〈英語〉
(3月30日(土) 10:20~11:50 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「303」)
座長: Takayuki Morisaki (Department of Internal Medicine, IMSUT Hospital, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo)
Bart Loeys (Center for Medical Genetics, University of Antwerp, Belgium)

Keynote:

Multi-omics Approach Identifies Three Novel Genes for Bicuspid Aortic Valve Related Aortopathy

Bart Loeys (Center for Medical Genetics, University of Antwerp, Belgium)

演 者:

1. Roles of Fibulin-4 and 5 in Arterial Stiffness and Aneurysm
Tomoyuki Nakamura (Department of Pharmacology, Kansai Medical University, Hirakata)

2. Role of Mechanotransduction and Thrombospondin-1 in Development of Thoracic Aortic Aneurysm

Hiromi Yanagisawa (Life Science Center for Survival Dynamics, Tsukuba Advanced Research Alliance, The University of Tsukuba, Tsukuba)

3. Endothelial ROS Generation Underlies the Pathogenesis of Thoracic Aortic Aneurysm in Marfan Syndrome

Hiroshi Akazawa (Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo)

- (10) 循環器病征圧へ向けた我が国の課題と対策 〈日本語〉

(3月30日(土) 14:10~15:40 パシフィコ横浜 会議センター, 1階「メインホール」)

座長: 前村 浩二(長崎大学 医歯薬学総合研究科 循環器内科学)

斎藤 能彦(奈良県立医科大学 循環器内科)

演 者:

1. Current Efforts and Future Direction of Measures for Overcoming Cardiovascular and Cerebrovascular Diseases in Japan

宇都宮 啓(厚生労働省 健康局)

2. Supports on Medical Research and Development by Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology

仙波 秀志(文部科学省 研究振興局ライフサイエンス課)

3. AMED's Activity to Encourage the Health Research and Development

泉 陽子(日本医療研究開発機構)

4. Control Measures for Cardiovascular Diseases in the Community and the Role of the Japan Medical Association

羽鳥 裕(日本医師会 常任理事)

- (11) Molecular Targeted Therapy Against Cardiovascular Diseases 〈英語〉

(3月30日(土) 16:50~18:20 パシフィコ横浜 会議センター, 1階「メインホール」)

座長: Tetsuo Minamino (Department of Cardiorenal and Cerebrovascular Medicine, Faculty of Medicine, Kagawa University, Kagawa)

Joseph A. Hill (University of Texas Southwestern Medical Center, USA)

Keynote: Joseph A. Hill (University of Texas Southwestern Medical Center, USA)

演 者:

1. Development of Antisense Drug Targeting Hypercholesterolemia

Mariko Shiba (Department of Molecular Innovation in Lipidology, National Cerebral and Cardiovascular Center Research Institute, Suita)

2. Novel Therapeutic Strategy for Takayasu Arteritis and Giant Cell Arteritis via Interleukin-6 Blockade

Yoshikazu Nakaoka (Department of Vascular Physiology, Suita)

3. Myosin Regulatory Light Chain Phosphorylation as a Modulator of Sarcomere Contractility

Osamu Tsukamoto (Department of Medical Biochemistry, Suita)

- (12) 循環器内科医のキャリアパス 〈日本語〉

(3月30日(土) 14:10~15:40 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「301」)

座長: 楠岡 英雄(国立病院機構)

島田 和幸(新小山市市民病院)

演 者:

1. 山本 雄士(株式会社ミナケア)

2. My Journey and Mentors

武藤 真祐(祐ホームクリニック)

3. A Working Experience in AMED ~ How Can Your Research Contribute to Our Society?~
岩上 直嗣(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
4. From My Experience as a Technical Official of the Ministry of Health, Labour and Welfare
岡田 佳築(大阪大学 循環器内科学)

- (13) AMED(ゲノムプロジェクト)：多因子疾患におけるゲノム医療の実現を目指して 〈日本語〉
(3月30日(土) 16:50~18:20 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「301」)
座長：吉栖 正生(広島大学 医歯薬保健学研究科 心臓血管生理医学)
望月 直樹(国立循環器病研究センター研究所 細胞生物学部)

演 者：

1. Multi-omics Approaches to Cardiovascular Medicine
油谷 浩幸(東京大学 先端科学技術研究センター ゲノムサイエンス分野)
2. Comprehensive Genetic Study for Complex Diseases
鎌谷洋一郎(京都大学/京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻)
3. Approach to Cardiovascular Diseases from Genome-wide Integrative Omics Profiles.
高橋 篤(国立循環器病研究センター研究所 病態ゲノム医学部)
4. Implementation of Precision Medicine and Drug Development Based on Genome Cohort Studies and Pharmacogenomics Clinical Trials in Cardiovascular Medicine
植田真一郎(琉球大学 臨床薬理学)
5. Omics Data Analysis by Machine Learning for Medical Treatment and Drug Discovery
山西 芳裕(九州工業大学)

- (14) AMED-CREST(メカノバイオロジー)：循環器におけるメカノバイオロジー研究の最前線 〈日本語〉

(3月30日(土) 14:10~15:40 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「302」)
座長：曾我部正博(名古屋大学 メカノバイオロジー・ラボ)
野村征太郎(東京大学 循環器内科)

演 者：

1. Cardiomyocyte Gene Programs Encoding Morphological and Functional Signatures in Cardiac Hypertrophy and Failure
野村征太郎(東京大学 循環器内科)
2. Micro-scale Mechanical Stimulation System to Elucidate Mechanobiology of Cardiomyocyte
池内 真志(東京大学 情報理工学系研究科 システム情報学専攻)
3. Cryo-Electron Microscopic Analyses of Cardiomyocytes to Elucidate the Structural Mechanisms of the Mechano-Responses in Heart
仁田 亮(神戸大学 生体構造解剖学)
4. Quantitatively Analyzing the Mechanical Properties of the Human Cell Nucleus
島本 勇太(国立遺伝学研究所 新分野創造センター)
5. Mechanobiology of Heart Revealed with DNA Nano-device and High-resolution Molecular Imaging
岩城 光宏(理化学研究所 生命機能科学研究センター)

- (15) 我が国で発見された循環器疾患 〈日本語〉
(3月30日(土) 14:10~15:40 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「501」)

座長：明石 嘉浩(聖マリアンナ医科大学 循環器内科)
大屋 祐輔(琉球大学 循環器・腎臓・神経内科学)

演 者：

1. History of Kawasaki Disease
小林 徹(国立成育医療研究センター 企画運営部)
2. Immunoglobulin G4 (IgG4)-Related Cardiovascular Disease
坂本 愛子(東京大学 循環器内科, 保健・健康推進本部)

3. Recent Advances in the Diagnosis and Therapeutic Strategy of Takayasu Arteritis
前嶋 康浩(東京医科歯科大学 循環制御内科学)
4. Takotsubo Syndrome
石原 正治(兵庫医科大学 循環器内科・冠疾患科)

(16) 厚生労働省事業 〈日本語〉

(3月30日(土) 16:50~18:20 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「501」)

座長: 友池 仁暢(榊原記念病院)

高本 眞一(賛育会病院/慶應義塾大学 医療政策・管理学教室)

演 者:

1. 宮本 恵宏(国立循環器病研究センター 予防健診部)
2. The Development of Evidence for Appropriate Therapeutic Strategies Against Cardiovascular Diseases Using Nationwide Database
波多野 将(東京大学 循環器内科)
3. Perspective from a Research for Creating Indicators of Medical Service System for Acute Coronary Syndrome and Acute Aortic Syndrome to Construct Desirable System Using Existing Databases
彦惣 俊吾(大阪大学 循環器内科学)
4. Future Perspectives on Nationwide Registry- From Stroke Registry Side
西村 邦宏(国立循環器病研究センター 予防医学疫学情報部)
5. Effects of Multidisciplinary Cardiac Rehabilitation for Patients with Heart Failure on Clinical Outcomes and Health Care Costs: Nationwide Surveillance, Retrospective Multicenter Cohort Study and Cohort Registration Studies (AMED-CHF CR Study)
磯部 光章(榊原記念病院)

(17) 循環器病予防のための学会横断的なアプローチ 〈日本語〉

(3月30日(土) 16:50~18:20 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F201+F202」)

座長: 野出 孝一(佐賀大学 循環器内科)

平山 篤志(大阪警察病院 循環器内科)

演 者:

1. Japanese Society of Hypertension (JSH) Future Plan: Moon-shots for Conquering Hypertension
伊藤 裕(慶應義塾大学)
2. Establishment of 10 Million Ways of Personalized Care for Patients with Diabetes
植木浩二郎(国立国際医療センター研究所 糖尿病研究センター)
3. Therapeutic Approaches for Primary and Secondary Prevention of Atherosclerotic Cardiovascular Diseases
山下 静也(りんくう総合医療センター 大阪大学 総合地域医療学寄附講座)
4. The Challenge of Japanese Society of Nephrology to Conquer of Cardiovascular and Kidney Diseases
柏原 直樹(川崎医科大学 腎臓・高血圧内科)

(18) Mitral Club 〈英語〉

(3月31日(日) 8:30~10:00 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「302」)

座長: Hisao Ogawa(National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)

Antonio Colombo(EMO GVM Centro Cuore Columbus, Italy / San Raffaele Hospital, Italy)

演 者:

1. Role of Transcatheter Mitral Valve Repairs in Secondary MR
Stephan Windecker(Bern University Hospital, Switzerland)

2. Echocardiographic Assessment of Mitral Regurgitation for Trans-Catheter Procedures
Takahiro Shiota (UCLA School of Medicine, USA / Cedars-Sinai Medical Center, USA)
3. Shuichiro Takanashi (Sakakibara Heart Institute, Fuchu)
4. Role and Expectation of Percutaneous Mitral Valve Repair on the Standpoint of Heart Failure Specialist
Kazuhiro Yamamoto (Division of Cardiovascular Medicine, Endocrinology and Metabolism, Department of Molecular Medicine and Therapeutics, Faculty of Medicine, Tottori University, Yonago)

- (19) Doctor JCS - Asian Championship 〈英語〉
(3月31日(日) 8:30~10:00 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「503」)
座長: Masaru Hatano (Department of Therapeutic Strategy for Heart Failure, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo)
Khung Keong Yeo (National Heart Centre Singapore, Singapore)

- (20) Proposal of Novel Clinical Trials Lead to Breakthrough 〈英語〉
(3月31日(日) 13:30~15:00 パシフィコ横浜 会議センター, 1階「メインホール」)
座長: Shun Kohsaka (Department of Cardiology, Keio University School of Medicine, Tokyo)
Su Ping Carolyn Lam (National Heart Centre Singapore, Singapore)

Keynote :

From Mechanisms to Novel Clinical Trials in Heart Failure with Preserved Ejection Fraction.
Su Ping Carolyn Lam (National Heart Centre Singapore, Singapore)

演 者 :

1. Development of the Trans-omics Cohort for Cardiovascular Patients in Japan: A Challenge of the CHART-2 Study
Yasuhiko Sakata (Department of Cardiovascular Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai)
2. The Role and Future Direction of Registry Studies in Atrial Fibrillation
Masaharu Akao (Department of Cardiology, National Hospital Organization Kyoto Medical Center, Kyoto)
3. Hiroyuki Kiriyama (Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo)

- (21) Editor-in-Chief 〈英語〉
(3月31日(日) 13:30~15:00 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「503」)
座長: Toyooki Murohara (Department of Cardiology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya)
Fausto J. Pinto (University of Lisbon, Portugal)

演 者 :

1. Gordon F. Tomaselli (Albert Einstein College of Medicine, USA)
2. Joseph A. Hill (University of Texas Southwestern Medical Center, USA)
3. Douglas L. Mann (Cardiovascular Division, Washington University School of Medicine, USA)
4. The Future of Circulation: Cardiovascular Imaging: Expanding Our Reach and Enhancing Our Value
Robert J. Gropler (Mallinckrodt Institute of Radiology, Washington University School of Medicine)

5. Circulation Reports

Masataka Sata (Department of Cardiovascular Medicine, Tokushima University Graduate School, Tokushima)

- (22) 学会と患者会の新しい関係～繋がり共に歩む 〈日本語〉
 (3月31日(日) 13:30~15:00 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F201+F202」)
 座長: 波多野 将(東京大学 重症心不全治療開発講座)

- (23) Digital Medicine 〈日本語〉
 (3月31日(日) 15:10~16:40 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F201+F202」)
 座長: 寿田 浩(福井大学 病態制御医学講座 循環器内科学)
 青沼 和隆(筑波大学 循環器内科)

演 者:

1. Secondary Use of Clinical Data from Hospital Information Systems
 中山 雅晴(東北大学 医学情報学)
2. CLIDAS®, A Clinical Deep Data Accumulation System for Future Cardiology
 藤田 英雄(自治医科大学 さいたま医療センター 循環器内科)
3. The Future of Arrhythmia Therapy Using Remote Monitoring
 荷見映理子(東京大学 循環器内科)
4. The Role of Doctorepreneur in the New Era of Digital Health
 石見 陽(メドピア株式会社)

12. プレナリーセッション

- (1) Atherosclerosis Visualization: Pathological and Diagnostic Imaging Approaches 〈英語〉
 (3月29日(金) 8:00~9:30 パシフィコ横浜 会議センター, 1階「メインホール」)
 座長: Yujiro Asada (Department of Pathology, University of Miyazaki, Miyazaki)
 Myron Cybulsky (Toronto General Hospital Research Institute, UHN, Canada)
 State-of-the-Art: Myron Cybulsky (Toronto General Hospital Research Institute, UHN, Canada)

演 者:

1. Visualization of Thin-cap Fibroatheroma and Quantification of Macrophage Presence by Optical Coherence Tomography, Intravascular Ultrasound, and Angioscopy: Histopathological Validation Study
 Kenichi Fujii (Department of Medicine II, Kansai Medical University, Hirakata)
2. Usefulness of Novel Optical Coherence Tomography Technologies to Visualize Coronary Atherosclerotic Lesions in Patients with Coronary Artery Disease
 Kensuke Nishimiya (Department of Cardiovascular Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, and Wellman Center for Photomedicine, Harvard Medical School and Massachusetts General Hospital, Boston, Massac, Sendai)
3. Coronary Plaque Imaging with Intravascular Polarimetry: A Novel Endogenous Contrast Mechanism for Optical Frequency Domain Imaging
 Kenichiro Otsuka (Wellman Center for Photomedicine, Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, USA)
4. Tissue Characterization of High-risk Coronary Plaque Detected on Non-invasive Magnetic Resonance Imaging: Comparison with Histological Findings and Their Fundamental Roles
 Yasuhide Asaumi (Department of Cardiovascular Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)

- (2) Cooperation Between Cardiologists and Stroke Physicians as a Stroke Team 〈英語〉
(3月29日(金) 9:40~11:10 パシフィコ横浜 会議センター, 1階「メインホール」)
座長: Kazunori Toyoda(National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)
Christopher Levi(SPHERE Maridulu Budyari Gumal, Australia)
State-of-the-Art: Christopher Levi(SPHERE Maridulu Budyari Gumal, Australia)
- 演 者:
1. Efficacy of Echocardiography for Detecting Patent Foramen Ovale
Yoichi Takaya(Department of Cardiology, Okayama University, Okayama)
 2. Angioscopy-detected Spontaneously Ruptured Aortic Plaques as a Potential Cause of Embolic Strokes
Yoshiharu Higuchi(Division of Cardiology, Osaka Police Hospital, Osaka)
 3. Takotsubo-like Cardiomyopathy Observed in the Intracranial Hemorrhage Model of Rabbits
Mao Takahashi(Department of Cardiology, Sakura Hospital, Medical Center, Toho University, Sakura)
 4. Therapeutic Intervention by Cardiologists in Patients with Non-traumatic Subarachnoid Hemorrhage
Takanao Mine(Cardiovascular Division, Department of Internal Medicine, Hyogo College of Medicine, Nishinomiya)
 5. Recent Topics for Cardioembolic Stroke Care in Japan
Kazunori Toyoda(Department of Cerebrovascular Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)
- (3) A Role of Aorta Team in Treatments for Acute Aortic Syndrome: Cooperation Between Cardiologists and Cardiac Surgeons 〈英語〉
(3月29日(金) 8:00~9:30 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「501」)
座長: Hideaki Yoshino(Department of Internal Medicine, Kyorin University, Tokyo)
Hitoshi Ogino(Department of Cardiovascular Surgery, Tokyo Medical University, Tokyo)
- 演 者:
1. The Aortic Team -- United Kingdom/European Perspective
Toru Suzuki(University of Leicester, UK)
 2. Making the Immediate and Precise Diagnosis of Acute Aortic Syndrome: The First Step in Aorta Team
Manabu Kurabayashi(Division of Cardiology, Yokohama City Minato Red Cross Hospital, Yokohama)
 3. Perspectives of Preemptive Diagnosis and Intervention for Earlier Stage for Acute Aortic Syndrome: Insights from Non-obstructive Angioscopy
Satoru Takahashi(Cardiovascular Center, Osaka Gyomeikan Hospital, Osaka)
 4. What the Cardiologist Contribute to Cardiovascular Team?
Koichi Akutsu(Division of Vascular Medicine, Department of Cardiovascular Surgery, Kawasaki)
 5. Hideaki Yoshino(Department of Internal Medicine, Kyorin University, Tokyo)
 6. How to Avoid Life-threatening Complications in Patients with Acute Aortic Syndrome: Importance of Aortic Team
Shuichiro Kaji(Department of Cardiovascular Medicine, Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe)
- (4) New Technologies in Arrhythmia Treatment 〈英語〉
(3月29日(金) 16:30~18:00 パシフィコ横浜 会議センター, 1階「メインホール」)
座長: Kenzo Hirao(Heart Rhythm Center, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo)
Shih-Ann Chen(Taipei Veterans General Hospital, Taiwan)

State-of-the-Art :

Arrhythmogenic Right Ventricular Cardiomyopathy : Bench to the Catheter Ablation
Shih-Ann Chen (Taipei Veterans General Hospital, Taiwan)

演 者 :

1. A Novel Automated Algorithm for Mapping of Focal and Rotational Activation during Atrial Fibrillation
Yoshihide Takahashi (Department of Advanced Arrhythmia Research, Tokyo)
2. Feasibility of Imaging Fibrotic Substrates in the Left Atrium Using LGE-MRI Technology
Kunihiko Kiuchi (Division of Cardiovascular Medicine, Department of Internal Medicine, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe)
3. A Grid Mapping Catheter for Ventricular Tachycardia Ablation
Kenji Okubo (Ospedale San Raffaele, Italy)
4. Development of a Shock Wave Catheter Ablation System for Ventricular Tachyarrhythmias -Validation Study in Pigs in Vivo-
Susumu Morosawa (Department of Cardiovascular Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai)
5. Stereotactic Radiotherapy for Atrial Fibrillation First in Asia
Masaaki Shoji (Department of Cardiology, National Cancer Center Japan, Tokyo)
6. MRI-guided Catheter Ablation for Ventricular Tachycardia
Susumu Tao (Division of cardiology, Johns Hopkins University, USA)

- (5) Current Status of The Regenerative Medicine in Cardiovascular Field (英語)
(3月29日(金) 13:50~15:20 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「501」)
座長: Keiichi Fukuda (Department of Cardiology, Keio University School of Medicine, Tokyo)
James F. Martin (Baylor College of Medicine, USA)

State-of-the-Art :

Hippo-signaling in Heart Regeneration
James F. Martin (Baylor College of Medicine, USA)

演 者 :

1. Direct Reprogramming Approach for Cardiovascular Regeneration and Differentiation
Masaki Ieda (Department of Cardiology, Faculty of Medicine, University of Tsukuba, Tsukuba)
2. The Development of Tissue-engineered Bioresorbable Arterial Graft for Clinical Application and the Mechanism of Neovessel Formation
Hideki Miyachi (Department of Cardiovascular Medicine, Tokyo)
3. Translational Research of Myocardial Regeneration Therapy for Heart Failure
Shigeru Miyagawa (Department of Cardiovascular Surgery, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita)

- (6) Molecular Mechanisms of Heart Failure (英語)
(3月30日(土) 10:20~11:50 パシフィコ横浜 国立大ホール)
座長: Issei Komuro (Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo)
Douglas L. Mann (Cardiovascular Division, Washington University School of Medicine, USA)

State-of-the-Art : Douglas L. Mann (Cardiovascular Division, Washington University School of Medicine, USA)

演 者：

1. Genetic Basis of Heart Failure
Kaoru Ito (RIKEN Center For Integrative Medical Sciences, Laboratory For Cardiovascular Diseases, Yokohama)
2. Comprehensive Proposals for Glucose Transport Regulation in the Pathophysiology of Cardiovascular Diseases
Tomohisa Nagoshi (Division of Cardiology, Department of Internal Medicine, The Jikei University School of Medicine, Tokyo)
3. Sirt7 Attenuates Stress-induced Cardiac Hypertrophy by Regulating GATA4 Activity
Satoshi Araki (Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University, Kumamoto)
4. Rho-kinase and Cyclophilin A as Novel Therapeutic Targets for Cardiac Dysfunction and Post-Capillary Pulmonary Hypertension
Shinichiro Sunamura (Department of Cardiovascular Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai)

(7) Recent Advance in the Imaging of Congenital Heart Disease in Adults (英語)

(3月30日(土) 8:40~10:10 パシフィコ横浜 会議センター, 1階「メインホール」)

座長：Yoshihide Mitani (Department of Pediatrics, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu)

Tal Geva (Boston Children's Hospital and Harvard Medical School, USA)

State-of-the-Art：Tal Geva (Boston Children's Hospital and Harvard Medical School, USA)

演 者：

1. Extracellular Volume at Cardiac Magnetic Resonance and Adverse Cardiovascular Events in Adults with Congenital Heart Disease
Yumi Shiina (Cardiovascular center, St.Luke's International Hospital, Tokyo)
2. Clinical Significance of Right Atrial Volume in the Outcomes of Pulmonary Valve Replacement in Patients with Repaired Tetralogy of Fallot
Takashi Kido (Department of Cardiovascular Surgery, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita)
3. Native Myocardial T1 mapping: A Possible Novel Prognostic Marker in Pulmonary Arterial Hypertension with Adult Congenital Heart Disease
Ryotaro Asano (Department of Cardiovascular Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)
4. Systemic to Pulmonary Collateral Induces Ventricular Volume Overload in Patients with Fontan Circulation Assessed by Cardiac Magnetic Resonance Imaging
Yoshihiko Kodama (Department of Pediatric Cardiology, Fukuoka children's Hospital, Fukuoka)

(8) State-of-the-art Therapy for Advanced Heart Failure by Left Ventricular Assist Device (英語)

(3月30日(土) 10:20~11:50 パシフィコ横浜 会議センター, 1階「メインホール」)

座長：Koichiro Kinugawa (Second Department of Internal Medicine, University of Toyama, Toyama)

JoAnn Lindenfeld (Vanderbilt University Medical Center, USA)

State-of-the-Art：JoAnn Lindenfeld (Vanderbilt University Medical Center, USA)

演 者：

1. Cutting-edge Bridge Devices and Bridging Strategies for Advanced Heart Failure
Osamu Seguchi (Department of Transplant Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)

2. Current Status and Issues of Left Ventricular Assist Device (LVAD) Therapy at a Non-Transplant Institution in Central Tokyo
Taro Sasaoka (Department of Cardiovascular Medicine, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo)
3. Management of Ventricular Arrhythmias in Patients with Implanted Ventricular Assist Devices
Atsushi Suzuki (Department of Cardiology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo)
4. Improvement of Implantable LVAD Management in the Patients with Long-term Support
Hiroki Hata (Department of Cardiovascular Surgery, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita)
5. Continuous-flow Ventricular Assist Device Treatment from 2019 and Beyond
Minoru Ono (Department of Cardiovascular Surgery, The University of Tokyo, Tokyo)

- (9) How to Perform the Translational Research in Cardiomyopathy 〈英語〉
(3月30日(土) 10:20~11:50 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「503」)
座長: Masafumi Kitakaze (Department of Clinical Medicine and Development National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)
Christine E. Seidman (Brigham and Women's Hospital and Harvard Medical School, USA)

State-of-the-Art :

How to Perform the Translational Research in Cardiomyopathy
Christine E. Seidman (Brigham and Women's Hospital and Harvard Medical School, USA)

演 者 :

1. Stem Cell-Sheet Transplantation Therapy for Advanced Cardiomyopathy
Satoshi Kainuma (Department of Cardiovascular Surgery, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita)
2. Detection of Cardiomyocyte mTORC1 Activation in Myocardial Biopsy Samples of Nonischemic Dilated Cardiomyopathy: A Novel Prognostic Marker and Therapeutic Target
Toshiyuki Yano (Department of Cardiovascular, Renal, Metabolic Medicine, Sapporo)
3. LCZ696 (sacubitril/valsartan) Protects against Left Ventricular Remodeling after Experimental Acute Myocardial Infarction
Koichi Kaikita (Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University, Kumamoto)
4. Direct Sarcomere Activators for the Advanced Stage Systolic Heart Failure
Osamu Tsukamoto (Department of Medical Biochemistry, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita)

- (10) Surgical Indication and Procedures for Functional Mitral Regurgitation 〈英語〉
(3月30日(土) 14:10~15:40 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「503」)
座長: Hirokuni Arai (Department of Cardiovascular Surgery Tokyo Medical and Dental University, Tokyo)
Christian Butter (Heart Center Brandenburg, Germany)
State-of-the-Art : Christian Butter (Heart Center Brandenburg, Germany)

演 者 :

1. Mechanism of Acute and Chronic Ischemic Mitral Regurgitation: What's the Difference? What Should We Know?
Shun Nishino (Department of Cardiology, Miyazaki Medical Association Hospital Cardiovascular Center, Miyazaki)

2. Geometric Change in Mitral Apparatus during Repair Surgery for Functional Mitral Regurgitation
Kikuko Obase (Cardiovascular Surgery, Nagasaki University Hospital, Nagasaki)
3. Extended Posterior Leaflet Augmentation for Functional Mitral Regurgitation - One Surgical Strategy Fit All-
Hiroki Yamaguchi (Department of Cardiovascular Surgery, Showa University Koto Toyosu Hospital, Tokyo)
4. Two-Year Outcome of Mitral Valve Repair with Subvalvular Apparatus for Functional Mitral Regurgitation
Keiji Oi (Department of Cardiovascular Surgery, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo)
5. Mitral Valve Repair for Functional Mitral Regurgitation in Reduced Ejection Fraction: Role of Surgery and Transcatheter Therapy
Makoto Amaki (Department of Cardiovascular Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)

- (11) Research Trends of Resuscitation and Emergency Care 〈英語〉
(3月31日(日) 8:30~10:00 パシフィコ横浜 会議センター, 1階「メインホール」)
座長: Tetsuya Sakamoto (Department of Emergency Medicine Teikyo University School of Medicine, Tokyo)

- Jack Tan Wei Chieh (National Heart Centre Singapore, Singapore)
State-of-the-Art: Jack Tan Wei Chieh (National Heart Centre Singapore, Singapore)
- 演 者:
1. Hands-only Cardiopulmonary Resuscitation and the Outcome of Out-of-hospital Cardiac Arrest of Cardiac Origin in School Students and Young Adults
Yoshihide Mitani (Department of Pediatrics, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu)
 2. AED Transportation System with Smartphone Application Cooperating with Dispatch Center
Takefumi Kishimori (Kyoto University Graduate School and Faculty of Medicine, Kyoto)
 3. Relationship between Regional Disparity of the Number of Physicians and Favorable Neurological Outcome in OHCA Patients due to Cardiac Etiology
Tsukasa Yagi (Feinstein Institute for Medical Research, The JCS-ReSS study group, USA)
 4. Treatments after Hospital Arrival and Outcomes among Patients with Out-of-Hospital Cardiac Arrest due to Acute Coronary Syndrome
Atsushi Hirayama (Department of Cardiovascular Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)
 5. Prognostication for Out-of-hospital Cardiogenic Cardiac Arrest Patients Using Advanced Machine Learning Technique
Tomohisa Seki (Department of Emergency and Intensive Care Medicine, Tokyo)

- (12) Frontier of Basic Cardiovascular Research 〈英語〉
(3月31日(日) 10:10~11:40 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
座長: Tetsuji Miura (Department of Cardiovascular, Renal and Metabolic Medicine, Sapporo Medical University, Sapporo)
Eric N. Olson (University of Texas Southwestern Medical Center at Dallas, USA)

State-of-the-Art :

Transcriptional Control of Cardiac Regeneration and Reprogramming

Eric N. Olson (University of Texas Southwestern Medical Center, USA)

演 者 :

1. Senolysis as a Novel Therapeutic Strategy for Cardio-metabolic Disease
Tohru Minamino (Department of Cardiovascular Biology and Medicine, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata)
2. Dysfunctional SERCA2 by the Loss of Thiol on Cys674 in Cardiovascular Diseases
Takeshi Adachi (Department of Internal Medicine, Division of Cardiovascular, National Defense Medical College, Tokorozawa)
3. Medical Application of Genome Editing for Advanced Heart Failure
Shuichiro Higo (Department of Medical Therapeutics for Heart Failure, Suita)
4. Identification of Novel Therapeutic Targets for Pulmonary Arterial Hypertension - Multidisciplinary Approaches for the Fatal Disorder-
Kimio Satoh (Department of Cardiovascular Medicine, Sendai)

(13) Comprehensive Management for Critical State of Acute Myocardial Infarction 〈英語〉

(3月31日(日) 13:30~15:00 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「301」)

座長: Morimasa Takayama (Department of Cardiology, Sakakibara Heart Institute, Tokyo)

Antonio Colombo (EMO GVM Centro Cuore Columbus, Italy / San Raffaele Hospital, Italy)

State-of-the-Art : Antonio Colombo (EMO GVM Centro Cuore Columbus, Italy / San Raffaele Hospital, Italy)

演 者 :

1. Temporal Trends in Emergency Care and Outcomes of Geriatric Patients with Acute Myocardial Infarction -Report from the Miyagi AMI Registry-
Jun Takahashi (Department of Cardiovascular Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai)
2. Impact of PCI for Left Main Culprit Lesion on In-Hospital Mortality: Report from the Japan Acute Myocardial Infarction Registry (JAMIR)
Kensaku Nishihira (National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)
3. Impact of Extracorporeal Membrane Oxygenation (ECMO) and Intra-Aortic Balloon Pump (IABP) for Cardiogenic Shock after Cardiac Arrest
Norihiro Kuroki (Tokyo CCU Network, Scientific Committee, Tokyo)
4. JCS Board-certified Cardiologists Positively Impact on the Prognosis of Acute Myocardial Infarction with Cardiogenic Shock: The JROAD/JROAD-DPC study
Tetsuya Matoba (Department of Cardiovascular Medicine, Kyushu University, Fukuoka)
5. Early Resuscitation of Cardiogenic Shock by Cooperation of Emergency Medical System and Cardiovascular Intensive Care Unit
Hiroshi Imamura (Department of Emergency and Critical Care Medicine, Shinshu University, Matsumoto)

(14) How Do We Manage Adults with Fontan Circulation? 〈英語〉

(3月31日(日) 15:10~16:40 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「301」)

座長: Hideo Ohuchi (Department of Pediatric Cardiology, National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)

Peter Zartner (German Pediatric Heart Center, Germany)

State-of-the-Art :

How Do We Manage Adults with Fontan Circulation? (State of the Art)

Peter Zartner (German Pediatric Heart Center, Germany)

演 者 :

1. Increased Circulating Blood Volume as a Compensatory Adaptation in Adult Fontan Patients with High Cardiac Output Failure
Hideo Ohuchi (Department of Pediatric Cardiology, Suita)
2. Unique Features of Hepatic Disease in Adults with Fontan Circulation: A Comparison with Congenital Heart Disease Patients after Two-ventricular Repair
Norihsa Toh (Department of Cardiology, Okayama University, Okayama)
3. Combination Therapy with Warfarin and Aspirin is Effective for Thromboembolic Prophylaxis But Increases Bleeding in Patients with Fontan Operation
Shintaro Umemoto (Department of Cardiovascular Medicine, Kyushu University School of Medicine, Fukuoka)
4. The Pathologic Changes of Placenta in Pregnancy with Fontan Circulation
Tae Konishi (Department of Perinatology and Gynecology National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)
5. Long Time Follow-up for Fontan Patients; Should We Choose Transplant or Palliative Care?
Takayoshi Ueno (Department of Cardiovascular Surgery, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita)

13. シンポジウム

(1) Novel Therapeutic Targets for Atherosclerosis

〈英語〉

(3月29日(金) 9:40~11:10 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「501」)

座長: Ken-Ichi Hirata (Division of Cardiovascular Medicine, Department of Internal Medicine, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe)

Masanori Aikawa (Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School, USA)

Keynote :

Systems Approach to Target Discovery for Vascular Disease: a Focus on Macrophage Activation

Masanori Aikawa (Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School, USA)

演 者 :

1. Oxidized Cholesterol, 7-ketocholesterol, is an Important Risk Factor for the Development of Atherosclerosis
Masahiro Koseki (Cardiovascular Medicine, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita)
2. Fatty Acid-Binding Proteins, FABP4 and FABP5, as Residual Risk of Atherosclerosis
Masato Furuhashi (Department of Cardiovascular, Renal and Metabolic Medicine, Sapporo Medical University School of Medicine, Sapporo)
3. Impact of ABCG5/8 Genetic Variants on Risk of Coronary Heart Disease
Hayato Tada (Department of Cardiovascular and Internal Medicine, Kanazawa University Graduate School of Medical Science, Kanazawa)
4. Microbiota-derived Trimethylamine N-oxide as Residual Risk after ST-elevation Myocardial Infarction
Yasushi Matsuzawa (Division of Cardiology, Yokohama City University Medical Center, Yokohama)

5. Gut Microbiome; Novel Therapeutic Targets for Preventing Atherosclerotic Cardiovascular diseases

Tomoya Yamashita (Division of Cardiovascular Medicine, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe)

(2) 重症下肢虚血への集学的治療 〈日本語〉

(3月29日(金) 8:00~9:30 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)

座長: 古森 公浩(名古屋大学 血管外科)

飯田 修(関西労災病院 循環器科)

演 者:

1. Association between Brief Nutritional Score; CONUT score and the Healing Rate of Ulcer in Critical Limb Ischemia Patients

杉原 充(福岡大学 循環器内科)

2. Impact of Frailty and Major Adverse Limb Event in Patients of Critical Limb Ischemia

加藤 太門(信州大学 循環器内科学)

3. Additional Systemic Risk Factors for Amputation in WIfI (Wound, Ischemia, and Foot Infection) Clinical Stage

岡本 慎(関西労災病院 循環器内科)

4. Clinical Effect of Planned Endovascular Therapy for Critical Limb Ischemia Patients with Tissue Loss

福永 匡史(森之宮病院 循環器内科)

5. Current Status and Problems in Our Multidisciplinary Revascularization Approach using Endovascular Treatment and Bypass Surgery for Critical Limb Ischemia

久良木亮一(国立病院機構九州医療センター 血管外科)

6. Role of Bypass with Poor Quality Vein in Achieving Wound Healing in Chronic Limb Threatening Ischemia with Higher WIfI Stage.

三宅 啓介(大阪大学 外科学講座心臓血管外科学)

7. Establishment of a Novel Foot Care System Using an Information and Communication Technology

福田健太郎(順天堂大学 練馬病院 循環器内科学)

8. Technological and Professional Collaboration Ameliorates Long-term Outcome in Chronic Limb-Threatening Ischemia

高木 元(日本医科大学 循環器内科)

(3) Diagnosis and Management of Large Vessel Vasculitis: 2018-2019 Update 〈英語〉

(3月29日(金) 9:40~11:10 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「503」)

座長: Nobukazu Ishizaka (Department of Cardiology, Osaka Medical College, Takatsuki)

David Saadoun (Department of Internal Medicine and Clinical Immunology, Pitie Salpetriere Hospital, Sorbonne University, France)

Keynote:

Takayasu and Giant Cell Arteritis: a Spectrum within the Same Disease or Not?

David Saadoun (Department of Internal Medicine and Clinical Immunology, Pitie Salpetriere Hospital, Sorbonne University, France)

演 者:

1. Novel Treatment Strategy for Large Vessel Vasculitis Using Anti-Interleukin-6 Receptor Antibody

Yoshikazu Nakaoka (Department of Vascular Physiology, National Cerebral and Cardiovascular Center Research Institute, Suita)

2. Large Vessel Vasculitis as a Manifestation of IgG4-related disease

Mizushima Ichiro (Division of Rheumatology, Kanazawa University Hospital, Kanazawa)

3. Effectiveness of Tocilizumab (TCZ) for Steroid-resistant Takayasu Arteritis (TAK) and Evaluation of Inflammatory Activity by FDG-PET Scan
Mitsuaki Isobe (Sakakibara Heart Institute, Tokyo)
4. Characteristics and Treatment Outcomes of Takayasu Arteritis Subgrouped by Onset Age in a Nationwide, Retrospective Cohort Study in Japan
Haruhito Uchida (Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Department of Chronic Kidney Disease and Cardiovascular Disease, Okayama)
5. Single Nucleotide Polymorphism of *MLX* Gene is Associated with the Pathogenesis of Takayasu Arteritis
Yasuhiro Maejima (Department of Cardiovascular Medicine, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo)

- (4) 心房細動発症阻止へ向けた英知の結集 〈日本語〉
(3月29日(金) 8:00~9:30 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F205+F206」)
座長: 山下 武志(心臓血管研究所)
奥村 謙(済生会熊本病院 心臓血管センター循環器内科)

演 者:

1. Epicardial Adipose Tissue is Associated with Atrial Myocardial Fibrosis as a Substrate of Atrial Fibrillation through Paracrine Effect -Human Study-
安部一太郎(大分大学 循環器内科・臨床検査診断学講座)
2. The Importance of Risk Factor Management for the Prevention of Atrial Fibrillation - Lessons from the Experimental Animal Models-
岩崎 雄樹(日本医科大学 循環器内科)
3. Comparison of 24-Hour vs 2-Week Continuous Monitoring for Detection of Unknown Atrial Fibrillation Among Participants Without Prior Atrial Fibrillation Episodes
永嶋 孝一(日本大学 内科系循環器内科学分野)
4. Risk Factors and Primary Prevention of Atrial Fibrillation in Hypertensive Patients
堀尾 武史(石切生喜病院 高血圧・総合内科)
5. Prediction of Atrial Fibrillation using Combination of Genetic Risk Score and Clinical Risk Factors
大久保陽策(広島大学 循環器内科)
6. Healthy Lifestyle Components for the Prevention of Incident Atrial Fibrillation: The Suita Study
小久保喜弘(国立循環器病研究センター 予防健診部)

- (5) 高齢者に対する最適な心不全治療—レジストリから見えてくる課題とは? 〈日本語〉
(3月29日(金) 13:50~15:20 パシフィコ横浜 会議センター, 1階「メインホール」)
座長: 矢野 雅文(山口大学 器官病態内科学(第二内科))
筒井 裕之(九州大学 循環器内科学)

演 者:

1. Guideline-based Medical Therapy and its Prognostic Impact in Elderly Patients Admitted with Acute Heart Failure with Reduced Ejection Fraction
秋田敬太郎(浜松医科大学 内科学第三講座)
2. Characteristics of Elderly HFpEF patients - Implications from PURSUIT-HFpEF study
彦惣 俊吾(大阪大学 循環器内科学)
3. The Present Condition and Issues about the Cardiac Rehabilitation for Outpatients with Chronic Heart Failure in Hiroshima Prefecture
日高 貴之(広島大学 循環器内科)
4. Social Determinants are Crucial Factors in the Long-term Prognosis of Acute Heart Failure in Male Gender over 75-Years of Age
白壁 章宏(日本医科大学千葉北総病院 集中治療室)

5. Impact of Population Density as a Measure of Social Frailty on Mortality in Heart Failure: An Analysis of JROAD-DPC
小西 正紹(横浜市立大学 市民総合医療センター 心臓血管センター)
6. Development of Clinical Research Based on Nationwide Database of Heart Failure in Japan
井手 友美(九州大学 循環器内科学)

- (6) Pathogenesis of Pulmonary Arterial Hypertension 〈英語〉
(3月29日(金) 13:50~15:20 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「303」)
座長: Keiko Takihara(Health and Counseling Center, Osaka University, Toyonaka)
Marc Humbert(University of South Paris, France)

Keynote :

Pathogenesis of Pulmonary Arterial Hypertension
Marc Humbert(University of South Paris, France)

演 者 :

1. Inhibition of Toll-Like Receptor 9-Mediated Sterile Inflammation Ameliorates the Development of Pulmonary Hypertension and RV Dysfunction
Kotaro Abe (Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka)
2. Identifications of Novel Molecular Mechanisms and Therapeutic Targets of Pulmonary Arterial Hypertension
Nobuhiro Kikuchi (Department of Cardiovascular Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai)
3. Critical Roles of Interleukin-6/Interleukin-21-Signaling Axis in the Pathogenesis of Pulmonary Arterial Hypertension
Tadakatsu Inagaki (Department of Vascular Physiology, National Cerebral and Cardiovascular Center Research Institute, Suita)
4. PAH with Vasoreactivity: Distinct Phenotype or Different Stage?
Takeshi Ogo (Department of Cardiovascular Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)

- (7) Inflammation and Immunology in Human Heart Disease 〈英語〉
(3月29日(金) 13:50~15:20 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「503」)
座長: Yasushi Sakata (Division of Cardiovascular Medicine, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita)

Joshua Hare(University of Miami Miller School of Medicine, USA)

Keynote : Joshua Hare(University of Miami Miller School of Medicine, USA)

演 者 :

1. Pathophysiology and Pathological Diagnosis of Myocarditis
Kyoko Imanaka-Yoshida (Department of Pathology and Matrix Biology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu)
2. Multicenter Registry to Investigate Inflammatory Cell Infiltration in Dilated Cardiomyopathy in Tissues of Endomyocardial Biopsy: INDICATE Study
Keiko Ohta-Ogo (Department of Pathology, National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)
3. Sterile Inflammation Induced by DNA in the Development of Heart Failure
Manabu Taneike (Department of Cardiovascular Medicine OSAKA UNIVERSITY Graduate School of Medicine, Suita)

- (8) Recent Advance in Cardiac Imaging for Assessment of Myocardial Disorder (英語)
(3月29日(金) 16:30~18:00 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「503」)
座長: Tohru Masuyama (Cardiovascular Medicine, Hyogo College of Medicine, Nishinomiya)
Joao A. C. Lima (Johns Hopkins University, USA)
Keynote: Joao A. C. Lima (Johns Hopkins University, USA)
- 演者:
1. Myocardial Technetium-99m Sestamibi Examination can Predict Potential Myocardial Reversibility
Tomohito Ohtani (Department of Cardiovascular Medicine, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita)
 2. Native T1 in Cardiac Magnetic Resonance Imaging are Novel Predictor for Left Ventricular Reverse Remodeling in Patients with Dilated Cardiomyopathy
Muneyuki Kadota (Department of Cardiovascular Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)
 3. New Generation Computed Tomography is Useful for Assessment of Left Ventricular Myocardial Abnormalities in Various Myocardial Diseases
Hiroyuki Takaoka (Department of Cardiology, Chiba University Hospital, Chiba)
 4. Usefulness of Regional Wall Thickening Pattern for Differential Diagnosis of Cardiac Diseases with LV Hypertrophy -A Novel Deep-learning-based CMR System-
Saori Yamamoto (Department of Cardiovascular Medicine, Tohoku University Hospital, Sendai)

- (9) Decision Making for Treatment Strategies and Prediction of Prognosis by the Assessment of Myocardial Ischemia Using Coronary Imaging (英語)
(3月29日(金) 13:50~15:20 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F201+F202」)
座長: Takashi Akasaka (Department of Cardiovascular Medicine, Wakayama Medical University, Wakayama)
Gudrun Feuchtner (Innsbruck Medical University, Austria)
- Keynote:
- Prediction of Ischemia and Events by Novel CT Imaging Markers: Time for Paradigm Change?
Gudrun Feuchtner (Innsbruck Medical University, Austria)
- 演者:
1. Impact of Plaque Morphology and Hemodynamic Factors on Clinical Instability of Coronary Lesions Using Coronary CTA and Computational Fluid Dynamics
Makito Sato (CVIC Medical Corporation, Tokyo)
 2. Comparison of Angiography-Based and CT-Based Physiological Indices with Fractional Flow Reserve
Hiroki Emori (Department of Cardiovascular Medicine, Wakayama Medical University, Wakayama)
 3. Diagnosis and Treatment of Impaired Vasodilator Capacity of Coronary Microvessels in Patients with Vasospastic Angina -Myocardial CT Perfusion Imaging Study-
Jun Sugisawa (Department of Cardiovascular Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai)
 4. Quantitative Evaluation of Myocardial Ischemia Using ^{13}N -ammonia Positron Emission Tomography and Dynamic $^{99\text{m}}\text{Tc}$ single-photon Emission Computed Tomography
Yukichi Tokita (Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo)

- (10) CCUで勤務するためにこれだけは知っておきたい集中治療の最新の話題 〈日本語〉
 (3月30日(土) 8:40~10:10 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「301」)
 座長: 佐藤 直樹(日本医科大学武蔵小杉病院 循環器科・集中治療室)
 笠岡 俊志(熊本大学 救急・総合診療部)

演 者:

1. Short-Time Mechanical Circulatory Support Using Impella
 吉田 昇平(大阪大学 心臓血管外科学)
2. Initial Experience of IMPELLA for Cardiogenic Shock; the Next Frontier in Acute Cardiovascular Care
 真玉 英生(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
3. Safety and Effective Nutritional Management in the Acute Phase of Severe Heart Failure in CCU
 築瀬 正伸(国立循環器病研究センター 移植医療部)
4. Exercise and Nutritional Intervention in the Acute Phase of Cardiac/Intensive Care in Patients with Advanced Heart Failure
 大石 英生(名古屋大学 循環器内科学)
5. Evidence-based Staffing Models are Required in the Contemporary Cardiovascular Intensive Care Unit: The Importance of Collaborating Cardiologists with Intensivists
 嘉嶋勇一郎(信州大学 救急集中治療医学)
6. Implementation of the ABCDEF Bundle in Cardiovascular Intensive Care
 細川 雄亮(日本医科大学)

- (11) 脳卒中と循環器病克服5カ年計画は達成可能か: 0次予防から3次予防まで 〈日本語〉
 (3月30日(土) 10:20~11:50 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「301」)
 座長: 東條美奈子(北里大学 医療衛生学)
 三浦 克之(滋賀医科大学 公衆衛生学)

演 者:

1. Prevention Strategies for Cardiovascular Diseases in Japanese population
 岡村 智教(慶應義塾大学 衛生学公衆衛生学)
2. The Japanese Registry Of All Cardiac and Vascular Diseases (JROAD); Importance of Nationwide Database in The Five-Year Plan for Overcoming Cardiovascular Disease
 安田 聡(国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門)
3. Reform of Medical Supply System in Response to the Establishment of Basic Law on the Countermeasures Against Cardiovascular Diseases
 磯部 光章(榊原記念病院)
4. To Prevent the Development and Progression of Heart Failure: Roadmap in the 5-year Plan of STOP CVD
 筒井 裕之(九州大学 循環器内科学)

- (12) JDS-JCS ジョイントシンポ(Controversy or Debate)—Stop DM for Stop CVD 生命予後改善のための糖尿病管理とは 〈日本語〉
 (3月30日(土) 8:40~10:10 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「501」)
 座長: 荒木 栄一(熊本大学 代謝内科学)
 室原 豊明(名古屋大学 循環器内科)

演 者:

1. Optimal Treatment with Hypoglycemic Agents and Awareness for Silent Myocardial Ischemia are Residual Key Factors for Diabetes Patients after PCI
 坂本 憲治(熊本大学 循環器病態学)
2. The Impact of Glucose Fluctuation on Cardiovascular Outcome in Patients with Stable Coronary Artery Disease
 山本 裕之(神戸大学 循環呼吸器病態学)

3. Importance of ECG Examination to Detect High Risk Diabetic Patients for Cardiovascular Events and Their Benefit Afforded by SGLT2 Inhibitors.
三木 隆幸(札幌医科大学 循環器腎臓代謝内分泌内科学)
4. Efficacy and Safety of SGLT2 Inhibitors in Elderly Diabetic Patients with Heart Failure
柴田 玲(名古屋大学 先進循環器治療学)
5. Plan for a Collaborative Scientific Statement from the Japan Diabetes Society and the Japanese Circulation Society
田中 敦史(佐賀大学 循環器内科)

- (13) ハートチームで考える弁膜形成術の挑戦 〈日本語〉
(3月30日(土) 10:20~11:50 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「501」)
座長: 岡田 行功(みどり病院心臓弁膜症センター)
中谷 敏(大阪大学 保健学機能診断科学)

演 者:

1. Heart Team Decision Making in Patients with Mitral Regurgitation Who Underwent Mitral Valve Plasty
吉川 泰司(大阪大学 心臓血管外科)
2. 3D-transesophageal Echocardiography Unites the Members of the Heart Team for Mitral Valvuloplasty: Our Strategy Meeting by Surgeons, Anesthesiologists, and Echocardiologists
板橋 裕史(慶應義塾大学 臨床検査医学心機能検査室)
3. Evaluation of Commissure Height during Aortic Repair by Combination of Multi-planar Reconstruction and Volume Rendering Imaging with Cardiac Computed Tomography
恒任 章(長崎大学 循環器内科)
4. Structural Heart Disease Team is Crucial Toward Success of Aortic Valve Repair
國原 孝(東京慈恵会医科大学 心臓外科学)

- (14) Non-coding RNAs as Regulators in Epigenetics 〈英語〉
(3月30日(土) 16:50~18:20 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「302」)
座長: Koh Ono(Department of Cardiovascular Medicine, Kyoto University, Kyoto)
Stefanie Dimmeler(Goethe University, Germany)

Keynote:

Non-coding RNAs: Novel Therapeutics Targets in Cardiovascular Disease
Stefanie Dimmeler(Goethe University, Germany)

演 者:

1. Epigenetic Modification by Perinatal Environmental Stress and its Lifelong Effects to Cardiovascular Diseases
Yuichiro Arima (Department of Cardiovascular Medicine, Kumamoto University, Kumamoto)
2. A Novel Long Intergenic Noncoding RNA, Lionheart, Protects the Heart from Pressure Overload
Koh Ono(Department of Cardiovascular Medicine, Kyoto University Graduate School of Medicine, Kyoto)
3. Novel microRNA-mediated regulation of AMP deaminase, a Key Player in Diabetic Cardiomyopathy
Masaya Tanno(Department of Cardiovascular, Renal and Metabolic Medicine, Sapporo Medical University School of Medicine, Sapporo)

- (15) Pulmonary Hypertension -New Insights Derived from Database - (英語)
 (3月30日(土) 14:10~15:40 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「303」)
 座長: Hiroaki Shimokawa (Department of Cardiovascular Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai)
 Sébastien Bonnet (Pulmonary Hypertension Research Group Quebec Canada, Canada)

Clinical Potential of BRD4 Inhibitors in Pulmonary Hypertension

Keynote: Sébastien Bonnet (Pulmonary Hypertension Research Group of IUCPQ Quebec Canada, Canada)

演 者:

1. Yuichi Tamura (Pulmonary Hypertension Center, International University of Health and Welfare Mita Hospital, Tokyo / Department of Cardiology and Medical Education, International University of Health and Welfare School of Medicine, Narita)
2. Current Status of the Management of Patients with Pulmonary Hypertension due to Left Heart Disease in Japan
 Koichiro Sugimura (Department of Cardiovascular Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai)
3. Current Trends in Group 3 Pulmonary Hypertension and The Results of JRPHS
 Nobuhiro Tanabe (Department of Respiriology, Chiba University, Graduate School of Medicine, Chiba)
4. Current Status of Japanese Balloon Pulmonary Angioplasty Registry for Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension
 Takeshi Ohgoh (Division of cardiovascular Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)
5. Multicenter Registry for Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension in Japan
 Kotaro Abe (Department of Cardiovascular Medicine, Kyushu University Hospital, Fukuoka)

- (16) 循環器関連学会に訊く—202030:学会として何ができるか— (日本語)
 (3月30日(土) 16:50~18:20 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「303」)
 座長: 副島 京子(杏林大学 第二内科)
 橋本 晶子(九州大学 保健学)

演 者:

1. The Importance of Gender Equality in the Medical Field
 池永 肇恵(内閣府 男女共同参画局長)
 2. Empowering Female Doctors
 岩田喜美枝(東京都監査委員)
- パネリスト: 中村 敏子(日本高血圧学会/ダイバーシティ推進委員会 委員長/関西福祉科学大学 健康福祉学部 福祉栄養学科)
- 石津 智子(日本心エコー図学会/男女共同参画委員会 委員長/筑波大学 医学医療系 臨床検査医学)
- 本江 純子(日本心血管インターベンション治療学会/働き方改革小委員会 委員長/五星会菊名記念病院 循環器センター)
- 森田 茂樹(日本心臓血管外科学会/外科医師活動支援委員会 委員長/九州医療センター)

- (17) Precision Medicine in Inherited Arrhythmias (英語)
 (3月30日(土) 16:50~18:20 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「503」)
 座長: Wataru Shimizu (Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, Tokyo)
 Gordon F. Tomaselli (Albert Einstein College of Medicine, USA)

Keynote : Gordon F. Tomaselli (Albert Einstein College of Medicine, USA)

演 者 :

1. Plasma MicroRNAs as Non-Invasive Biomarkers in Patients with Brugada Syndrome
Yukiko Nakano (Department of Cardiovascular Medicine, Hiroshima University Graduate School of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima)
2. Novel Risk Stratification of Lethal Arrhythmic Events in Congenital Long-QT Syndrome Type 3
Takeshi Aiba (Department of Advanced Arrhythmia and Translational Medical Science, Suita)
3. An NGS-based Genotyping in LQTS; Minor Genes are No Longer Minor
Seiko Ohno (Department of Bioscience and Genetics, National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)
4. New Insights into the Therapeutic Potential of a KACH Channel in Hereditary Sinus Bradycardia
Yoshihiro Asano (Department of Cardiovascular Medicine, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita)

(18) Progress in Transcatheter Less Invasive Approach to Structure Heart Diseases (英語)

(3月31日(日) 10:10~11:40 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「302」)

座長 : Yoshiki Sawa (Division of Cardiovascular Surgery, Department of Surgery, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita)

Eberhard Grube (University Hospital Bonn, Germany)

Keynote : Eberhard Grube (University Hospital Bonn, Germany)

演 者 :

1. Long-term Outcomes of Transcatheter Aortic Valve Replacement in Japanese Patients
Koichi Maeda (Department of Cardiovascular Surgery, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita)
2. Will Trans-apical Approach Disappear?
Hiroyuki Irie (Department of Cardiovascular Surgery, Chikamori Hospital, Kochi)
3. Expanding Indications for Transcatheter Heart Valve Treatment: Insights from US Academic Center
Kenji Minakata (Temple University Lewis Katz School of Medicine, USA)
4. Transcatheter Closure of Patent Foramen Ovale: How Do We Introduce the New Therapeutic Strategy for Cryptogenic Stroke Prevention in Japan
Teiji Akagi (Department of Cardiovascular Medicine, Okayama University, Okayama)
5. Utility of Coronary CT Angiography in Percutaneous Transluminal Septal Myocardial Ablation for Hypertrophic Obstructive Cardiomyopathy in Multimodality Imaging Era
Hideaki Kanzaki (Department of Cardiovascular Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)

(19) リスク予測・シミュレーション医学から治療技術まで—Precision Medicine への医工学連携によるアプローチ (日本語)

(3月31日(日) 8:30~10:00 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「501」)

座長 : 中村 匡徳 (名古屋工業大学)

吉栖 正生 (広島大学 心臓血管生理医学)

演 者 :

1. Personalized Risk Assessment of Thrombus Formation in Human Left Atrium: 4D-CT Based Computational Fluid Dynamics Simulation
大谷 智仁 (大阪大学 基礎工学研究科)

2. Novel Approach for In-vivo Detection of Vulnerable Plaques: Computational Fluid Dynamics in Optical Coherence Tomography and Computed Tomography Merged Model
鳥羽 敬義(神戸大学 内科学講座 循環器内科学分野)
3. Can Mechanical Analysis of Aneurysms Predict Their Rupture?
杉田 修啓(名古屋工業大学 電気・機械工学科)
4. Utility of Computational Fluid Dynamics for Thoracic Aortic Pathology
木村 直行(自治医科大学 さいたま医療センター 心臓血管外科)

(20) 5カ年計画の成果と目標 〈日本語〉

(3月31日(日) 10:10~11:40 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「501」)

座長: 小室 一成(東京大学 循環器内科学)

宮本 享(京都大学 脳病態生理学講座 脳神経外科)

演 者:

1. 2.5-year Efforts of the JCS for “5-year Plan for Stroke and Cardiovascular Diseases”
齋藤 能彦(奈良県立医科大学 循環器内科学)
2. Certification of Stroke Center based on Five-Year Strategy for Stroke and Cardiovascular Diseases
橋本洋一郎(熊本市市民病院 神経内科)
3. Annual Report of Action in the JCS Prevention Committee and Future Perspectives
野出 孝一(佐賀大学 循環器内科)
4. Current Status and Future Perspective of the Clinical Database of the Japan Stroke Society
飯原 弘二(九州大学院 脳神経外科)
5. Current Efforts and Future Plan Concerning Cardiovascular and Cerebrovascular Diseases in Japan
安井 治代(厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課)

(21) Mechanisms of Cardiovascular Aging Due to Impairment of Intercellular and Organ Communication 〈英語〉

(3月31日(日) 8:30~10:00 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)

座長: Tohru Minamino (Department of Cardiovascular Biology and Medicine, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata)

Juan Carlos IzpisuaBelmonte (Salk Institute for Biological Studies, USA)

Keynote: Juan Carlos IzpisuaBelmonte (Salk Institute for Biological Studies, USA)

演 者:

1. Dysfunction of Central Nuclear Factor Erythroid 2-related Factor 2 is Associated with Age-related Disruption of Circulatory Homeostasis in Hypertension
Takuya Kishi (Department of Advanced Risk Stratification for Cardiovascular Diseases, Center for Disruption of cardiovascular Medicine, Kyushu University, Fukuoka)
2. Disoriented Choline Metabolism Promotes Mitochondrial Dysfunction in the Failing Heart.
Ipei Shimizu (Department of Cardiovascular Biology and Medicine Division of Molecular Aging and Cell Biology Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata)
3. Therapeutic Potential of Muscle-derived Factors and miRNAs in Cardiovascular Diseases
Yasuhiro Izumiya (Department of Cardiovascular Medicine, Osaka City University Graduate School of Medicine, Osaka)
4. Novel Roles of Mitochondrial Fission in Age-related Cardiovascular Pathophysiology
Eguchi Satoru (Temple University, USA)

- (22) The Frontiers of Onco-Cardiology/Cardio-Oncology (英語)
(3月31日(日) 10:10~11:40 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「503」)
座長: Hiroshi Akazawa (Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo)
Jun-ichi Abe (University of Texas MD Anderson Cancer Center, USA)

Keynote:

- Cardiovascular Toxic Cancer Treatments (CTCT) Prime Monocyte and Macrophages to Oxidative Stress and Accelerate Atherogenesis
Jun-ichi Abe (University of Texas MD Anderson Cancer Center, USA)
Cardiovascular Complications with Immune Checkpoint Inhibitors
Javid Moslehi (Vanderbilt School of Medicine, USA)

演者:

1. Does the Pathophysiology of Heart Failure Prime the Incidence of Cancer?
Mari Sakamoto (Department of Cell Biology, National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)
2. Management of Arterial Hypertension Associated with Vascular Endothelial Growth Factor Receptor Tyrosine Kinase Inhibitors in Cancer Patients
Junichi Ishida (Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan, Tokyo)
3. Cancer Immune Checkpoint Blockade Therapy and its Associated Autoimmune Cardiotoxicity: the Role of Autoantibodies
Kazuko Tajiri (Department of Cardiology, Faculty of Medicine, University of Tsukuba, Tsukuba)
4. The Clinical Characteristics and Outcomes in Patients with Cancer-Associated Venous Thromboembolism: From the COMMAND VTE Registry
Jiro Sakamoto (Department of Cardiology, Tenri Hospital, Tenri)

- (23) 学校心臓検診の問題点と課題・金沢宣言も踏まえて (日本語)
(3月31日(日) 8:30~10:00 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F201+F202」)
座長: 久賀 圭祐 (筑波大学 循環器内科・保健管理センター)
住友 直方 (埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓科)

演者:

1. Attempts to Standardize Annual Health Check-up at University to Detect High Risk Students for Sudden Cardiac Arrests
石見 拓 (国立大学保健管理施設協議会)
2. Problems of Heart Disease Screening in University
久賀 圭祐 (筑波大学 循環器内科・保健管理センター)
3. Usefulness of School Cardiac Checkup in University Students (with a Focus on Congenital Heart Disease and Kawasaki Disease)
和井内由充子 (慶應義塾大学 保健管理センター)
4. Usefulness of Genetic Screening for Long QT Syndrome in the School-Based Electrocardiographic Screening Programs
福山 恵 (滋賀医科大学 循環器内科)

- (24) 超高齢化・医療費膨張時代における循環器医療提供体制と医療政策のあり方 (日本語)
(3月31日(日) 15:10~16:40 パシフィコ横浜 国立大ホール)
座長: 代田 浩之 (順天堂大学 循環器内科)
後藤 葉一 (公立八鹿病院)

演者:

1. Establishment of Indicators and Outcome Prediction Model of Acute Cardiovascular Diseases to Improve Cardiovascular Medical Service System
坂田 泰史 (大阪大学 循環器内科学)

2. Current Status and Future Shape of Cardiovascular Care in Japan: Importance of Exercise and Nutrition Intervention in Post-discharge Disease Management
後藤 葉一(公立八鹿病院)
3. Clinical Pathway and Multidisciplinary Collaboration by Hospital and Home Care Teamwork Facilitates Integrated Management and Communication for Cardiovascular Disease Treatment
渡辺 徳(長野県厚生連北信総合病院 循環器科)
4. Medical and Nursing Collaboration by Using Scoring Systems for Preventing Readmission in Elderly Patients with Decompensated Heart Failure
中根 英策(北野病院)
5. Let Your Life Glow, Cardiologists!
邊見 公雄(全国自治体病院協議会 名誉会長)
6. 迫井 正深(厚生労働省 大臣官房審議官)

- (25) Medical Innovation by Big Data Analysis and Artificial Intelligence 〈英語〉
(3月31日(日) 15:10~16:40 パシフィコ横浜 会議センター, 1階「メインホール」)
座長: Satoshi Yasuda(National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)
Khung Keong Yeo(National Heart Centre Singapore, Singapore)

Keynote :

The Role of AI in Cardiology: Pitfalls and Opportunities
Khung Keong Yeo(National Heart Centre Singapore, Singapore)

演 者 :

1. A Noble Method of Heart Failure Evaluation Based on Walkability Analysis with Artificial Intelligence
Hirotada Masuda(Department of Cardiovascular Surgery, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita)
2. Transcultural Lessons in Managements and Outcomes for Hospitalized Heart Failure; Insight from National Claim Data across Asian and Western Countries
Toshiyuki Nagai (Department of Cardiovascular Medicine, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo)
3. Real-World Application of Big Data in Cardiovascular Science -Report from the Tohoku University Big Data Medicine Center-
Kotaro Nochioka(Department of Cardiovascular Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, and Tohoku University Big Data Medicine Center, Sendai)
4. AI Based Registry Formation and its Application for Prediction Models -The Experience of Introduction of Natural Language Processing in Electric Medical Records in National Cerebral and Cardiovascular Center
Kunihiro Nishimura (National Cerebral and Cardiovascular Center, Department of Preventive Medicine, Suita)

- (26) レジストリーによる脳卒中と循環器疾患の診療実態 〈日本語〉
(3月31日(日) 13:30~15:00 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F205+F206」)
座長: 小川 久雄(国立循環器病研究センター)
飯原 弘二(九州大学 脳神経外科)

演 者 :

1. Multimorbidity in Patients with Cardiovascular Disease; Report from the Japanese Registry of All Cardiac and Vascular Diseases (JROAD)
安田 聡(国立循環器病研究センター)
2. The Impact of Cardiac Comorbidity on Outcome of Carotid Revascularization: J-ASPECT Study
飯原 弘二(九州大学 脳神経外科)

3. Complementary Relationship Between Atrial Fibrillation and Stroke Registries: Experience from the ORBIT-AF Registry and the GWTC-Stroke Registry in the US
猪原 拓(デューク大学)
4. Impact of Cerebrovascular Comorbidity on Prognosis in Japanese Patients Undergoing PCI: 1-year Data from Japanese Multicenter Registry (KICS)
辻田 賢一(熊本大学 循環器内科学)
5. Prognostic Impacts of Stroke and Antithrombotic Therapies in a Large-scale Cohort Study- Real-World Data from the CHART-2 Study-
白戸 崇(東北大学 循環器内科学)

(27) 新専門医制度における若手循環器医師の育成と問題点 〈日本語〉
(3月31日(日) 15:10~16:40 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F205+F206」)

座長: 木原 康樹(広島大学 循環器内科学)

宮崎 俊一(近畿大学 循環器内科)

演 者:

1. Unmet Needs of Japanese Early-Career Cardiologist in Their Cardiovascular Training Programs
河野 隆志(慶應義塾大学 呼吸循環器内科)
2. Flexible Training Program for Double Board Certifications with Cardiology and General Medicine
哲翁-塚田弥生(日本医科大学武蔵小杉病院 救急・総合診療センター 総合診療科)
3. General Cardiologist in Super-aged Japanese Society: Essential Relation with Internal Medicine Training
梶波 康二(金沢医科大学 循環器内科学)
4. New Training System for Board Certified Cardiologist in Training of Young Physicians in Japan
岩永 善高(近畿大学 循環器内科学)
5. Issues of Board System of The Japanese Association of Cardiovascular Intervention and Therapeutics
上妻 謙(帝京大学 循環器内科)

14. ジョイントシンポジウム

(1) ACC-JCS Joint Symposium 〈英語〉

Prediction and Prevention of Sudden Cardiac Death

(3月31日(日) 15:10~16:40 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「302」)

座長: Wataru Shimizu (Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, Tokyo)

Richard Kovacs (American College of Cardiology, USA)

演 者:

1. Richard Kovacs (American College of Cardiology, USA)
2. Prevention of Sudden Cardiac Death in Hypertrophic Cardiomyopathy
Hitoshi Takano (Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo)
3. C. Michael Valentine (American College of Cardiology, USA)
4. Genetic Background in Patients with Idiopathic Ventricular Fibrillation: Known Gene Screening from Whole Exome Analysis Data
Takeshi Aiba (National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)

- (2) AHA-JCS Joint Symposium 〈英語〉
 Emerging Advance for Heart Disease in Woman
 (3月29日(金) 16:30~18:00 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「501」)
 座長: Keiko Takihara(Health and Counseling Center, Osaka University, Toyonaka)
 Ivor Benjamin(American Heart Association, USA)
- 演 者:
1. Sex-differential Associations of Klotho-related Molecules with Smoking-related Health Risks
 Makoto Nishida(Health Care Division, Health and Counseling Center, Osaka University, Toyonaka)
 2. Gender Differences of Diagnostic and Prognostic Role for Coronary Artery Calcification in Patients with Suspected Coronary Artery Disease: Current Evidence and Insights from the NADESICO Study
 Yoko M Nakao(National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)
 3. JoAnn Lindenfeld(Vanderbilt University Medical Center, USA)
 4. Laxmi Mehta(The Ohio State University, USA)
- (3) APSC-JCS Joint Symposium 〈英語〉
 Registry of Cardiovascular Diseases in Asian Countries
 (3月30日(土) 8:40~10:10 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「304」)
 座長: Satoshi Yasuda(Department of Cardiovascular Internal Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)
 Myung Ho Jeong(Chonnam National University Hospital, Korea)
- 演 者:
1. Korea Acute Myocardial Infarction Registry
 Myung Ho Jeong(Chonnam National University Hospital, Korea)
 2. APSC ACS/STEMI Overview and Singaporean MI Registry
 Khung Keong Yeo(National Heart Centre Singapore, SGP)
 3. Current Antiplatelet Therapy and One-year Clinical Outcomes following Acute Myocardial Infarction in Japan: Japan Acute Myocardial Infarction Registry (JAMIR)
 Satoshi Honda(National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)
 4. Care and Outcomes of Acute Coronary Syndrome in Taiwan: Data from the Taiwan ACS Registry and National Health Insurance Database
 Yi-Heng Li(National Cheng Kung University Hospital, Taiwan)
- (4) CSC-JCS Joint Symposium 〈英語〉
 Heart Failure in the Elderly
 (3月30日(土) 14:10~15:40 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「304」)
 座長: Toshihisa Anzai(Department of Cardiovascular Medicine, Hokkaido University Graduate School of Medicine)
 Junbo Ge(Department of Cardiology, Zhongshan Hospital, Fudan University, China / Chinese Society of Cardiology)
- 演 者:
1. Yunzeng Zou(Zhongshan Hospital, Fudan University, China)
 2. Yasuhiko Sakata(Department of Cardiovascular Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai)
 3. Management of Heart Failure in the Elderly
 Zhang Li(The First Affiliated Hospital, School of Medicine, Zhejiang University, China)
 4. Future Tasks of Heart Failure in the Elderly
 Kazuhiro Yamamoto(Division of Cardiovascular Medicine, Endocrinology and Metabolism, Yonago)

- (5) ESC-JCS Joint Symposium 〈英語〉
Recent Advances in the Management of Atrial Fibrillation
(3月31日(日) 13:30~15:00 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「302」)
座長: Takeshi Yamashita (The Cardiovascular Institute, Tokyo)
Jeroen J. Bax (Leiden University Medical Centre, The Netherlands)
- 演 者:
1. Barbara Casadei (University of Oxford, UK)
 2. Benefits of Anticoagulation with Non-vitamin K Antagonist Oral Anticoagulants (NOACs) in Patients with Atrial Fibrillation in Japan: Insights from the CHART-2 Study
Hiroaki Shimokawa (Department of Cardiovascular Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai)
 3. Treatment Strategies for Atrial Fibrillation with Heart Failure
Michel Komajda (Saint Joseph Hospital, Department of Cardiology, France)
 4. Rhythm and Rate Control Therapies for Management of Patients with Atrial Fibrillation
Takanori Ikeda (Department of Cardiovascular Medicine, Toho University Faculty of Medicine, Tokyo)
- (6) KSC-JCS Joint Symposium 〈英語〉
Usefulness of Stress Echocardiography
(3月30日(土) 10:20~11:50 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「304」)
座長: Kazuhiro Yamamoto (Division of Cardiovascular Medicine, Endocrinology and Metabolism, Faculty of Medicine, Tottori University, Yonago)
Dae-Won Sohn (Daegu Catholic University Medical Center, Korea)
- 演 者:
1. Stress Echocardiography for Valvular Heart Disease
Masaki Izumo (Division of Cardiology, Department of Internal Medicine, St. Marianna University School of Medicine, Kawasaki)
 2. Stress Echocardiography for Pulmonary Hypertension
Kenya Kusunose (Department of Cardiovascular Medicine, Tokushima University Hospital, Tokushima)
 3. Ergonovine Stress Echocardiography for Variant Angina
Jae-Kwan Song (Asan Medical Center Heart Institute, University of Ulsan College of Medicine, Korea)
 4. Chi Young Shim (Severance Cardiovascular Hospital, Yonsei University College of Medicine, Korea)
- (7) Meet the ESC in Japan -1 〈英語〉
STEMI - Doing Things Right When the Pressure is on
(3月31日(日) 8:30~10:00 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「311+312」)
座長: Jeroen J. Bax (Leiden University Medical Centre, The Netherlands)
Takeshi Kimura (Department of Cardiovascular Medicine, Kyoto University Graduate School of Medicine, Kyoto)
- 演 者:
1. Transradial Access - Data, Tips, and Tricks
Stephan Achenbach (Department of Cardiology, Friedrich-Alexander University Erlangen-Nürnberg, Germany)
 2. Marco Roffi (Geneva University Hospital, Switzerland)
 3. Current Status of Vulnerable Plaque Detection by Coronary Imaging
Takashi Kubo (Department of Cardiovascular Medicine, Wakayama Medical University, Wakayama)

4. Coronary Intervention and Antiplatelet Therapy in Aging Society of Japan
Satoshi Yasuda(National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)

(8) Meet the ESC in Japan -2 〈英語〉

Cardiac Imaging in the Context of Cardiac Interventions

(3月31日(日) 10:10~11:40 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「311+312」)

座長: Marco Roffi(Geneva University Hospital, Switzerland)

Yasushi Sakata(Department of Cardiovascular Medicine, Osaka University
Graduate School of Medicine, Suita)

演 者:

1. CT for TAVI Preparation
Stephan Achenbach (Department of Cardiology, Friedrich-Alexander
University Erlangen-Nürnberg, Germany)
2. TAVI Leaflet Thrombosis - Current Knowledge -
Jeroen J. Bax(Leiden University Medical Centre, The Netherlands)
3. Yoshihiro Morino(Division of Cardiology, Department of Internal Medicine, Iwate Medical
University, Morioka)
4. Yohei Ohno(Tokai University, Hiratsuka)

15. ラウンドテーブルディスカッション

(1) 持続性心房細動・長期持続性心房細動に対するカテーテルアブレーション戦略の最前線 〈日本語〉

(3月29日(金) 8:00~9:00 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F203+F204」)

座長: 山根 禎一(東京慈恵会医科大学 循環器内科)

内藤 滋人(群馬県立心臓血管センター 循環器内科)

演 者:

1. Efficacy of Box Isolation for Persistent and Longstanding Persistent Atrial Fibrillation
熊谷浩一郎(福岡山王病院 ハートリズムセンター)
2. Catheter Ablation of Persistent and Long-standing Persistent Atrial Fibrillation: Current
Status and Future Direction
宮崎 晋介(福井大学 循環器内科)
3. Pulmonary Vein Isolation plus Left Atrial Posterior Wall Isolation and Additional Non-
pulmonary Vein Trigger Ablation Using High-dose Isoproterenol for Long-standing
Persistent Atrial Fibrillation
新田 順一(榊原記念病院 循環器内科)
4. How to Improve Clinical Outcomes of Catheter Ablation of Persistent Atrial Fibrillation:
Optimal Targets for Ablation Adjunctive to Pulmonary Veins
高橋 良英(東京医科歯科大学 先進不整脈学)

(2) 心不全の終末期医療 〈日本語〉

(3月29日(金) 9:05~10:05 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F203+F204」)

座長: 安齊 俊久(北海道大学 循環病態内科学教室)

和泉 徹(新潟南病院)

演 者:

1. The Necessity of Advance Care Planning at the End-stage of Cardiovascular Disease:
Consideration from the Outcome of Cardiac Arrest Registration
野々木 宏(静岡県立総合病院 集中治療センター)
2. Palliative Care for End-stage Heart Failure Patients after FY 2018 Revision of Medical Fees
柴田 龍宏(久留米大学 内科 心臓・血管内科)
3. Community-based Integration Care System and Palliative/terminal Care for Heart Failure
Patients
山田佐登美(川崎医科大学総合医療センター 看護部)

- (3) 高齢者心不全の管理は何を指標に、何を目標にするべきか 〈日本語〉
(3月29日(金) 10:10~11:10 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F203+F204」)
座長: 福本 義弘(久留米大学 内科学講座 心臓・血管内科部門)
原田 和昌(東京都健康長寿医療センター 循環器内科)

演 者:

1. 猪又 孝元(北里研究所病院 循環器内科)
2. Addressing Polypharmacy in Managing Older Patients with Heart Failure.
小島 太郎(東京大学 加齢医学)
3. What is an Index And a Goal to Manage Elderly Patients with Heart Failre in Our General Hospital
味岡 正純(公立陶生病院 循環器内科)
4. Creating More Home-Time for Elderly Heart Failure Patients - Perspective of Home Medical Care
弓野 大(ゆみのハートクリニック)

- (4) 循環器疾患における画像診断, 放射線科との連携 〈日本語〉
(3月30日(土) 8:40~9:40 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F203+F204」)
座長: 佐久間 肇(三重大学 放射線科)
玉木 長良(京都府立医科大学 放射線医学教室)

演 者:

1. TWUM Cardiovascular Imaging Team Collaborating with Cardiologists and Radiologists: Current Situation and Problem
渡邊 絵里(東京女子医科大学 循環器内科学)
2. Our Current Efforts on Noninvasive and Quantitative Assessment of Cardiovascular Disease: a Heart Team Approach for Cardiovascular Imaging
相川 忠夫(北海道大学 循環器内科)
3. Assessment of Cardiomyopathy Using CMR
三上 陽子(カルガリー大学 スティーブソン心臓画像センター)
4. Importance of Cooperation among Cardiologists, Radiologists, and Radiology Technicians in Cardiovascular Imaging
加藤 真吾(神奈川県立循環器呼吸器病センター 循環器内科)

- (5) 臨床研究を取り巻く環境変化と今後の動向 〈日本語〉
(3月30日(土) 16:20~17:20 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F203+F204」)
座長: 山崎 力(国際医療福祉大学 未来研究支援センター)
楠岡 英雄(国立病院機構)

演 者:

1. Toward the 2nd Year after the Enforcement of the Clinical Trial Act
吉田 淳(厚生労働省 医政局 研究開発振興課 治験推進室)
2. Providing High-Quality Evidence from Japan to the World
渡邊 裕司(浜松医科大学 臨床薬理学)
3. 米村 滋人(東京大学 法学部・大学院法学政治学研究科)

- (6) 遠隔モニタリングが支える循環器診療 〈日本語〉
(3月30日(土) 17:20~18:20 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F203+F204」)
座長: 石川 利之(横浜市立大学 循環器内科)
池田 隆徳(東邦大学 循環器内科学)

演 者:

1. Implantable Cardiac Device Diagnostics and Detection of Worsening Heart Failure
渡邊 英一(藤田医科大学 循環器内科学)
2. Medical Management of Cardiac Implantable Electrical Devices Using Remote Monitoring
荷見映理子(東京大学 循環器内科)

3. Telemedicine for Obstructive Sleep Apnea Patients Undergoing CPAP Treatment in Japan
陳 和夫(京都大学 呼吸管理睡眠制御学講座)
4. Advantage to Use the Remote Monitoring System for the Better Management of Patients with Cardiac Implantable Pacing Devices in Clinic
真中 哲之(浅草ハートクリニック)

(7) 医療の地域格差と地域連携 〈日本語〉

(3月31日(日) 13:30~14:30 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「501」)

座長: 久木山清貴(山梨大学医学部 第二内科)

伊藤 正明(三重大学 循環器・腎臓内科学)

演 者:

1. Approaches for Improvement of Care of Acute Coronary Syndrome in Iwate Prefecture; From a Grand Design to Priority Policies
森野 禎浩(岩手医科大学 内科学講座循環器内科分野)
2. Multi-disciplinary and Integrated Community Care Collaboration Support People with Cardiovascular Disease, Living in Rural Aged Area with Accelerating Population Decrease
渡辺 徳(北信総合病院 循環器内科)
3. The Current Medical Care Situation in Yamagata Prefecture
渡辺 昌文(山形大学 内科学第一講座(循環・呼吸・腎臓内科学))

(8) 低侵襲循環器治療の今後の展開: ハートチームをいかに発展させるか 〈日本語〉

(3月31日(日) 14:35~15:35 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F203+F204」)

座長: 坂口 太一(兵庫医科大学 心臓血管外科)

泉 知里(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

演 者:

1. Totally Endoscopic Mitral Valve Repair for the Best Heart Team Practice
田端 実(東京ベイ・浦安市川医療センター)
2. Efficacy and Optimal Patient Selection of MitraClip for Severe Mitral Regurgitation in Japanese Real-World Clinical Practice
久保 俊介(倉敷中央病院 循環器内科)
3. Hybrid Coronary Revascularization and MICS CAB
中村 喜次(千葉西総合病院 心臓血管外科)

(9) 急性心不全の初期対応の日本の現状と課題 〈日本語〉

(3月31日(日) 15:40~16:40 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F203+F204」)

座長: 佐藤 直樹(日本医科大学武蔵小杉病院 循環器科・集中治療室)

菊地 研(獨協医科大学 心臓・血管内科)

演 者:

1. Current Status and Issues of EMS Paramedics Treatment to Acute Heart Failure
田中 秀治(国士舘大学 救急システム研究科)
2. The Importance of Prehospital Care in Acute Heart Failure
石原 嗣郎(日本医科大学武蔵小杉病院 循環器内科)
3. Prehospital Evaluation and Management in Patients with Acute Heart Failure
白石 泰之(慶應義塾大学 循環器内科学)
4. Current Situation and Problems of First Responders after Patients with Acute Decompensated Heart Failure Arrive at the Hospital
田原 良雄(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

16. トピック

(1) IgG4 関連心疾患へのアプローチ 〈日本語〉

(3月29日(金) 8:00~9:00 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「301」)

座長: 石坂 信和(大阪医科大学 循環器内科)

今井 靖(自治医科大学 臨床薬理学・循環器内科学)

演 者:

1. Treatment Strategy for Cardiac IgG4 Related Disease Especially in the Coronary Artery
松本 康(国立病院機構金沢医療センター 心臓血管外科)
2. Diagnosis Especially Using Cardiac CT Imaging and Treatment of IgG4-related Coronary Artery Disease: Lessons Learned from Clinical Cases
ト部 洋司(県立広島病院 循環器内科)
3. Clinical Role of Cardiovascular Imaging for IgG4-related Cardiovascular Disease
楠瀬 賢也(徳島大学 循環器内科)

(2) CTによる虚血評価の最前線(FFR) 〈日本語〉

(3月29日(金) 8:00~9:00 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「304」)

座長: 赤坂 隆史(和歌山県立医科大学 循環器内科)

陣崎 雅弘(慶應義塾大学 放射線科学)

演 者:

1. FFRCT: How to Use this Game Changer into Clinical Practice
松尾 仁司(岐阜ハートセンター 循環器内科)
2. Cardiac CT for Assessment of Ischemic Heart Disease
元山 貞子(藤田医科大学 循環器内科)

(3) 心不全の最新のデバイス治療(Impeller など)と今後導入が期待されるデバイス(IASD) 〈日本語〉

(3月29日(金) 10:10~11:10 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「304」)

座長: 澤 芳樹(大阪大学 外科学講座 心臓血管外科学)

田邊 健吾(三井記念病院 循環器内科)

演 者:

1. How Can We Save Shock Patients with New Devices?
戸田 宏一(大阪大学 心臓血管外科学)
2. An Appropriate Management for Cardiogenic Shock using Impella, a New Percutaneous Left Ventricular Assist Device
中田 淳(日本医科大学 心臓血管集中治療科)
3. New Technologies for Heart Failure Management in the USA
藤野 剛雄(シカゴ大学 循環器内科)

(4) 不整脈マッピング機器をどう使いこなすか? 〈日本語〉

(3月29日(金) 8:00~9:00 パシフィコ横浜 会議センター, 4階「411+412」)

座長: 佐久間一郎(東京大学 工学系研究科 附属医療福祉工学開発議評価研究センター)

中里 祐二(順天堂大学浦安病院 循環器内科)

演 者:

1. Utility of a Novel Rapid High-Resolution Mapping System in the Catheter Ablation of Arrhythmias
木村 正臣(弘前大学 不整脈先進治療学講座)
2. New Substrate-Guided Method of Predicting Slow Conducting Isthmuses of Ventricular Tachycardia: Combined Use of Voltage Limit Adjustment and Fast-Fourier Transform Analysis
野上 昭彦(筑波大学 循環器内科)

- (5) The Role of Transcriptional Factors in Cardiac Development (英語)
 (3月29日(金) 17:00~18:00 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「301」)
 座長: Ichiro Shiojima (Department of Medicine II, Kansai Medical University, Hirakata)
 Mona Nemer (Government of Canada, Canada)
 Keynote: Mona Nemer (Government of Canada, Canada)
 演 者:
 1. Transcriptional Cascades Regulating the Development of the Heart
 Hiroyuki Yamagishi (Department of Pediatrics, Keio University School of Medicine, Tokyo)
 2. Jun Takeuchi (Tokyo Medical and Dental University, Tokyo)
- (6) 左主幹部・多枝病変の血行再建を再考する (日本語)
 (3月29日(金) 15:25~16:25 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F203+F204」)
 座長: 中村 正人(東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科)
 夜久 均(京都府立医科大学 心臓血管外科学)
 演 者:
 1. PCI for LMTD and MVD
 門田 一繁(倉敷中央病院 循環器内科)
 2. Indication for CABG from the Cardiac Surgeon's Perspective
 大野 貴之(三井記念病院 心臓血管外科)
- (7) HFmrEFをどう考え、どう治療するか? (日本語)
 (3月29日(金) 15:25~16:25 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F205+F206」)
 座長: 百村 伸一(自治医科大学さいたま医療センター 循環器内科)
 田邊 一明(島根大学 内科学第四)
 演 者:
 1. How Can We Characterize Pathophysiology of Heart Failure with Mid-range Ejection Fraction?
 大門 雅夫(東京大学 検査部・循環器内科)
 2. HFmrEF, What is This? How It Should be Treated?
 大手 信之(名古屋市立大学 心臓・腎高血圧内科学)
 3. Treatment of Heart Failure with Mid-Range Ejection Fraction
 猪又 孝元(北里大学北里研究所病院 循環器内科)
- (8) Imaging in Atrial Fibrillation -Elucidation of Left Atrial Remodeling- (英語)
 (3月30日(土) 8:40~9:40 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
 座長: Jeroen J. Bax (Leiden University Medical Centre, The Netherlands)
 Naohiko Takahashi (Department of Cardiology and Clinical Examination, Faculty of Medicine, Oita University, Oita)
 Keynote: Jeroen J. Bax (Leiden University Medical Centre, The Netherlands)
 演 者:
 1. Potential Clinical Utility and Limitations of 3-dimensional MRI and CT images for Atrial Fibrillation Ablation
 Yasuo Okumura (Division of Cardiology, Department of Medicine, Nihon University School of Medicine, Tokyo)
 2. Echocardiographic Evaluation of Left Atrial Remodeling Toward Fusion of Function and Pathology
 Yoshihiro Seo (筑波大学 医学医療系 循環器内科)

- (9) 心臓デバイス感染にどう向き合うか：診断と治療の最前線 〈日本語〉
(3月30日(土) 9:45~10:45 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F203+F204」)
座長：合屋 雅彦(東京医科歯科大学 循環制御内科学講座)
伊藤 浩(岡山大学 機能制御学(循環器内科))

演 者：

1. Usefulness of Echocardiography for the Diagnosis of Cardiac Device Related Infective Endocarditis
丸尾 健(倉敷中央病院 循環器内科)
2. 藤生 克仁(東京大学 循環器内科)
3. Antibiotic Prophylaxis for the Patients with Intracardiac Devices
大原 貴裕(東北医科薬科大学 地域医療学教室／総合診療科)

- (10) 心不全の栄養療法とサルコペニア対策 〈日本語〉
(3月30日(土) 10:50~11:50 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F203+F204」)
座長：山科 章(東京医科大学 医学教育推進センター／東京医科大学 健診予防医学センター)
野原 隆司(枚方公済病院)

演 者：

1. Cardiac Cachexia in Patients with Heart Failure
佐藤 幸人(兵庫県立尼崎総合医療センター 循環器内科)
2. Inadequate Nutritional Intake is an Independent Predictor of Poor Outcomes in Patients with Heart Failure
絹川真太郎(北海道大学 循環病態内科学)

- (11) 3D Engineering for CV Regenerative Therapy 〈英語〉
(3月30日(土) 15:45~16:45 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F201+F202」)
座長：Tatsuya Shimizu(Institute of Advanced Biomedical Engineering and Science, Tokyo Women's Medical University, Tokyo)
Thomas Eschenhagen (University Medical Center Hamburg-Eppendorf, Germany)

Keynote：

- 3D Engineering for CV Regenerative Therapy
Thomas Eschenhagen (University Medical Center Hamburg-Eppendorf, Germany)

演 者：

- Recent Advances of Cell Sheet-Base Myocardial Tissue Engineering
Tatsuya Shimizu(Institute of Advanced Biomedical Engineering and Science, Tokyo Women's Medical University, Tokyo)

- (12) 循環器疾患と性差 〈日本語〉
(3月30日(土) 15:10~16:10 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F203+F204」)
座長：樗木 晶子(九州大学 保健学部門)
佐藤加代子(東京女子医科大学 循環器内科)

演 者：

1. The Clinical Feature of Coronary Artery Disease in Women
河野 宏明(熊本大学 生命科学研究部 環境社会医学部門)
2. 井手 友美(九州大学 循環器内科)
3. The History, Practice, and Future of Gender Medicine in Japan: Messages from Practitioners at Women-Specific Clinics at a University Hospital
片井みゆき(東京女子医科大学 総合診療科／女性科(女性内科))

- (13) 成人先天性心疾患のカテーテル治療 〈日本語〉
 (3月30日(土) 14:10~15:10 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F205+F206」)
 座長: 稲葉 俊郎(東京大学 循環器内科)
 金澤 英明(慶應義塾大学 循環器内科)
- 演 者:
1. Transcatheter Interventions in Adults with Congenital Heart Disease: Current State and Perspective
 矢崎 諭(榊原記念病院 小児循環器科)
 2. Current Concept of Transcatheter Closure of Patent Foramen Ovale (PFO) for Secondary Prevention of PFO Related Cryptogenic Stroke
 赤木 禎治(岡山大学 循環器内科)
- (14) 心疾患患者の周産期管理と産褥心筋症 〈日本語〉
 (3月30日(土) 16:20~17:20 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F205+F206」)
 座長: 市田 路子(富山大学 医学薬学研究部 小児科)
 長谷部直幸(旭川医科大学 内科学講座 循環・呼吸・神経病態内科学分野)
- 演 者:
1. The Management of Pregnancy with Cardiovascular Disease
 池田 智明(三重大学 産科婦人科)
 2. Peripartum Cardiomyopathy: the Overview and Japanese Clinical Guideline
 神谷千津子(国立循環器病研究センター 周産期・婦人科部)
- (15) Translational Research in Cardiovascular Repair 〈英語〉
 (3月31日(日) 8:30~9:30 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「301」)
 座長: Masaki Ieda (Department of Cardiology, Faculty of Medicine, University of Tsukuba, Tsukuba)
 Joshua Hare (University of Miami Miller School of Medicine, USA)
 Keynote: Joshua Hare (University of Miami Miller School of Medicine, USA)
- 演 者:
1. Shigeru Miyagawa (Osaka University, Suita)
 2. Gene Therapy and Vaccination in Cardiovascular Diseases as Translation Research
 Ryuichi Morishita (Department of Clinical Gene Therapy, Osaka University, Suita)
- (16) Signal Transduction and Epigenetic Mechanisms in Heart Diseases 〈英語〉
 (3月31日(日) 9:35~10:35 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「301」)
 座長: Yasuchika Takeishi (Department of Cardiovascular Medicine, Fukushima Medical University, Fukushima)
 Metin Avkiran (School of Cardiovascular Medicine and Sciences, King's College London, UK)
- Keynote:
- Role of Phosphatase Regulatory Subunits in Cardiac Responses to Beta-Adrenergic Stimulation
 Metin Avkiran (School of Cardiovascular Medicine and Sciences, King's College London, UK)
- 演 者:
1. Alteration of Heterochromatin Localization and Spatial Positioning of a Mitochondrial Function-related Gene in Cardiomyocytes under Oxidative Stress
 Ruri Kaneda (Jichi Medical University, Tochigi)
 2. A Noble Heart Failure Therapy Targeting Acetyltransferase Activity of p300
 Tatsuya Morimoto (Division of Molecular Medicine, School of Pharmaceutical Sciences, University of Shizuoka, Shizuoka)

- (17) Redefining Translational Science in Heart Failure 〈英語〉
(3月31日(日) 10:40~11:40 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「301」)
座長: David A. Kass (Johns Hopkins University, USA)
Masatsugu Hori (Osaka International Cancer Institute, Osaka)

演 者:

1. David A. Kass (Johns Hopkins University, USA)
2. Erythropoietin in Patients with ST-segment Elevation Myocardial Infarction (EPO-AMI-II): A Randomized Controlled Clinical Trial
Tetsuo Minamino (Department of Cardiorenal and Cerebrovascular Medicine, Faculty of Medicine, Kagawa University, Kita-gun)
3. Tomonori Tsukiya (National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)

- (18) 睡眠時無呼吸症候群による心血管病への影響と新たな治療法(舌下神経刺激療法など)への期待 〈日本語〉

(3月31日(日) 8:30~9:30 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「303」)

座長: 苅尾 七臣(自治医科大学 内科学講座循環器内科学部門)

明石 嘉浩(聖マリアンナ医科大学 循環器内科)

演 者:

1. Sleep Disordered Breathing and Cardiovascular Disease
百村 伸一(自治医科大学さいたま医療センター 循環器内科)
2. A Novel Therapy for OSA -Upper Airway Stimulation as An Alternative Therapy for CPAP-intolerant Patients-
山内 基雄(奈良県立医科大学 呼吸器内科学)

- (19) The fascinating world of basic research in cardiology 〈英語〉
(3月31日(日) 9:35~10:35 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「303」)

座長: Michael David Schneider (Imperial College London in Heart Science, UK)

Motoaki Sano (Department of Cardiology, Keio University School of Medicine, Tokyo)

Keynote:

Novel Suppressors of Human Cardiac Muscle Cell Death: Insights from Human Pluripotent Stem Cell-derived Myocytes

Michael David Schneider (Imperial College London in Heart Science, UK)

演 者:

1. Basic Science Opens New and Unknown Futures before Us
Satoaki Matoba (Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of Medical Science, Kyoto Prefectural University of Medicine, Kyoto)
2. Estrogen's Non-nuclear Signaling in Cardiac Remodeling
Eiki Takimoto (Department of Cardiovascular Medicine, The University of Tokyo, Tokyo)

- (20) Transcriptome and Proteome for Cardiovascular Medicine 〈英語〉
(3月31日(日) 10:40~11:40 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「303」)

座長: Naoto Minamino (Omics Research Center, National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)

Peipei Ping (UCLA School of Medicine, USA)

Keynote:

Machine Learning-based Integrative Analytics of the Oxidative Stress: Sensitive Post-translational Modification (OPTM) Landscape in Mouse Models and Human Heart Failure

Peipei Ping (UCLA School of Medicine, USA)

演 者：

1. Proteome Information-based Disease Staging Paves the Way to Discover Novel Biomarkers for Evaluating Development and Progression of Aortic Aneurysm
Naoto Minamino (Omics Research Center, National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita)
2. Identification of Wisteria Floribunda Agglutinin as a Specific Lectin for Detection of Cardiac Fibrosis in a Dilated Cardiomyopathy Mouse Model Using Lectin Microarray-Based Glycomic Analysis
Chiaki Okatani (Biotechnology Research Institute for Drug Discovery, National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, Tsukuba)

- (21) AI が切り拓く未来の医療 〈日本語〉
(3月31日(日) 13:30~14:30 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「303」)
座長：永井 良三(自治医科大学)
西村 邦宏(国立循環器病研究センター 予防医学疫学情報部)

演 者：

1. Development of the Integrated Medical System using Artificial Intelligence: Towards the Realization of Precision Medicine
浜本 隆二(国立がん研究センター研究所・がん分子修飾制御学分野)
2. Future of AI and its Impact to Medicine
松尾 豊(東京大学 工学系研究科)

- (22) 費用対効果から循環器治療を再考する 〈日本語〉
(3月31日(日) 14:35~15:35 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「303」)
座長：田倉 智之(東京大学 医療経済政策学講座)
五十嵐 中(東京大学 薬学系研究科 医薬政策学寄付講座)

演 者：

1. Cost-Effectiveness Analysis of Cardiovascular Disease Treatment in Japan
小寺 聡(東京大学 循環器内科)
2. Cost-Effectiveness Evaluation and Cardiovascular Guidelines
坂巻 弘之(東京理科大学 経営学部)

- (23) Athlete's Heart -Current Knowledge and Future Perspectives 〈英語〉
(3月31日(日) 15:40~16:40 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「303」)
座長：Hirokazu Shiraishi (Department of Cardiovascular Medicine・Rehabilitation Unit, Kyoto Prefectural University of Medicine, Kyoto)
Shigeru Makita (Department of Cardiac Rehabilitation, Saitama Medical University, International Medical Center, Iruma)

演 者：

1. Cardiac Structure in Elite Basketball Players
Shunichi Homma (Department of Medicine/Division of Cardiology at Columbia University Medical Center, USA)
2. Association between Myocardial Triglyceride Content and Cardiac Function in Healthy Subjects, Endurance Athletes, and Patients with Hypertrophic Cardiomyopathy
Kazunori Shimada (Department of Cardiovascular Medicine, Juntendo University Graduate School of Medicine, Tokyo)
3. Electrical and Structural Adaptation of Athlete's Heart in Japanese Adolescents
Yoshitaka Iso (Showa University Research Institute for Sport and Exercise Sciences, Yokohama)

17. コントロバーシー

- (1) ACSにおける抗PCSK9抗体の位置付け 〈日本語〉
(3月29日(金) 9:05~10:05 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「304」)
座長: 阿古 潤哉(北里大学 循環器内科学)
三浦伸一郎(福岡大学 心臓・血管内科学)
- 演 者:
1. Possible Positioning of Anti-PCSK9 Antibodies in Lipid-lowering Treatment of ACS Patients.
清末 有宏(東京大学 循環器内科)
 2. Lipid Lowering Therapy in Acute Coronary Syndrome Is Treatment Early Intensive Enough?
岡崎 真也(順天堂大学 循環器内科学)
- (2) SFA・BK領域の血行再建は外科か, 内科か? 〈日本語〉
(3月30日(土) 14:10~15:10 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F203+F204」)
座長: 宮田 哲郎(国際医療福祉大学 山王病院・山王メディカルセンター 血管病センター)
横井 良明(岸和田徳洲会病院 循環器内科)
- 演 者:
1. Who Should Manage Infrainguinal Artery Disease?
曾我 芳光(小倉記念病院 循環器内科)
 2. Advantage of the Bypass-first Strategy for the Infra-inguinal Arterial Lesion
保科 克行(東京大学 血管外科)
- (3) PCIの効果はプラセボか?(ORBITA試験から考える) 〈日本語〉
(3月30日(土) 17:20~18:20 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F205+F206」)
座長: 安東 治郎(東京大学 循環器内科)
住吉 徹哉(榊原記念病院 循環器内科)
- 演 者:
1. ORBITA Trial: Impact of the Trial Result and Implication on the Japanese Practice
香坂 俊(慶應義塾大学 循環器内科)
 2. Beyond ORBITA: The Role of PCI in Stable CAD
横井 宏佳(福岡山王病院 循環器センター)
- (4) 心臓再同期療法(CRT)導入の根拠はガイドラインだけでよい? 〈日本語〉
(3月31日(日) 8:30~9:30 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F203+F204」)
座長: 中谷 敏(大阪大学 保健学専攻 機能診断科学講座)
清水 昭彦(宇部興産中央病院)
- 演 者:
1. Cardiac Resynchronization Therapy in Heart Failure - beyond the Guideline
野田 崇(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
 2. Impact of Clinical Factors that Have Not Been Widely Recognized yet on Benefits of Cardiac Resynchronization Therapy
神崎 秀明(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
- (5) 高齢者の心房細動は積極的に治療すべきか? 〈日本語〉
(3月31日(日) 9:35~10:35 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F203+F204」)
座長: 萩原 誠久(東京女子医科大学 循環器内科)
栗田 隆志(近畿大学 心臓血管センター)
- 演 者:
1. Aggressive Approach to Atrial Fibrillation in the Aged
山下 武志(心臓血管研究所 循環器内科)

2. Anticoagulation is Not Suitable for Some Elderly Patients

村川 裕二(帝京大学溝口病院 第四内科)

(6) どうする三尖弁逆流の治療方針：内科治療優先？早期外科手術？ 〈日本語〉

(3月31日(日) 13:30~14:30 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F203+F204」)

座長：竹村 博文(金沢大学 先進総合外科)

渡辺 弘之(東京ベイ・浦安市川医療センター ハートセンター)

演 者：

1. Early Surgery for Asymptomatic Severe Tricuspid Regurgitation; Is it Ready Now?

泉 知里(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

2. Should We Perform Early Surgery in Patients with Isolated Tricuspid Regurgitation? "Probably Yes"

阿部 幸雄(大阪市立総合医療センター 循環器内科)

18. ミート・ザ・エキスパート

(1) Current Status and Future Perspectives of Percutaneous Coronary Intervention to Chronic Total Occlusion 〈英語〉

(3月29日(金) 9:05~10:05 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「301」)

座長：Jiro Ando(Department of cardiovascular medicine, The University of Tokyo Hospital)

Junbo Ge(Department of Cardiology, Zhongshan Hospital, Fudan University, China / Chinese Society of Cardiology)

演 者：

1. Percutaneous Coronary Intervention of Chronic Total Occlusion: Current Status and Future

Junbo Ge(Department of Cardiology, Zhongshan Hospital, Fudan University, China / Chinese Society of Cardiology)

2. Satoru Sumitsuji(Osaka University Graduate School of Medicine, Suita)

(2) Registry Research in Percutaneous Coronary Intervention 〈英語〉

(3月29日(金) 10:10~11:10 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「301」)

座長：Takeshi Kimura(Department of Cardiovascular Medicine, Kyoto University Graduate School of Medicine, Kyoto)

Seung-Jung Park(Asan Medical Center, Korea)

演 者：

1. Paradigm Change of PCI: FFR and Intravascular Imaging-guided Intervention

Seung-Jung Park(Asan Medical Center, Korea)

2. Expectation of J-PCI Registry

Masato Nakamura (Division of Cardiovascular Medicine, Toho University Ohashi Medical Center, Tokyo)

3. Registry Research in Percutaneous Coronary Intervention in Singapore

Khung Keong Yeo(National Heart Centre Singapore, Singapore)

(3) ARVC up to date 〈日本語〉

(3月30日(土) 8:40~9:40 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F205+F206」)

座長：因田 恭也(名古屋大学 循環器内科)

彗田 浩(福井大学 病態制御医学講座 循環器内科学)

演 者：

1. Arrhythmogenic Right Ventricular Cardiomyopathy (ARVC) overview

小島 敏弥(東京大学 循環器内科)

2. Genetic Background of ARVC

大野 聖子(国立循環器病研究センター 分子生物学部)

3. Mapping and Ablation of Ventricular Tachycardia in Arrhythmogenic Right Ventricular Cardiomyopathy

里見 和浩(東京医科大学 不整脈センター)

(4) VT 最前線 〈日本語〉

(3月30日(土) 9:45~10:45 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F205+F206」)

座長: 相澤 義房(立川メディカルセンター立川総合病院 研究開発部)

青沼 和隆(筑波大学 医学医療系 循環器内科)

演 者:

1. Ablation of Electrical Storm Ventricular Tachycardia: Endocardial, Epicardial and Open-chest Surgical Approaches

奥村 謙(済生会熊本病院 循環器内科)

2. Catheter Ablation for Ischemic Heart Disease

関口 幸夫(筑波大学 循環器内科)

3. Catheter Ablation for Ventricular Tachycardia Associated with Non-ischemic Cardiomyopathy

副島 京子(杏林大学 循環器内科)

(5) ペースメーカ感染を疑ったらすべきこと ABC 〈日本語〉

(3月30日(土) 10:50~11:50 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F205+F206」)

座長: 庄田 守男(東京女子医科大学 循環器内科)

今井 克彦(国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 心臓血管外科)

演 者:

1. 庄田 守男(東京女子医科大学 循環器内科)

2. Management for Cardiovascular Implantable Electronic Device Infection - Detection, Wound Management and Treatment

宮城 泰雄(日本医科大学 心臓血管外科)

(6) 左室拡張能を再考する 〈日本語〉

(3月30日(土) 15:10~16:10 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F205+F206」)

座長: 尾辻 豊(産業医科大学 第二内科学)

大手 信之(名古屋市立大学 心臓・腎高血圧内科学)

演 者:

1. Echocardiographic Assessment of Left Ventricular Diastolic Function

浅沼 俊彦(大阪大学 保健学科)

2. Usefulness of Pulmonary Venous Flow Velocity

天野 雅史(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

3. The Clinical Use of Diastolic Stress Echocardiography for Assessment of Diastolic Dysfunction

杉本 匡史(三重大学 中央検査部)

(7) 大動脈弁手術の最前線 〈日本語〉

(3月31日(日) 8:30~9:30 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「304」)

座長: 小野 稔(東京大学 心臓外科)

齋木 佳克(東北大学 心臓血管外科学分野)

演 者:

1. Principles of Aortic Valve Repair

小宮 達彦(倉敷中央病院 心臓血管外科)

2. 尾崎 重之(東邦大学医療センター大橋病院 心臓血管外科)

3. Totally Endoscopic Aortic Valve Surgery Through Right Intercostal Windows.

伊藤 敏明(名古屋第一赤十字病院 心臓血管外科)

- (12) ナショナルデータベースの研究利用 〈日本語〉
(3月31日(日) 15:40~16:40 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「501」)
座長: 康永 秀生(東京大学 公共健康医学専攻 臨床疫学・経済学分野)
福原 俊一(京都大学/福島県立医科大学)

演 者:

1. Conducting Database Research on Cardiovascular Diseases Using the NDB
福田 治久(九州大学 医療経営学)
2. Application of the Diagnosis Procedure Combination (DPC) Database to Cardiovascular Research in Japan
磯貝 俊明(東京都立多摩総合医療センター 循環器内科)

19. モーニングレクチャー

- (1) 安全で有効な LMT への PCI に必要なこと 〈日本語〉
(3月30日(土) 7:45~8:30 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「301」)
座長: 上妻 謙(帝京大学 内科学講座・循環器内科)
尾崎 行男(藤田医科大学 循環器内科)

演 者:

1. Percutaneous Coronary Intervention for Left Main Trunk; How to Optimize Stent Techniques
三友 悟(新東京病院 心臓内科)
2. The Requirements for Successful Left Main stenting from the Results from the Bench Test
挽地 裕(佐賀大学 循環器内科)

- (2) 心エコー図・MRI による右心機能評価 〈日本語〉
(3月30日(土) 7:45~8:30 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「302」)
座長: 山田 聡(東京医科大学八王子医療センター 循環器内科)
松本 直也(日本大学 循環器内科)

演 者:

1. Assessment of the Right Ventricular Function by Echocardiography
瀬尾 由広(筑波大学 医学医療系 循環器内科)
2. MRI of the Right Ventricle: Recent Advancements
北川 覚也(三重大学 放射線科)

- (3) 肺動脈バルーン形成術の Tip and Tricks 〈日本語〉
(3月30日(土) 7:45~8:30 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「303」)
座長: 大郷 剛(国立循環器病研究センター 肺循環科)
菅野 晃靖(横浜市立大学 循環器・腎臓・高血圧内科学)

演 者:

1. Ideal Balloon Pulmonary Angioplasty to Obtain the Maximum Therapeutic Efficacy.
下川原裕人(国立病院機構岡山医療センター 循環器内科)
2. Hybrid Therapy of Balloon Pulmonary Angioplasty and Pulmonary Endarterectomy for Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension
山下 淳(東京医科大学 循環器内科)
3. Tips and Tricks of Treating Total Occlusive Lesion by Balloon Pulmonary Angioplasty
皆月 隼(東京大学 循環器内科)

- (4) 遺伝性心筋疾患のカウンセリング 〈日本語〉
(3月30日(土) 7:45~8:30 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「304」)
座長: 森崎 裕子(榊原記念病院)
今井 靖(自治医科大学 臨床薬理学・循環器内科学)

演 者：

1. Genetic Counseling on Pediatric Cardiomyopathy
山岸 敬幸(慶應義塾大学 小児科)
2. Genetic Testing for Cardiovascular Diseases and Reporting of Genetic Findings
森田 啓行(東京大学 循環器内科学)

- (5) 残存リスク克服のための高中性脂肪血症への取り組み 〈日本語〉
(3月30日(土) 7:45~8:30 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「311+312」)
座長：朔 啓二郎(福岡大学 総合医学研究センター)
倉林 正彦(群馬大学 循環器内科学)

演 者：

1. Hypertriglyceridemia: Genes, Environments, and New Therapeutic Approaches
岡崎 啓明(東京大学 糖尿病・代謝内科)
2. Management of the Residual Risks of Cardiovascular Events: the Importance of Balancing Omega 3 Polyunsaturated Fatty Acids in Patients with Cardiovascular Disease
島田 和典(順天堂大学 循環器内科学)

- (6) 経カテーテル三尖弁形成の可能性と適応を考える 〈日本語〉
(3月30日(土) 7:45~8:30 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「313+314」)
座長：林田健太郎(慶應義塾大学 循環器内科)
石津 智子(筑波大学 医学医療系 臨床検査医学)

演 者：

1. 大野 洋平(東海大学 内科学系循環器内科学)
2. Three-Dimensional Imaging and Anatomical Analysis of the Tricuspid Valve for New Transcatheter Tricuspid Devices
宇都宮裕人(広島大学 循環器内科)

- (7) アミロイド心筋症の病態と新規治療法 〈日本語〉
(3月30日(土) 7:45~8:30 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「315」)
座長：湊口 信也(岐阜市民病院 心不全センター)
北岡 裕章(高知大学 老年病・循環器内科学)

演 者：

1. Pathophysiology and Novel Treatment of the Cardiac Amyloidoses.
小山 潤(丸子中央病院 内科)
2. Recent Advances in Diagnostic Imaging Modalities for Cardiac Amyloidosis
泉家 康宏(大阪市立大学 循環器内科学)

- (8) 達人から学ぶ心臓診察の極意 〈日本語〉
(3月31日(日) 7:30~8:15 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「301」)
座長：福田 信夫(四国こどもとおとなの医療センター 内科)
坂本 二哉(半蔵門病院)

演 者：

1. Cardiac Physical Diagnosis by Inspection and Palpation
山崎 直仁(高知大学 老年病・循環器内科学)
2. The Key Points to Perform Physical Examinations in Patient with Heart Failure
水野 篤(聖路加国際病院 循環器内科)
3. 白石 裕一(京都府立医科大学 循環器内科)

- (9) 循環器内科医が知っておくべき全身疾患(リソソーム病) 〈日本語〉
(3月31日(日) 7:30~8:15 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「302」)
座長：葭山 稔(大阪市立大学 循環器内科学)
大石 充(鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科学)

演 者：

1. Fabry Cardiomyopathy
樋口 公嗣(鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科学)
2. Current Status of the Management of Anderson-Fabry Disease
杉村宏一郎(東北大学 循環器内科学)
3. The Benefit of Enzyme Replacement Therapy in Japanese Fabry Patients
本郷 賢一(東京慈恵会医科大学 循環器内科)

(10) ネットワークメタアナリシス入門 〈日本語〉

(3月31日(日) 7:30~8:15 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「303」)

座長：佐藤 泰憲(慶應義塾大学 衛生学公衆衛生学教室)

小寺 聡(東京大学 循環器内科)

演 者：

1. How to Read and Interpret Results of a Network Meta-analysis: An Introduction of a Network Meta-analysis
大庭 幸治(東京大学 生物統計学分野)
2. Attractiveness and Pitfalls Encountered in the Network Meta-analysis
折笠 秀樹(富山大学 バイオ統計学・臨床疫学)

(11) 遺伝子治療の新展開 〈日本語〉

(3月31日(日) 7:30~8:15 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「304」)

座長：北風 政史(国立循環器病研究センター 臨床研究部)

森下 竜一(大阪大学 臨床遺伝子治療学)

演 者：

1. Progress of Gene Therapy Including Exon Skipping for Muscular Dystrophy
武田 伸一(国立精神・神経医療研究センター)
2. Genome Editing Targeting Cardiovascular Disease
肥後修一郎(大阪大学 重症心不全内科治療学寄附講座)

(12) 心電図の基礎から応用 〈日本語〉

(3月31日(日) 7:30~8:15 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「311+312」)

座長：新 博次(南八王子病院)

東條美奈子(北里大学 医療衛生学部)

演 者：

1. How to Learn Electrocardiogram
村川 裕二(帝京大学溝口病院 第四内科)
2. Clinical Use of 12-lead Electrocardiogram
小菅 雅美(横浜市立大学 市民総合医療センター 心臓血管センター)

(13) ロボット心臓手術はどこまで進歩しているのか? 〈日本語〉

(3月31日(日) 7:30~8:15 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「313+314」)

座長：北村惣一郎(国立循環器病研究センター)

高梨秀一郎(榊原記念病院 心臓血管外科)

演 者：

1. Current Status of Robot-assisted Cardiac Surgery
渡邊 剛(ニューハート・ワタナベ国際病院 心臓血管外科)
2. Robotic Cardiac Surgery in National Cerebral and Cardiovascular Center
小林順二郎(国立循環器病研究センター 心臓血管外科)

- (14) 冠疾患+心房細動患者の抗凝固・抗血小板療法 〈日本語〉
 (3月31日(日) 7:30~8:15 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「315」)
 座長: 一色 高明(上尾中央総合病院 循環器内科)
 三田村秀雄(立川病院)

演 者:

1. Antithrombotic Therapy for Atrial Fibrillation and Coronary Artery Disease
 宮内 克己(順天堂大学 循環器内科学講座)
2. Antithrombotic Therapy in Atrial Fibrillation Patients Who Developed Coronary Artery Disease
 井上 耕一(桜橋渡辺病院 心臓血管センター)

- (15) 肺高血圧症の鑑別診断の重要性を再考する 〈日本語〉
 (3月31日(日) 7:30~8:15 パシフィコ横浜 会議センター, 4階「411+412」)
 座長: 近藤 隆久(名古屋大学 肺高血圧先端治療学寄附講座)
 中村 一文(岡山大学 循環器内科学)

演 者:

1. Diagnosis and Personalized Approach in Idiopathic/Heritable Pulmonary Arterial Hypertension
 片岡 雅晴(慶應義塾大学 循環器内科)
2. How to Diagnose PVOD/PCH
 小川 愛子(岡山医療センター 臨床研究部)
3. PAH: "Classic" vs "Left Heart/Pulmonary" Phenotype
 辻野 一三(北海道大学 内科I)

20. U40 心不全ネットワーク企画セッション 〈日本語〉

高齢者心不全診療の現状を把握し、未来を創る

(3月31日(日) 8:00~10:00 パシフィコ横浜 サテライト会場)

座長: 大石 醒悟(兵庫県立姫路循環器病センター 循環器内科/第5期U40心不全ネットワーク代表幹事)

谷口 達典(大阪大学 バイオデザイン学共同研究講座/循環器内科学)

イントロダクション: 大石 醒悟(兵庫県立姫路循環器病センター 循環器内科/第5期U40心不全ネットワーク代表幹事)

Keynote: 木原 康樹(広島大学 循環器内科学)

症例検討:

1. Case Discussion of Therapeutic Strategies for Elderly Patients with Severe Aortic Stenosis (AS)

岩根 成豪(兵庫県立姫路循環器病センター 循環器内科)

ミニレクチャー:

2. 菊池 篤志(大阪府立急性期・総合医療センター)
3. 新保 麻衣(秋田大学 循環器内科学)
4. 柴田 龍宏(久留米大学 内科学講座 心臓・血管内科部門)

21. Featured Research Session 〈英語〉

(1) Arrhythmias (Clinical) 1

(3月29日(金) 8:00~9:30 パシフィコ横浜 会議センター, 4階「416+417」)

座長: Gordon F. Tomaselli (Albert Einstein College of Medicine, Bronx, NY, USA)
 Masahiko Goya (Department of Cardiovascular Medicine, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo)

Keynote Lecture: Gordon F. Tomaselli (Albert Einstein College of Medicine, Bronx, NY, USA)

演 者：

1. Association between Blood Pressure Levels and Cardiovascular Events in Patients with Atrial Fibrillation and Hypertension: The Fushimi AF Registry
Mitsuru Ishii (Department of Cardiology, National Hospital Organization, Kyoto Medical Center, Kyoto)
2. Incidence and Predictors of Pericardial Effusion during and Immediately after Catheter Ablation of Atrial Fibrillation: J-CARAF Study 2011-2017
Yuji Murakawa (Fourth Department of Internal Medicine, Teikyo University School of Medicine, Kawasaki)
3. Evaluation of Regional Heterogeneity of Left Atrial Wall Thickness Using Intra-cardiac Echocardiography: Application to Ablation Index-based Pulmonary Vein Isolation
Yuji Motoike (Department of Cardiology, Fujita Health University, Toyoake)
4. Safety and Efficacy of High-power and Short-duration Ablation for Pulmonary Vein Isolation: First Experience in a Single Center
Masaomi Kimura (Advanced Management of Cardiac Arrhythmias, Hirosaki University Graduate School of Medicine, Hirosaki)

(2) Arrhythmias (Clinical) 2

(3月29日(金) 9:40~11:10 パシフィコ横浜 会議センター, 4階「416+417」)

座長: Shih-Ann Chen (Taipei Veterans General Hospital, Taiwan)

Koichiro Kumagai (Heart Rhythm Center, Fukuoka Sanno Hospital, Fukuoka)

Keynote Lecture:

“Catheter Ablation of Atrial Fibrillation: Lessons from the Big Data and Digital Technology”

Shih-Ann Chen (Taipei Veterans General Hospital, Taiwan)

演 者：

1. The Very Late Recurrence of Atrial Fibrillation after Catheter Ablation -The Major Cause and Appropriate Management-
Junichi Doi (Department of Cardiology, Yokosuka Kyosai Hospital, Yokosuka)
2. Safety and Efficacy of High Radiofrequency Power Application According to the Contact Force Value in Ablation Index-Guide Pulmonary Vein Isolation
Ken Okumura (Saiseikai Kumamoto Hospital Cardiovascular Center, Kumamoto)
3. Development of Risk Models for Mortality and Morbidity by Artificial Intelligence: Shinken Database Analysis
Shinya Suzuki (Department of Cardiovascular Medicine, The Cardiovascular Institute, Tokyo)
4. Impact of Nasal Trouble in Patients with Atrial Fibrillation
Takuya Taniguchi (Department of Cardiovascular Medicine, North Medical Center, Kyoto Prefectural University of Medicine, Yosano-cho)

(3) Coronary Artery Diseases (Clinical) 1

(3月29日(金) 16:30~18:00 パシフィコ横浜 会議センター, 4階「414+415」)

座長: C. Michael Valentine (Centra Health/Immediate Past President, ACC, USA)

Shiro Uemura (Cardiovascular Medicine, Kawasaki Medical School, Kurashiki)

Keynote Lecture: C. Michael Valentine (Centra Health/Immediate Past President, ACC, USA)

演 者：

1. VEGF-C as an Inverse Predictor of Total Mortality in Patients with Stable Coronary Heart Disease: From the ANOX Study
Hiromichi Wada (Division of Translational Research, National Hospital Organization Kyoto Medical Center, Kyoto)

2. Clinical and Laboratory Predictors for Plaque Erosion in Patients with Acute Coronary Syndromes
Erika Yamamoto (Department of Cardiovascular Medicine, Graduate of Medicine, Kyoto University, Kyoto)
3. Impact of Aortic Atheromatous Plaques Identified by Aortic angiography on One-Year Clinical Events: On Behalf of DREAM-NOGA Registry
Keisuke Kojima (Division of Cardiology, Department of Medicine, Nihon University School of Medicine, Tokyo)
4. Progression of Calcified Lesions to Atherosclerotic Lesions of CAD in Young Adults on High Volume Kawasaki Disease (KD) Database
Koudai Sugimura (Division of Cardiology, Heart Institute, Chiba Nishi General Hospital, Matsudo)

(4) Heart Failure, Cardiomyopathy (Clinical)

(3月29日(金) 13:50~15:20 パシフィコ横浜 会議センター, 4階「416+417」)

座長: Dae-Won Sohn (Seoul National University College of Medicine, Korea)

Tomoko Ichiki (Cardiology, School of Medicine, International University of Health and Welfare, Nasushiobara)

Keynote Lecture :

“Multimodality Imaging in Cardiomyopathy”

Dae-Won Sohn (Seoul National University College of Medicine, Korea)

演 者 :

1. Renal Function and the Prognostic Impact of Renin-angiotensin-aldosterone System Inhibitors for Heart Failure Patients: An Analysis of HIJ-HF II Study
Keisuke Suzuki (Department of Cardiology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo)
2. Relationship between VEGF-C and Mortality in Patients with Stable Coronary Artery Disease and Heart Failure: from the ANOX Study
Moritake Iguchi (Department of Cardiology, National Hospital Organization Kyoto Medical Center, Kyoto)
3. Prognostic Implications of the Mitral L Wave in Patients with Hypertrophic Cardiomyopathy
Chihiro Saito (Department of Cardiology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo)
4. Comparative Effectiveness of Alcohol Septal Ablation versus Septal Myectomy on Acute Care Use for Cardiovascular Disease in Hypertrophic Cardiomyopathy
Yuichi J. Shimada (Columbia University Medical Center, USA)

(5) Heart Failure, Cardiomyopathy (Basic)

(3月29日(金) 16:30~18:00 パシフィコ横浜 会議センター, 4階「416+417」)

座長: Yunzeng Zou (Shanghai Zhongshan Hospital, China)

Osamu Yamaguchi (Department of Cardiology, Pulmonology, Hypertension and Nephrology, Ehime University Graduate School of Medicine, Toon)

Keynote Lecture : Yunzeng Zou (Shanghai Zhongshan Hospital, China)

演 者 :

1. CCDC11 Promotes Cardiac Hypertrophy and Dysfunction in Response to Pressure Overload
Jia Wei Chen (Department of Cardiology, Rui Jin Hospital, Shanghai Jiao Tong University School of Medicine, China)
2. Werner Gene is Responsible for Cardiac Aging with the Disability of the Autophagy
Takahiro Kamihara (Department of Cardiology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya)

3. Single-nucleus Transcriptome Analysis of the Heart Reveals Disease-specific Transcriptional Signatures in Human Heart Failure

Kanna Fujita (Department of Cardiovascular Medicine, The University of Tokyo, Tokyo)

4. Withdrawn

(6) Coronary Artery Diseases (Clinical) 2

(3月30日(土) 8:40~10:10 パシフィコ横浜 会議センター, 4階「414+415」)

座長: Stephan Achenbach (University of Erlangen, Germany)

Yoshihisa Nakagawa (Department of Cardiovascular Medicine, Shiga University of Medical Science, Otsu)

Keynote Lecture :

“Coronary Atherosclerosis and Outcome - Lessons from Cardiac CT”

Stephan Achenbach (University of Erlangen, Germany)

演 者 :

1. Neutrophil to Lymphocyte Ratio and Long-term Cardiovascular Outcomes in Coronary Artery Disease Patients with Low High-sensitivity C-reactive Protein Level

Ryouta Nishio (Department of Cardiovascular Medicine, Juntendo University Shizuoka Hospital, Izunokuni)

2. Prognostic Factors of 5-Years Hemodialysis Induction in Patients with Coronary Artery Disease Underwent Percutaneous Coronary Intervention: From SHINANO 5 Year Registry

Tomoaki Mochidome (Department of Cardiovascular Medicine, Nagano Municipal Hospital, Nagano)

3. Impact of Renal Transplantation on Clinical Outcomes after Percutaneous Coronary Intervention

Natsuko Satomi (Department of Cardiology, Tokyo Women's Medical University Hospital, Tokyo)

4. Coronary Artery Z Score Cut-off Values in Acute Phase Kawasaki Disease, which Predict Coronary Artery Regression

Satoru Iwashima (Department of Pediatric Cardiology, Chutoen General Medical Center, Shizuoka)

(7) Ischemia, Inflammation, Metabolism (Basic)

(3月30日(土) 10:20~11:50 パシフィコ横浜 会議センター, 4階「414+415」)

座長: Hyo-Soo Kim (Seoul National University Hospital, Korea)

Yumiko Oishi (Department of Biochemistry and Molecular Biology, Nippon Medical School, Tokyo)

Keynote Lecture :

“CAP1 (Cylase-associated Protein), a Receptor for Resistin, Plays Key Roles in Atherosclerosis, Metabolic Syndrome, and Hypercholesterolemia: Lessons from CAP1 Knock-out Mice”

Hyo-Soo Kim (Seoul National University Hospital, Korea)

演 者 :

1. Activation of Cardiac AMPK-FGF21 Pathway during Acute Myocardial Infarction

Hiroaki Sunaga (Department of Cardiovascular Medicine, Gunma University Graduate School of Medicine, Maebashi)

2. GLP-1 Analogue Suppresses Hyperglycemia-induced Podocyte Injury via Akt Phosphorylation

Miyuki Kobara (Department of Clinical Pharmacology, Kyoto Pharmaceutical University, Kyoto)

3. Activation of TLR9 Signaling Pathway by Mitochondrial DNA Induces Myocardial Ischemia/Reperfusion Injury and Inflammatory Responses

Manabu Taneike (Department of Cardiovascular Medicine, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita)

4. Withdrawn

(8) Imaging, Structural Heart Diseases (Clinical)

(3月30日(土) 8:40~10:10 パシフィコ横浜 会議センター, 4階「416+417」)

座長: Robert J. Gropler (Washington University School of Medicine, USA)

Hiroyuki Watanabe (Department of Cardiovascular Medicine, Akita University Graduate School of Medicine, Akita)

Keynote Lecture :

“Imaging to Characterize Myocardial Tissue in Structural Heart Disease”

Robert Gropler (Washington University School of Medicine, USA)

演 者 :

1. New Appearance of J Wave after the Onset of Myocardial Infarction is Associated with a Poor Prognosis

Shuntaro Tamura (Department of Cardiovascular Medicine, Gunma University Graduate School of Medicine, Maebashi)

2. Determinants and Clinical Impact of Exercise-Induced Mitral Regurgitation Assessed by Hand-Grip Three-Dimensional Transesophageal Echocardiography

Yu Harada (Department of Cardiology, Hiroshima University School of Medicine, Hiroshima)

3. Prognostic Value of Feature Tracking Cardiac Magnetic Resonance Imaging in Patients with Acute Myocardial Infarction

Akinori Sugano (Cardiovascular Division, Tsuchiura Kyodo Hospital, Tsuchiura)

4. Second Transcatheter Mitral Valve Repair Using MitraClip for Significant Recurrent or Residual Mitral Regurgitation

Atsushi Sugiura (International Center for Cardiovascular Interventions, University of Bonn, Germany)

(9) Vascular Diseases, Atherosclerosis, Hypertension (Basic)

(3月30日(土) 10:20~11:50 パシフィコ横浜 会議センター, 4階「416+417」)

座長: Jun-ichi Abe (University of Texas MD Anderson Cancer Center, USA)

Kouichi Tamura (Department of Medical Science and Cardiorenal Medicine, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama)

Keynote Lecture :

“Disturbed Flow Instigates Endothelial Senescence-associated Secretory Phenotype (SASP) and Atherogenesis by Inducing Phosphorylation of Telomeric Repeat Binding Factor 2 (TRF2)-Interacting Protein (TERF2IP)”

Jun-ichi Abe (University of Texas MD Anderson Cancer Center, USA)

演 者 :

1. CTRP1 is a Novel Adipokine Promoting Endothelial Dysfunction and the Development of Atherosclerosis

Xiao Qun Wang (Ruijin Hospital, China)

2. Senescence-associated Glycoprotein (SAGP) Inhibits Age-related Endothelial Dysfunction by the Regulating Mitophagy in Vascular Diseases

Masayoshi Suda (Department of Cardiovascular Biology and Medicine Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata)

3. Maternal High-fat-diet Promotes the Expansion of Abdominal Aortic Aneurysm in Adult Offspring by Skewing of Macrophage Differentiation toward Osteoclast-like Macrophages
Makoto Saburi (Department of Cardiovascular Medicine, Kyoto Prefectural University of Medicine, Kyoto)
4. Single Cysteine Redox in PKG1 α ; Controls Salt Sensitivity Through Sympathetic Nervous System
Taishi Nakamura (Department of Medical Informatics Science and Administration Planning, Kumamoto University Hospital, Kumamoto)

(10) Arrhythmias (Clinical) 3

(3月30日(土) 14:10~15:40 パシフィコ横浜 会議センター, 4階「416+417」)

座長: Hiroshi Nakagawa (Heart Rhythm Institute, University of Oklahoma Health Sciences Center, USA)

Kaoru Okishige (Japan Red Cross Yokohama City Bay Hospital, Yokohama)

Keynote Lecture :

“An Expandable Lattice Electrode Ablation Catheter Rapidly Produces Wide and Shallow Radiofrequency Lesions in Canine Beating Hearts”

Hiroshi Nakagawa (Heart Rhythm Institute, University of Oklahoma Health Sciences Center, USA)

演 者 :

1. The Effectiveness of Antitachycardia Pacing in Patients with Electrical Storm: the NIPPON STORM STUDY
Hiroshi Hayashi (Department of Cardiology, Nippon Medical School, Tokyo)
2. Electrophysiological Features of Septal Ventricular Tachycardia in Patients with Remote Myocardial Infarction
Yasutoshi Shinoda (Department of Cardiology, Tsukuba University Hospital, Tsukuba)
3. Efficacy of Implantable Cardioverter Defibrillator in Patients with Non-ischemic Heart Failure: A subanalysis of the Nippon Storm Study
Shingo Sasaki (Department of Cardiology and Nephrology, Hirosaki University Graduate School of Medicine, Hirosaki)
4. Steep Negative Deflection in His-bundle Electrogram as a Marker of Excellent His-bundle Pacing Threshold during Short-term after Implant
Toshiaki Satoh (Division of Advanced Arrhythmia Management, Kyorin University School of Medicine, Mitaka)

(11) Arrhythmias, Thromboembolism (Basic)

(3月30日(土) 16:50~18:20 パシフィコ横浜 会議センター, 4階「416+417」)

座長: Barbara Casadei (University of Oxford, UK)

Tetsushi Furukawa (Department of Bio-informational Pharmacology, Medical Research Institute Tokyo Medical and Dental University, Tokyo)

Keynote Lecture :

“Frontiers in Atrial Fibrillation”

Barbara Casadei (University of Oxford, UK)

演 者 :

1. Rare Methylated Cell-free DNA Released from Cardiomyocytes Contributes to Systemic Inflammatory Response Accompanied with Atrial Fibrillation
Masahiro Yamazoe (Department of Bio-informational Pharmacology, Medical Research Institute, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo)

2. Biophysics of Lesion apoptosis and Time-course Lesion Maturation in Scanned Proton Beam, Catheter-free Ablation in the Porcine Heart
Atsushi Suzuki (Division of Cardiology, Osaka Saiseikai Nakatsu Hospital, Osaka)
3. Novel Deep Venous Thrombosis Model Enabled Visualization of Thrombus Formation and Organization Process in vivo
Mitsumasa Okano (Division of Cardiovascular Medicine, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe)
4. The Factor Xa Inhibitor, Edoxaban, Prevents Cardiac Remodeling in Rats with Myocardial Infarction
Takeshi Soeki (Department of Cardiovascular Medicine, Tokushima University Graduate School of Biomedical Sciences, Tokushima)

(12) Thromboembolism, Anti-thrombotic Therapy (Clinical) 1

(3月31日(日) 8:30~10:00 パシフィコ横浜 会議センター, 4階「416+417」)

座長: Christopher Levi (Sydney Partnership for Health Education Research & Enterprise, Australia)

Shinya Goto (Department of Cardiology, Tokai University School of Medicine, Isehara)

Keynote Lecture: Christopher Levi (Sydney Partnership for Health Education Research & Enterprise, Australia)

演 者:

1. Relationship between Quality of Control with Anticoagulation Therapy and Clinical Outcomes in Venous Thromboembolism: From the COMMAND VTE Registry
Seiichi Hiramori (Department of Cardiology, Kokura Memorial Hospital, Kitakyushu)
2. The Clinical Characteristics and Outcomes of Venous Thromboembolism in Patients with Renal Dysfunction: From the COMMAND VTE Registry
Yoshiaki Tsuyuki (Division of Cardiology, Shimada Municipal Hospital, Shimada)
3. Outcomes Associated with Under-Dosing of Rivaroxaban for Management of Non-Valvular Atrial Fibrillation in Real-World Clinical Settings from the XAPASS
Takanori Ikeda (Department of Cardiovascular Medicine, Toho University Faculty of Medicine, Tokyo)
4. Clinical Outcomes According to Dose Reduction Criteria of Apixaban in Japanese Elderly Patients with Atrial Fibrillation: J-ELD AF Registry Subanalysis
Masaharu Akao (Department of Cardiology, National Hospital Organization Kyoto Medical Center, Kyoto)

(13) Prevention, Diabetes Mellitus, Hypertension (Clinical)

(3月31日(日) 10:10~11:40 パシフィコ横浜 会議センター, 4階「416+417」)

座長: Laxmi Mehta (The Ohio State University, USA)

Toshihiko Ishimitsu (Department of Cardiology and Nephrology, Dokkyo Medical University, Mibu)

Keynote Lecture: Laxmi Mehta (The Ohio State University Medical Center, USA)

演 者:

1. Semaglutide Consistently Reduces Cardiovascular Risk in Patients with T2D Regardless of Baseline Cardiovascular Risk Level: Post Hoc Analyses of SUSTAIN
Kosei Eguchi (Novo Nordisk Pharma Ltd., Chiyodaku)

2. Stroke Risk of the Elderly Nocturnal Hypertension Defined Using Home Blood Pressure Monitoring in Japanese Nationwide General Practice Population
Takeshi Fujiwara (Division of Cardiovascular Medicine, Department of Medicine, Jichi Medical University School of Medicine, Shimotsuke)
3. The Relationship between Spontaneous Ruptured Aortic Plaques/Injuries and Cardiovascular Risk Factors
Sei Komatsu (Cardiovascular Center, Osaka Gyoumeikan Hospital, Osaka)
4. Bariatric Surgery is Associated with Lower Risk of Acute Care Use for Cardiovascular Disease in Obese Adults
Yuichi J. Shimada (Columbia University Medical Center, USA)

(14) Coronary Artery Diseases (Clinical) 3

(3月31日(日) 15:10~16:40 パシフィコ横浜 会議センター, 4階「414+415」)

座長: Ik-Kyung Jang (Massachusetts General Hospital, USA)

Tetsuya Amano (Department of Cardiology Aichi Medical University, Nagakute)

Keynote Lecture :

“Cardiac OCT: 20 years - From Bench to Plaque Erosion”

Ik-Kyung Jang (Massachusetts General Hospital, USA)

演 者 :

1. Guideline Adherence and Long-term Clinical Outcomes in Patients with Acute Myocardial Infarction: J-MINUET Substudy
Hideki Wada (Department of Cardiovascular Medicine, Juntendo University Shizuoka Hospital, Izuonokuni)
2. Primary Percutaneous Coronary Intervention and Clinical Outcome in Elderly Patients with Acute Myocardial Infarction -From JROAD-DPC Registry-
Shiro Uemura (Cardiovascular Medicine, Kawasaki Medical School, Kurashiki)
3. Comparison of 5-year Outcomes after CABG and PCI in Very Old Patients with Severe Coronary Artery Disease
Hiroyuki Hara (Japan Red Cross Wakayama Medical Center, Wakayama)
4. Nocturnal Hypoxemic Burden in Patients with Vasospastic Angina
Yusuke Nakagawa (Department of Cardiology, Kawanishi Hospital, Kawanishi)

(15) Aortic Diseases, Resuscitation (Clinical)

(3月31日(日) 13:30~15:00 パシフィコ横浜 会議センター, 4階「416+417」)

座長: Chi Young Shim (Severance Cardiovascular Hospital, Yonsei University College of Medicine, Korea)

Taishiro Chikamori (Department of Cardiology, Tokyo Medical University, Tokyo)

Keynote Lecture : Chi Young Shim (Severance Cardiovascular Hospital, Yonsei University College of Medicine, Korea)

演 者 :

1. In-hospital Outcomes of Surgical Versus Endovascular Repair for Ruptured Abdominal Aortic Aneurysm
Tetsuo Yamaguchi (Department of Cardiology, Japanese Red Cross Musashino Hospital, Tokyo)

2. The Impact of Hypertension on the Aortic Artery Disease-related Mortality: 3.8 Years Nationwide Community-Based Prospective Cohort Study
Yoichiro Otaki (Department of Cardiology, Pulmonology, and Nephrology, Yamagata University School of Medicine, Yamagata)
3. Construction and Validation of a New Termination-of-Resuscitation Rule for Out-of-Hospital Cardiac Arrest
Katsutaka Hashiba (Department of Cardiology, Saiseikai Yokohamashi Nanbu Hospital, Yokohama)
4. The Importance of Time to Extracorporeal Cardiopulmonary Resuscitation in Patients with Out-of-Hospital Cardiac Arrest due to Acute Coronary Syndrome
Shoji Kawakami (Department of Cardiology, Aso Iizuka Hospital, Fukuoka)

(16) Thromboembolism, Anti-thrombotic Therapy (Clinical) 2

(3月31日(日) 15:10~16:40 パシフィコ横浜 会議センター, 4階「416+417」)

座長: Fausto J. Pinto (Faculty of Medicine, Lisbon University, Portugal)

Teruo Inoue (Department of Cardiovascular Medicine, Dokkyo Medical University, Mibu)

Keynote Lecture: Fausto J. Pinto (Faculty of Medicine, Lisbon University, Portugal)

演 者:

1. Influence of Baseline Anemia on Long-term Clinical Outcomes in Patients with Venous Thromboembolism: From the COMMAND VTE Registry
Yugo Yamashita (Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto)
2. Risk Factors for Recurrence in Patients with First Unprovoked Venous Thromboembolism: From the COMMAND VTE Registry
Hidewo Amano (Department of Cardiology, Kurashiki Central Hospital, Kurashiki)
3. Risk Factors for Post-thrombotic Syndrome in Patients with Deep Vein Thrombosis: From the COMMAND VTE Registry
Yuji Nishimoto (Department of Cardiology, Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center, Amagasaki)
4. Impact of Post-Discharge Bleeding on Long-Term Mortality in Percutaneous Coronary Intervention Patients Taking an Oral Anticoagulant
Ruka Yoshida (Department of Cardiology, Nagoya University Hospital, Nagoya)

22. Late Breaking Clinical Trials

(1) Heart Failure

〈英語〉

(3月29日(金) 9:40~11:10 アネックスホール, 「F201+F202」)

座長: Su Ping Carolyn Lam (National Heart Centre Singapore, Singapore)

Masahiko Kurabayashi (Department of Cardiovascular Medicine, Gunma University Graduate School of Medicine, Maebashi)

演 者:

1. Efficacy and Safety of Ivabradine in Japanese Patients with Chronic Heart Failure: J-SHIFT study
Hiroyuki Tsutsui (Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka)
2. Efficacy and Safety of Sacubitril/valsartan in Japanese Patients with Chronic Heart Failure and Reduced Ejection Fraction: PARALLEL-HF Study
Hiroyuki Tsutsui (Department of Cardiovascular Medicine, Faculty of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka)

3. Efficacy of Tafamidis in Transthyretin Amyloid Cardiomyopathy: Results from the ATTR-ACT Trial
Yasuhiro Izumiya (Department of Cardiovascular Medicine, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University, Kumamoto)
4. Effect of Luseogliflozin and Voglibose on Heart Failure with Preserved Ejection Fraction in Diabetic Patients: A Multicenter Randomized-controlled Trial
Kentaro Ejiri (Department of Cardiovascular Medicine, Okayama University, Okayama)
5. Effects of Canagliflozin on Cardiovascular Biomarkers in Patients with Type 2 Diabetes and Chronic Heart Failure (The CANDLE Trial)
Atsushi Tanaka (Department of Cardiovascular Medicine, Saga University, Saga)
6. Pharmacokinetics, Pharmacodynamics and Efficacy of OPC-61815, Prodrug of Tolvaptan for Intravenous Administration, in Patients with Congestive Heart Failure
Naoki Sato (Cardiology and Intensive Care Unit, Nippon Medical School Musashi-Kosugi Hospital, Kawasaki)

(2) Arrhythmias/Lifestyle Diseases

〈英語〉

(3月30日(土) 10:20~11:50 アネックスホール, 2階「F201+F202」)

座長: Robert P. Giugliano (Brigham and Women's Hospital, USA)

Hirofumi Tomita (Department of Cardiology, Hirosaki University Graduate School of Medicine, Hirosaki)

演 者:

1. Effects of Bisoprolol Transdermal Patch for Perioperative Myocardial Injury in Patients Undergoing Non-cardiac Surgery (MAMACARI study): Multi-center Randomized Controlled Trial
Hironobu Toda (Department of Cardiovascular Medicine, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama)
2. Effects of Febuxostat on Carotid Intima-Media Thickness in Asymptomatic Hyperuricemia: A Multicenter Randomized Clinical Trial (PRIZE)
Atsushi Tanaka (Department of Cardiovascular Medicine, Saga)
3. Intravenous Landiolol for Hemodynamically Unstable Ventricular Tachycardia and Ventricular Fibrillation: Outcome of J-Land Study II
Tsuayoshi Shiga (Department of Cardiology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo)
4. Final 5-Year Report of the OSLER Open-Label Extension Studies of Evolocumab in the Japanese Patient Population
Atsushi Hirayama (Division of Cardiology, Department of Medicine, Nihon University School of Medicine, Tokyo)
5. A Prospective KYU-RABLE Study: Efficacy and Safety of Uninterrupted Periprocedural Edoxaban in Patients Undergoing Catheter Ablation for Atrial Fibrillation
Naohiko Takahashi (Department of Cardiology and Clinical Examination, Faculty of Medicine, Oita University, Oita)
6. The Effect of Esaxerenone on Nocturnal Blood Pressure in Essential Hypertensive Patients (Post-hoc Analysis of ESAX-HTN Study)
Kazuomi Kario (Division of Cardiovascular Medicine, Jichi Medical University School of Medicine, Shimotsuke)

(3) IHD/Aortic Diseases

〈英語〉

(3月31日(日) 8:30~10:00 アネックスホール, 2階「F205+F206」)

座長: Ik-Kyung Jang(Massachusetts General Hospital, USA)

Toshiro Shinke(Division of Cardiovascular Medicine, Showa University School of Medicine, Tokyo)

演 者:

1. Japan Peripheral Artery Disease: Endovascular Revascularization Prospective Multicenter Observational Study (JPASSION study)
Osami Kawarada(Department of Cardiovascular Medicine, Suita)
2. Prognosis Value of Monocyte-to-Lymphocyte Ratio combined with Platelet-to-Lymphocyte Ratio in Patients with ST-Elevation Myocardial Infarction Undergoing Primary Percutaneous Coronary Intervention
Xiaoyan Wang(Fudan University, Zhongshan Hospital, China)
3. Last 10-Year Temporary Trends in In-hospital Mortality and Emergent PCI Rate of AMI from Tokyo CCU Network Registry
Hideki Miyachi(Tokyo CCU Network Scientific Committee, Tokyo)
4. One-year Follow-up Results of Prasugrel for Japanese Patients with Ischemic Heart Disease in Long-term Clinical Practice (PRASFIT-Practice II)
Masato Nakamura (Division of Cardiovascular Medicine, Toho University Ohashi Medical Center, Tokyo)
5. Two-year Follow-up of Spontaneous Ruptured Aortic Plaques/injuries: Evaluation by Non-Obstructive General Angioscopy
Sei Komatsu(Cardiovascular Center, Osaka Gyoumeikan Hospital, Osaka)
6. Current Status of Managements and Outcomes of Acute Aortic Dissection in Japan: Analyses of the Nationwide JROAD-DPC Data
Tetsuo Yamaguchi (Department of Cardiology, Japanese Red Cross Musashino Hospital, Tokyo)

(4) IHD/Valvular Heart Diseases/Pulmonary Artery Diseases

〈日本語〉

(3月31日(日) 10:10~11:40 アネックスホール, 2階「F205+F206」)

座長: 中村 文隆(帝京大学ちば総合医療センター 第三内科)

伊藤 正明(三重大学 循環器・腎臓内科学)

演 者:

1. Antiplatelet Therapy and Clinical Outcomes of Japanese Patients with Acute Myocardial Infarction: Japan Acute Myocardial Infarction Registry (JAMIR)
安田 聡(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
2. Long-term Prognosis and Prognostic Factors among All Subtypes of Pulmonary Hypertension in Japan
神津 克也(地域医療機能推進機構仙台病院 循環器科)
3. Real-world Data of Riociguat in Patients with Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension (CTEPH) in Japan
波多野 将(東京大学 重症心不全治療開発講座)
4. Clinical Outcome from Optimized Catheter Valvular Intervention Registry
高木 健督(大垣市民病院 循環器科)
5. Transcatheter Aortic Valve Implantation Versus Conservative Management in Patients with Severe Aortic Stenosis: A Propensity-score Matched Historical Comparison
竹治 泰明(京都大学 循環器内科)
6. Transcatheter Aortic Valve Implantation Versus Surgical Aortic Valve Replacement in Patients with Severe Aortic Stenosis: A Propensity-score Matched Historical Comparison
竹治 泰明(京都大学 循環器内科)

24. 第47回循環器教育セッション 教育セッションⅠ

〈日本語〉

(1) Mitra Clip

(3月29日(金) 8:00~9:00 パシフィコ横浜 国立大ホール)

座長：荒井 裕国(東京医科歯科大学 心臓血管外科)

齋藤 滋(湘南鎌倉総合病院 循環器内科)

演 者：

1. 心不全への新たなアプローチ：カテーテル僧帽弁修復術 MitraClip の役割
天木 誠(国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門心不全科)
2. Mitra Clip～実際の手技, 治療ステップ, エコーガイドの重要性～
大野 洋平(東海大学 内科学系循環器内科学)

(2) 先天性心疾患のカテーテル治療

(3月29日(金) 9:00~10:00 パシフィコ横浜 国立大ホール)

座長：森野 禎浩(岩手医科大学 内科学講座循環器内科分野)

細川 忍(徳島赤十字病院 循環器内科)

演 者：

1. 経皮的心房中隔欠損閉鎖術
原 英彦(東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科)
2. 成人先天性心疾患 動脈管開存症に対する治療
白井 伸一(小倉記念病院 循環器内科)

教育セッションⅡ

(1) Onco-Cardiology? 知っておくべき癌患者の循環器診療

(3月30日(土) 8:10~9:10 パシフィコ横浜 国立大ホール)

座長：前村 浩二(長崎大学 循環器内科学)

竹石 恭知(福島県立医科大学 循環器内科学講座)

演 者：

1. がん患者における合併心疾患の評価と管理
藤田 雅史(大阪国際がんセンター 腫瘍循環器科)
2. 赤澤 宏(東京大学 循環器内科学)
3. がん患者における静脈血栓塞栓症
山田 典一(桑名市総合医療センター 循環器内科)

(2) 心不全診療 Up to Date(高齢者医療を含む)

(3月30日(土) 9:10~10:10 パシフィコ横浜 国立大ホール)

座長：筒井 裕之(九州大学 循環器内科学)

増山 理(兵庫医科大学 内科学循環器内科)

演 者：

1. 急性・慢性心不全診療ガイドライン どこが新しくなったのか?
絹川弘一郎(富山大学 第二内科)
2. 超高齢社会における循環器診療
木原 康樹(広島大学 循環器内科学)
3. 弓野 大(ゆみのハートクリニック)

教育セッションⅢ

(1) 急性心筋梗塞の治療から二次予防まで

(3月31日(日) 9:40~10:40 パシフィコ横浜 国立大ホール)

座長：尾崎 行男(藤田医科大学 循環器内科)

伊莉 裕二(東海大学 循環器内科学)

演 者：

1. 急性心筋梗塞の治療：CVIT Expert Consensus Documents on Primary PCI
尾崎 行男(藤田医科大学 循環器内科)
2. 心筋梗塞の治療：薬物
伊藤 浩(岡山大学 機能制御学(循環器内科))
3. 心筋梗塞再発予防
宮内 克己(順天堂大学 循環器内科学講座)

(2) 不整脈の管理(遠隔モニタリングを含む)

- (3月31日(日) 10:40~11:40 パシフィコ横浜 国立大ホール)
座長：志賀 剛(東京女子医科大学 循環器内科)
渡邊 英一(藤田医科大学 循環器内科)

演 者：

1. 抗不整脈薬の使い方
志賀 剛(東京女子医科大学 循環器内科)
2. デバイス治療の適応：最新事情
草野 研吾(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
3. デバイス植え込み患者の外来管理から遠隔モニタリングまで
真中 哲之(浅草ハートクリニック)

25. 日本心臓財団佐藤賞記念講演(学術集会運営委員会主催)

〈英語〉

(3月30日(土) 16:50~17:50 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「304」)

座長：Issei Komuro (Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo)

演 者：

Elucidation of the Molecular Mechanism, Establishment of Diagnostic Method, and Drug Development by Omics Analysis of Intractable Cardiovascular Diseases
Yoshihiro Asano (Department of Cardiovascular Medicine, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita)

26. 審査講演会

(1) 国際留学生 YIA 最終講演

〈英語〉

(3月29日(金) 13:50~15:50 パシフィコ横浜 会議センター, 4階「411+412」)

座長：Ichiro Shiojima (Cardiovascular Division, Department of Medicine II, Kansai Medical University, Hirakata)

演 者：

1. Cocoa Bean Polyphenols Inhibit Cardiac Hypertrophy and Dysfunction in Pressure Overload-Induced Heart Failure Model
Nurmila Sari (University of Shizuoka, Shizuoka)
2. Lymphangiogenesis Contributes the Ischemia Induced Angiogenesis in HLI via Clearance of Inflammation
Zhongyue Pu (Department of Cardiology Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya)
3. Liraglutide Treatment Improves the Coronary Microcirculation in Zucker Obese Rats on High-salt Diet
Vijayakumar Sukumaran (National Cerebral and Cardiovascular Center Research Institute, Osaka)
4. Overexpression of Cytotoxic T-lymphocyte-associated Antigen-4 (CTLA-4) Protects Against Abdominal Aortic Aneurysm Formation in Mice
Hilman Zulkifli Amin (Division of Cardiovascular Medicine, Department of Internal Medicine, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe)

5. Uric Acid-Induced Increases of Protein and Channel Activity of Atrial Kv1.5 via Akt-HSF1-Hsp70 Axis
Fikri Taufiq (Division of Regenerative Medicine and Therapeutics, Department of Genetic Medicine and Regenerative Therapeutics, Institute of Regenerative Medicine and Biofunction, Tottori University Graduate School of Medical Science, Yonago)

- (2) Young Investigator's Award Basic Research 部門審査講演 (英語)
(3月29日(金) 9:10~11:10 パシフィコ横浜 会議センター, 4階「411+412」)
座長: Yoshihiko Saito (Department of Cardiovascular Medicine, Nara Medical University, Kashihara)

演 者:

1. Identification of Celastramycin as a Novel Therapeutic Agent for Pulmonary Arterial Hypertension-High-throughput Screening of 5,562 Compounds-
Ryo Kurosawa (Department of Cardiology, Tohoku University School of Medicine, Sendai)
2. Amphiregulin Derived from Cardiac Macrophages Prevents Lethal Arrhythmias
Junichi Sugita (Department of Cardiovascular Medicine, The University of Tokyo, Tokyo)
3. Mef2c Directly and Indirectly Amplifies Cardiogenic Program Cooperating with p300 in Direct Cardiac Reprogramming
Hidenori Kojima (Department of Cardiology, Keio University School of Medicine, Tokyo)
4. In Vivo Direct Reprogramming of Fibroblasts into Cardiomyocytes Improves Cardiac Function in Chronic Heart Failure
Hidenori Tani (Department of Cardiology, Keio University School of Medicine, Tokyo)

- (3) Young Investigator's Award Clinical Research 部門審査講演 (英語)
(3月29日(金) 16:00~18:00 パシフィコ横浜 会議センター, 4階「411+412」)
座長: Takeshi Kimura (Department of Cardiovascular Medicine, Kyoto University Graduate School of Medicine)

演 者:

1. Comprehensive Evaluation of Coronary Functional Abnormalities in Patients with Chest Pain and Unobstructive Coronary Artery Disease
Akira Suda (Department of Cardiovascular Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai)
2. Artificial Intelligence to Predict Needs for Urgent Revascularization from 12-Leads Electrocardiography in Emergency Patients
Shinichi Goto (Department of Cardiology, Keio University School of Medicine, Tokyo)
3. Optimal Sampling in Derivation Studies Determines Performance of Heart Failure Prognostic Models
Naotsugu Iwakami (Department of Research Promotion and Management, Suita)
4. N-terminal Pro-B-type Natriuretic Peptide and Risk of Dementia in a General Japanese Elderly Population: the Hisayama Study
Takuya Nagata (Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka)

(4) 第9回コメディカル賞審査講演会1 〈日本語〉
看護・薬剤・リハ部門

(3月29日(金) 13:50~15:20 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「304」)

座長: 前田 知子(榊原記念クリニック 検査課)

網谷 英介(東京大学 循環器内科)

演 者:

1. うっ血性心不全急性増悪における嚥下障害合併は退院時アウトカムを悪化させる
横田 純一(東北大学 障害科学専攻 内部障害学分野)
2. 心臓リハビリテーションによる心不全の運動耐容能改善と心外膜脂肪減少の関連性
岩崎 孝俊(みなみ野循環器病院 リハビリテーション科)
3. フレイル心不全患者における食欲低下には身体活動セルフエフィカシーと抑うつが関連する: 多施設共同研究(FLAGSHIP)
足立 拓史(名古屋大学 リハビリテーション療法学専攻)
4. LVAD 装着周術期における重症心不全患者の骨格筋機能回復経過に関する検討
小林 聖典(名古屋大学 リハビリテーション部)
5. 経カテーテル的大動脈弁置換術後の再入院寄与因子に関する検討
内藤 喜隆(心臓病センター榊原病院 リハビリテーション室)
6. 冠動脈疾患患者のタイプDパーソナリティに関する研究—抑うつに対するコーピング方略の特性—
山口 大輔(信州大学 保健学科看護学専攻)

(5) 第9回コメディカル賞審査講演会2 〈日本語〉
検査・治療部門

(3月29日(金) 16:30~18:00 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「304」)

座長: 岩永 史朗(埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科)

陣崎 雅弘(慶應義塾大学 放射線科学)

演 者:

1. カーフスリーブは下腿浮腫を軽減するか: 表在エコー検査による検討
鳥居 裕太(徳島大学 超音波センター)
2. 心不全患者を対象とした急性期離床プログラムの開発と運用
角谷 尚哉(北海道大学 循環病態内科学)
3. カテコラミンの持続投与が必要な重症心不全患者の外泊支援における薬剤師の介入
秋山 美紀(JA 長野厚生連 佐久総合病院佐久医療センター 薬剤部)
4. 心房細動による植込み型除細動器の不適切作動は予測できるのか?
小野 仁(千葉大学 臨床工学センター)
5. 肥大型心筋症における加算平均心電図は心不全イベントの予測に有用である
富永宗一竜(高知大学 検査部)
6. 循環器領域における多施設線量調査
林 利廣(東京大学 放射線部)

27. 委員会セッション

(1) ガイドライン委員会 〈日本語〉
ガイドラインに学ぶ1

2017-2018年度活動ガイドライン作成班報告

(3月29日(金) 8:00~9:30 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「302」)

座長: 木村 剛(京都大学 循環器内科)

演 者:

1. 急性冠症候群ガイドライン(2018年改訂版)
木村 一雄(横浜市立大学市民総合医療センター 心臓血管センター)
2. 慢性冠動脈疾患診断ガイドライン(2018年改訂版)
山岸 正和(大阪人間科学大学)
玉木 長良(京都府立医科大学 放射線医学教室)

3. 冠動脈血行再建ガイドライン(2018年改訂版)

日本循環器学会／日本心臓血管外科学会 合同ガイドライン

中村 正人(東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科)

荒井 裕国(東京医科歯科大学 心臓血管外科)

ガイドラインに学ぶ2

2017-2018年度活動ガイドライン作成班報告

(3月29日(金) 13:50~14:50 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「302」)

座長: 清水 渉(日本医科大学 循環器内科)

演 者:

1. 心筋症ガイドライン(2018年改訂版)

日本循環器学会／日本心不全学会 合同ガイドライン

北岡 裕章(高知大学 老年病・循環器内科学)

2. 不整脈非薬物治療ガイドライン(2018年改訂版)

日本循環器学会／日本不整脈心電学会 合同ガイドライン

栗田 隆志(近畿大学 心臓血管センター)

野上 昭彦(筑波大学 循環器不整脈学講座)

ガイドラインに学ぶ3

2017-2018年度活動ガイドライン作成班報告

(3月30日(土) 8:40~9:40 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「302」)

座長: 先崎 秀明(北里大学 新世紀医療開発センター)

演 者:

1. 心疾患患者の妊娠・出産の適応, 管理に関するガイドライン(2018年改訂版)

日本循環器学会／日本産科・婦人科学会 合同ガイドライン

赤木 禎治(岡山大学 循環器内科学)

池田 智明(三重大学 産婦人科)

2. 先天性並びに小児期心疾患ガイドライン(2018年改訂版)

安河内 聡(長野県立こども病院 循環器科)

ガイドライン症例セッション1

(3月29日(金) 16:30~18:00 パシフィコ横浜 サテライト会場)

1. 慢性冠動脈疾患診断ガイドライン(2018年改訂版)

2. 冠動脈血行再建ガイドライン(2018年改訂版)

3. 急性冠症候群ガイドライン(2018年改訂版)

ガイドライン症例セッション2

(3月30日(土) 9:50~10:50 パシフィコ横浜 サテライト会場)

1. 心筋症ガイドライン(2018年改訂版)

2. 不整脈非薬物治療ガイドライン(2018年改訂版)

ガイドライン症例セッション3

(3月30日(土) 13:40~14:40 パシフィコ横浜 サテライト会場)

1. 心疾患患者の妊娠・出産の適応, 管理に関するガイドライン(2018年改訂版)

2. 先天性並びに小児期心疾患ガイドライン(2018年改訂版)

(2) 集中・救急医療部会

〈日本語〉

日本循環器学会蘇生科学シンポジウム

(3月29日(金) 9:40~11:10 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「302」)

- (3) 医療安全部会 〈日本語〉
医療安全に関する講演会
(3月31日(日) 13:00~14:00 パシフィコ横浜 国立大ホール)
座長: 三浦 哲嗣(札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座)
演 者:
「医療事故調査制度」と医療安全
木村 壮介(日本医療安全調査機構 医療事故調査・支援センター)
- (4) 倫理委員会 〈日本語〉
倫理に関する講演会
(3月31日(日) 14:00~15:00 パシフィコ横浜 国立大ホール)
座長: 瀧原 圭子(大阪大学 キャンパスライフ健康支援センター)
演 者:
植田真一郎(琉球大学 臨床薬理学講座)
- (5) 禁煙推進部会 〈日本語〉
第18回禁煙推進セミナー
(3月30日(土) 10:20~11:50 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「302」)
座長: 瀧原 圭子(大阪大学 キャンパスライフ健康支援センター)
瀬尾 由広(筑波大学 医学医療系 循環器内科)
演 者:
1. 飯田 真美(岐阜県総合医療センター)
2. 国と東京都の受動喫煙防止法制化 その内容と経緯
片野田耕太(国立がん研究センター がん対策情報センター がん統計・総合解析研究部)
3. 伊東 宏(立命館大学 保健センター)
4. 新型タバコの本当のリスク
田淵 貴大(大阪国際がんセンター がん対策センター 疫学統計部)
- (6) ダイバーシティ推進委員会 〈日本語〉
女性循環器医ネットワーク: JCS-JJC
(3月30日(土) 14:10~15:40 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「311+312」)
座長: 副島 京子(杏林大学 循環器内科)
庄田 守男(東京女子医科大学 循環器内科)
基調講演:
Barbara Casadei(University of Oxford, UK)
Christine Seidman(Harvard Medical School, USA)
総合討論:
上田 明子(杏林大学 循環器内科)
大石由美子(東京医科歯科大学難治疾患研究所 先端分子医学研究部門)
谷口 達典(大阪大学 循環器内科)
水野 篤(聖路加国際病院 循環器内科)
- (7) 編集委員会 〈英語〉
Circulation Journal Award Session
(3月30日(土) 10:20~11:50 パシフィコ横浜 会議センター, 4階「411+412」)
座長: Toyoaki Murohara(Department of Cardiology, Nagoya University, Nagoya)
- (8) 渉外委員会(国際) 〈日本語+英語〉
海外留学ネットワークセミナー(留学支援助成セミナー含む)
(3月30日(土) 16:50~18:20 パシフィコ横浜 展示ホール)
座長: 阿古 潤哉(北里大学 循環器内科学)

Main Advisor : 金子 英弘(東京大学 循環器内科学)
 井手 盛子(大阪大学 循環器内科)
 野村 章洋(金沢大学 循環器内科)
 文字 昭雄(名古屋大学 循環器内科)
 Assistant : 種池 学(東京大学 循環器内科)
 桑原 政成(虎の門病院循環器センター 内科)
 市堀 泰裕(大阪大学 循環器内科学)
 山地 杏平(小倉記念病院)
 篠原 啓介(九州大学 循環器内科)
 成味 太朗(山形大学 循環器内科)
 中西 理子(東邦大学 循環器内科)
 椎名 由美(聖路加国際病院 循環器内科)
 田村 雄一(国際医療福祉大学 循環器内科)
 南 賢尚(北里大学 循環器内科)
 尾上 健児(奈良県立医科大学 循環器内科)

(9) 先天性心疾患の移行医療に関する横断的検討委員会

「先天性心疾患の成人への移行医療に関する提言」
 (3月30日(土) 17:10~17:25 パシフィコ横浜 プレス)

演 者:

三谷 義英(三重大学 周産母子センター)

(10) 学術委員会

〈日本語+英語〉

2017年度医師臨床研究助成報告会

(3月31日(日) 8:30~10:00 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「315」)
 座長: 福田 恵一(慶應義塾大学 循環器内科)

演 者:

1. 加藤 真吾(神奈川県立循環器呼吸器病センター 循環器内科)
2. 末永 祐哉(順天堂大学 心血管睡眠呼吸医学講座)
3. 田村 雄一(国際医療福祉大学)

(11) 2017年度メディカルスタッフ(医師を除く医療専門職)研究助成報告会

〈日本語+英語〉

(3月31日(日) 13:30~15:00 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「315」)
 座長: 大手 信之(名古屋市立大学 心臓・腎高血圧内科学)

演 者:

1. 河窪 正照(北海道大学 循環病態内科学)
2. 田中 伸弥(九州大学 医用量子線科学分野)
3. 角谷 尚哉(名古屋大学 リハビリテーション部)

28. 市民公開講座

(1) 日 時: 2019年3月24日(日) 14:00~16:30 ※事前申し込み制(抽選)

会 場: はまぎんホール ヴィアマール(横浜・みなとみらい)

テーマ: 第83回日本循環器学会学術集会 市民公開講座

心臓病・血管病を予防して健康長寿

主 催: 第83回日本循環器学会学術集会, 公益財団法人日本心臓財団

後 援: 神奈川県, 公益社団法人日本医師会, 公益社団法人神奈川県医師会, 朝日新聞社

協 賛: 第一三共株式会社

プログラム:

日本心臓財団よりご挨拶: 矢崎 義雄(日本心臓財団)

開会挨拶: 小室 一成(第83回日本循環器学会学術集会 会長/東京大学 循環器内科学)

第1部 講演

司 会: 小室 一成(東京大学 循環器内科学)

- 斎藤 能彦(奈良県立医科大学 循環器内科学)
講演①「不整脈(心房細動)って、どんな病気？」
演者：清水 渉(日本医科大学 循環器内科学)
講演②「心不全を知って、うまく付き合う」
演者：筒井 裕之(九州大学 循環器内科学)
講演③「誰も教えてくれなかった心筋梗塞の新常識」
演者：伊莉 裕二(東海大学 循環器内科学)
第2部 特別講演「福祉・想いのままに～健康と幸せ～」
杉 良太郎(歌手・俳優)
第3部 事前質問への回答コーナー
閉会挨拶：小室 一成(第83回日本循環器学会学術集会 会長／東京大学 循環器内科学)

(2) 日 時：2019年3月31日(日) 13:00～15:30

会 場：横浜ワールドポーターズ イベントホールA

テーマ：第17回心肺蘇生法市民公開講座

「命の大切さを考える」

—心筋梗塞の前兆と心肺蘇生法(コールアンドプッシュ)を学ぼう—

主 催：一般社団法人 日本循環器学会 集中・救急医療部会

後 援：神奈川県、横浜市、神奈川県医師会、横浜市医師会

プログラム：

開会挨拶：佐藤 直樹(日本医科大学武蔵小杉病院)

第1部 公開講座

座 長：木村 一雄(横浜市立大学)

竹内 一郎(横浜市立大学)

基調講演「浅田次郎先生のエッセイ紹介と心筋梗塞の前兆について」

演 者：伊藤 智範(岩手医科大学)

講 演「一病息災」

演 者：浅田 次郎(作家)

対 談：浅田 次郎, 伊藤 智範(岩手医科大学), 細谷 弓子(東京大学)

第2部 心肺蘇生法講習

コースコーディネーター：菊地 研(獨協医科大学)

閉会挨拶：野々木 宏(静岡県立総合病院)

29. 心エコー図学会一日循共催心エコーハンズオン

(3月30日(土) 9:00～11:50 パシフィコ横浜 展示ホール ハーバーラウンジB)

講師：山田 博胤(徳島大学 地域循環器内科)

インストラクター：塩川 則子(聖マリアンナ医科大学 超音波センター)

渡邊 伸吾(心臓血管研究所 臨床検査室)

飯田 典子(筑波大学 検査部)

田端 千里(聖マリアンナ医科大学 超音波センター)

酒巻 文子(つくばセントラル病院診療技術部生理機能室)

(3月30日(土) 13:30～16:20 パシフィコ横浜 展示ホール ハーバーラウンジB)

講師：山田 聡(東京医科大学八王子医療センター 循環器)

インストラクター：塩川 則子(聖マリアンナ医科大学 超音波センター)

渡邊 伸吾(心臓血管研究所 臨床検査室)

飯田 典子(筑波大学 検査部)

田端 千里(聖マリアンナ医科大学 超音波センター)

酒巻 文子(つくばセントラル病院生理機能検査室)

30. Opening Ceremony

(3月29日(金) 12:40~13:40 パシフィコ横浜 国立大ホール)

31. ランチオンセミナー・コーヒープレイクセミナー・ファイアサイドセミナー

3月29日(金) 11:30~12:20

- LS-1 リードレスペースメーカーの現状と今後の展望 (日本語)
 (パシフィコ横浜 会議センター, 1階「メインホール」)
 座長: 庄田 守男(東京女子医科大学)
 演者: 副島 京子(杏林大学)
 共催: 日本メドトロニック株式会社
- LS-2 循環器疾患と慢性便秘症~患者がトイレでイベントを起こさないために~ (日本語)
 (パシフィコ横浜 会議センター, 3階「301」)
 座長: 佐田 政隆(徳島大学 循環器内科学)
 演者: 中島 淳(横浜市立大学 肝胆脾消化器病学教室)
 共催: アステラス製薬株式会社
- LS-3 脂質異常症治療の新展開~ ω 3系多価不飽和脂肪酸バランスの観点から~ (日本語)
 (パシフィコ横浜 会議センター, 3階「302」)
 座長: 室原 豊明(名古屋大学 循環器内科学)
 演者: 龍野 一郎(東邦大学医療センター佐倉病院 内科学講座(糖尿病・内分泌・代謝センター))
 共催: 武田薬品工業株式会社
- LS-4 SGLT2iにおける最新の情報提供 (日本語)
 (パシフィコ横浜 会議センター, 3階「303」)
 座長: 尾野 亘(京都大学 循環器内科)
 1. SGLT2 阻害薬の薬剤特性を考慮した糖尿病治療
 演者: 宮川 高一(多摩センタークリニックみらい)
 2. 合併症阻止を目指した糖尿病治療~SGLT2 阻害薬の腎症保護効果~
 演者: 山岸 昌一(久留米大学 糖尿病性血管合併症病態・治療学)
 共催: サノフィ株式会社
- LS-5 プレシジョンメディシン時代を見据えた高中性脂肪血症治療を考える (日本語)
 (パシフィコ横浜 会議センター, 3階「304」)
 座長: 阿古 潤哉(北里大学 循環器内科学)
 1. スタチン残余リスクとしての高中性脂肪血症に立ち向かう
 演者: 高島 浩明(愛知医科大学 内科学講座 循環器内科)
 2. 今見直される中性脂肪マネジメント ~動脈硬化予防のために~
 演者: 石橋 俊(自治医科大学 内科学講座 内分泌代謝学部門)
 共催: 興和創薬株式会社
- LS-6 尿毒症性毒素による慢性炎症と心血管イベント (日本語)
 (パシフィコ横浜 会議センター, 3階「311+312」)
 座長: 北風 政史(国立循環器研究センター)
 演者: 吉田 雅幸(東京医科歯科大学 生命倫理研究センター)
 共催: 田辺三菱製薬株式会社

- LS-7 循環器疾患患者の睡眠時無呼吸症候群治療 真の治療ターゲットはどこなのか 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 3階「313+314」)
座長: 安藤 真一(九州大学 睡眠時無呼吸センター)
1. 虚血性心疾患における睡眠時無呼吸
演者: 葛西 隆敏(順天堂大学 循環器内科・心血管睡眠呼吸医学講座)
2. 不整脈診療における SAS 診療の意義
演者: 草野 研吾(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
共催: 帝人ファーマ株式会社/帝人在宅医療株式会社/レスメド株式会社
- LS-8 循環器疾患合併糖尿病における治療戦略 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 3階「315」)
座長: 前村 浩二(長崎大学 循環器内科学)
演者: 野出 孝一(佐賀大学 内科学講座)
共催: 田辺三菱製薬株式会社/第一三共株式会社
- LS-9 抗血小板薬による心血管イベント抑制～心筋梗塞後患者に対する抗血小板療法の意義～ 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 4階「411+412」)
座長: 天野 哲也(愛知医科大学 循環器内科)
1. 心筋梗塞既往患者に残されたアンメットニーズ
演者: 中川 義久(滋賀医科大学 循環器内科)
2. ステント留置慢性心筋梗塞患者におけるチカグレロル 60mg の使用経験
演者: 佐久間一郎(カレスサッポロ 北光記念クリニック)
共催: アストラゼネカ株式会社
- LS-10 肥満を伴った2型糖尿病の病態と治療戦略 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 4階「413」)
座長: 伊藤 正明(三重大学 循環器・腎臓内科学)
演者: 戸邊 一之(富山大学 内科学講座1)
共催: 大正富山医薬品株式会社
- LS-11 入浴できる植込み型補助人工心臓: 更なる QOL の改善を目指して 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 4階「414+415」)
座長: 松宮 護郎(千葉大学 心臓血管外科)
演者: 戸田 宏一(大阪大学 心臓血管外科)
共催: センチュリーメディカル株式会社
- LS-12 心疾患を考慮した糖尿病治療 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 4階「416+417」)
座長: 三浦 哲嗣(札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座)
1. 病態を考えた指導および早期治療により得られるより良い血糖コントロールと合併症予防～腎機能への影響を踏まえて～
演者: 今井 道生(いまい内科ハートクリニック)
2. Innovation in Cardio-Diabetology—循環器診療における重要な変革期を迎えて
演者: 坂東 泰子(名古屋大学 循環器内科)
共催: MSD 株式会社
- LS-13 慢性心不全診療における画像モダリティの活用 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 4階「418」)
座長: 竹石 恭知(福島県立医科大学 循環器内科学講座)
1. 心不全診療における分子イメージングの有用性
演者: 田原 宣広(久留米大学 内科学講座 心臓・血管内科部門/久留米大学 循環器病センター)

2. 心臓交感神経イメージングを日常臨床に活かす

演者：橋本 暁佳(札幌医科大学 病院管理学 兼 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座)

共催：日本心臓核医学会／日本核医学会／富士フイルム富山化学株式会社

LS-14 脂質異常症合併 ACS 患者の治療戦略 〈日本語〉

(パシフィコ横浜 会議センター, 4階「419」)

座長：小林 欣夫(千葉大学 循環器内科学)

1. 高純度 EPA 投与の有効性を再考する

演者：石井 秀樹(名古屋大学 循環器内科)

2. 高純度 EPA 製剤の多面的作用を探る

演者：坂本 知浩(済生会熊本病院 心臓血管センター 循環器内科)

共催：持田製薬株式会社

LS-15 IMPELLA - Improving Outcomes in Patients with Acute Heart Failure/Cardiogenic Shock 〈日本語〉

(パシフィコ横浜 会議センター, 5階「501」)

座長：木村 剛(京都大学 循環器内科)

演者：Navin K. Kapur(Tufts Medical Center, USA)

共催：日本アビオメッド株式会社

LS-16 心房細動アブレーションのためのVoltage Mapping: HD Grid 電極がもたらす問い 〈日本語〉

(パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)

座長：埴田 浩(福井大学 病態制御医学講座 循環器内科学)

演者：山口 尊則(佐賀大学 循環器内科)

共催：アボットメディカルジャパン株式会社

LS-17 Triple Therapy for Patients with AF and CAD: Where do we stand in 2019? 〈日本語〉

(パシフィコ横浜 会議センター, 5階「503」)

座長：宮崎 俊一(近畿大学 循環器内科学／大阪府済生会 富田林病院)

演者：Renato D. Lopes (Division of Cardiology, Duke University Medical Center, Duke Clinical Research Institute, USA)

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社／ファイザー株式会社

LS-18 腎機能が低下した心房細動患者の抗凝固療法 〈日本語〉

(パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F201+F202」)

座長：清水 渉(日本医科大学 循環器内科学分野)

1. SAKURA AF Registry における腎機能低下例の特徴

演者：奥村 恭男(日本大学 内科学系循環器内科学分野)

2. DOAC と腎保護作用～実験的検討と臨床エビデンス～

演者：富田 泰史(弘前大学 循環器腎臓内科学講座)

共催：バイエル薬品株式会社

LS-19 WATCHMAN™左心耳閉鎖システム—心原性脳卒中の新しい選択肢— 〈日本語〉

(パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F203+F204」)

座長：齋藤 滋(湘南鎌倉総合病院 循環器科)

1. 本邦における左心耳閉鎖術を国内臨床治験の長期フォローアップから考える

演者：青沼 和隆(筑波大学 循環器内科)

2. The Credibility Revolution in NVAf Stroke Prevention

演者：Martin W. Bergmann(Cardiologicum Hamburg, Germany)

共催：ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社

- LS-20 MitraClip COAPT 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F205+F206」)
座長: 新浪 博士(東京女子医科大学)
1. COAPT Trial Outcomes
演者: JoAnn Lindenfeld(Vanderbilt University Medical Center, USA)
2. COAPT から日本の MitraClip の現状と未来を考える
演者: 松本 崇(仙台厚生病院)
共催: アボット バスキュラー ジャパン株式会社
- CBS-1 見えてきた自己拡張型 TAVI デバイスの実力 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 3階「301」)
座長: 森野 禎浩(岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野)
演者: 桃原 哲也(川崎幸病院 循環器内科/心臓病センター)
共催: 日本メドトロニック株式会社
- CBS-2 肺高血圧を合併した成人先天性心疾患に対する Treat and Repair の可能性 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 3階「302」)
座長: 渡邊 裕司(浜松医科大学)
演者: 赤木 禎治(岡山大学 循環器内科)
共催: ファイザー株式会社
- CBS-3 潜因性脳梗塞と卵円孔開存: Brain Heart Team で取り組む二次予防 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 3階「303」)
座長: 中尾 浩一(済生会熊本病院)
1. 潜因性脳梗塞と卵円孔開存
演者: 橋本洋一郎(熊本市市民病院)
2. 経皮的卵円孔開存閉鎖術~カテーテルで脳梗塞予防はどこまで可能か?~
演者: 原 英彦(東邦大学医療センター大橋病院)
共催: アボットメディカルジャパン株式会社
- CBS-4 肺動脈性肺高血圧症 up to data-最新ガイドラインから実臨床における治療戦略まで 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 3階「304」)
座長: 波多野 将(東京大学 重症心不全治療開発講座)
1. ニース会議での討議内容から紐解く肺高血圧症ガイドラインの活かし方
演者: 木岡 秀隆(大阪大学 循環器内科学)
2. 実例に基づく最新の PAH 治療戦略
演者: 足立 史郎(名古屋大学 循環器内科)
共催: グラクソ・スミスクライン株式会社
- CBS-5 The Lipid Rich Plaque (LRP) Study. A Premise to Individualized Secondary Prevention in CAD 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 3階「315」)
座長: 上田 恭敬(国立病院機構大阪医療センター 循環器内科)
久保 隆史(和歌山県立医科大学 循環器内科)
演者: Carlo Di Mario(University Hospital Careggi, Italy)
共催: ニプロ株式会社
- CBS-6 大きく変わった高安動脈炎の内科治療と血管治療 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 5階「501」)
座長: 中岡 良和(国立循環器病研究センター研究所 血管生理学部)
演者: 磯部 光章(日本心臓血圧研究振興会 榊原記念病院/東京医科歯科大学)
共催: 中外製薬株式会社

- CBS-7 左室補助人工心臓装着時の抗凝固療法マネジメント 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
 座長: 小野 稔(東京大学 心臓外科)
 演者: 齋木 佳克(東北大学 心臓血管外科)
 共催: エーザイ株式会社/積水メディカル株式会社
- CBS-8 Treatment Strategy for CTEPH 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 会議センター, 5階「503」)
 座長: 田邊 信宏(千葉大学 呼吸器内科学)
 演者: 松原 広己(国立病院機構岡山医療センター 臨床研究部)
 共催: バイエル薬品株式会社
- CBS-9 TAVI時代における SAVR の進歩 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F201+F202」)
 座長: 泉 知里(国立循環器病研究センター)
 演者: 藤田 知之(国立循環器病研究センター)
 共催: エドワーズライフサイエンス株式会社
- FS-1 The pathophysiology and treatment of Pulmonary Venocclusive Disease / Pulmonary Capillary Hemangiomatosis 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 会議センター, 3階「311+312」)
 座長: 松原 広己(国立病院機構岡山医療センター 臨床研究部)
 演者: Marc HUMBERT (Faculty of Medicine, University of South Paris, University Paris-Saclay, France)
 共催: 日本新薬株式会社
- FS-2 「オトのチカラ ヒカリのチカラ」—複雑病変に対する Imaging を活用した Optimal PCI を考える— 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 会議センター, 3階「313+314」)
 座長: 本江 純子(菊名記念病院)
 日比 潔(横浜市立大学市民総合医療センター)
 1. Expectation of High Definition Intracoronary Ultrasound
 演者: 小山 幸平(杏林大学)
 2. Coronary Artery Calcification and OFDI/OCT
 演者: 樋熊 拓未(聖マリアンナ医科大学)
 共催: テルモ株式会社
- FS-3 循環器症状を伴う末梢神経障害疾患 TTR-FAP を見逃さない 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 会議センター, 3階「303」)
 座長: 山本 一博(鳥取大学 病態情報内科学)
 演者: 安東由喜雄(熊本大学 生命科学研究部 神経内科学分野)
 共催: ファイザー株式会社
- FS-4 心不全うっ血治療について, いまわかっていること 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 会議センター, 5階「501」)
 座長: 安齊 俊久(北海道大学 循環病態内科学教室)
 演者: 絹川弘一郎(富山大学 内科学第二講座)
 共催: 大塚製薬株式会社

FS-5 心不全パンデミックが迫っている中、今一度、ATTRm アミロイドーシスについて考える！
〈日本語〉

(パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
座長：南野 哲男(香川大学)
演者：植田 光晴(熊本大学 脳神経内科)
共催：Alnylam Japan 株式会社

3月30日(土) 12:10~13:00

LS-21 不安定プラークへの挑戦～バスキュラーイメージングを極める～ 〈日本語〉

(パシフィコ横浜 会議センター, 1階「メインホール」)
座長：伊莉 裕二(東海大学 内科学系循環器内科学)
1. 脂質低下療法の意義を血管内イメージングから考察する：PCSK-9 阻害薬にかける期待
演者：大竹 寛雅(神戸大学 内科学講座 循環器内科学分野)
2. 急性冠症候群を引き起こすプラークを見極める：冠動脈疾患発症予測におけるCTの役割
演者：元山 貞子(藤田医科大学 循環器内科)
共催：アステラス製薬株式会社/アステラス・アムジェン・バイオフーマ株式会社

LS-22 プラザキサの8年を振り返る：エビデンスが示す有効性・安全性と特異的中和剤の意義
〈日本語〉

(パシフィコ横浜 会議センター, 3階「301」)
座長：山根 禎一(東京慈恵会医科大学 循環器内科)
演者：奥村 謙(済生会熊本病院 心臓血管センター 不整脈先端治療部門)
共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

LS-23 もっと減らせる心不全再入院～前方視コホート研究：SAVIOR-L 実施にあたり～ 〈日本語〉

(パシフィコ横浜 会議センター, 3階「302」)
座長：木原 康樹(広島大学 循環器内科学)
1. 再入院予防を目指した心不全管理
演者：岡山 英樹(愛媛県立中央病院 循環器病センター)
2. 地域拠点病院の挑戦：佐久病院グループの取り組み
演者：矢崎 善一(JA 長野厚生連佐久総合病院 佐久医療センター)
3. うっ血コントロールのデバイス活用
演者：今村 輝彦(シカゴ大学 循環器内科)
共催：帝人ファーマ株式会社/帝人在宅医療株式会社/レスメド株式会社

LS-24 Main Outcomes and Key Subanalyses from the ENGAGE AF-TIMI 48 Trial 〈日本語〉

(パシフィコ横浜 会議センター, 3階「303」)
座長：是恒 之宏(国立病院機構大阪医療センター)
演者：Robert P. Giugliano (TIMI Study Group, Cardiovascular Medicine, Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School Boston, USA)
共催：第一三共株式会社

LS-25 発作性上室性頻拍症および心房細動に対する冷凍アブレーション—最新冷凍バルーン(AFA Pro)を用いた肺静脈隔離術— 〈日本語〉

(パシフィコ横浜 会議センター, 3階「304」)
座長：高月 誠司(慶應義塾大学 循環器内科)
演者：沖重 薫(横浜市立みなと赤十字病院 循環器内科)
共催：日本メドトロニック株式会社

- LS-26 冠動脈プラーク安定化における脂質管理の重要性 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 会議センター, 3階「311+312」)
 座長: 石原 正治(兵庫医科大学 内科学講座 循環器内科・冠疾患科)
 演者: 辻田 賢一(熊本大学 生命科学研究部 循環器内科学)
 共催: MSD 株式会社/バイエル薬品株式会社
- LS-27 見逃していませんか? 循環器疾患におけるファブリー病とムコ多糖症 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 会議センター, 3階「313+314」)
 座長: 本郷 賢一(東京慈恵会医科大学 循環器内科)
 1. ちょっと待った! その症状! もしかしてムコ多糖症?!
 演者: 久保 亨(高知大学 老年病・循環器内科学)
 2. 心症状から診断できるファブリー病
 演者: 樋口 公嗣(鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科学)
 共催: サノフィ株式会社
- LS-28 The New Era in HF Device Therapies 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 会議センター, 3階「315」)
 座長: 絹川弘一郎(富山大学 内科学(第二)講座)
 演者: JoAnn Lindenfeld (Vanderbilt University Medical Center, Advanced Heart Failure, Cardiac Transplantation, USA)
 共催: ニプロ株式会社
- LS-29 高齢者心房細動治療における薬物療法—経皮吸収型 β 遮断薬の活用法— 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 会議センター, 4階「411+412」)
 座長: 赤尾 昌治(国立病院機構京都医療センター 循環器内科)
 演者: 山下 武志(心臓血管研究所)
 共催: トーアエイヨー株式会社
- LS-30 マルチモダリティ診療におけるエコーとMRIの役割 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 会議センター, 4階「413」)
 座長: 田邊 一明(島根大学 内科学第四)
 1. Fusion イメージングを活かす治療戦略
 演者: 高谷 陽一(岡山大学 循環器内科)
 2. 循環器領域におけるキヤノンMRIの最大活用
 演者: 桜井 美恵(仙台厚生病院 心臓血管センター 循環器内科)
 共催: キヤノンメディカルシステムズ株式会社
- LS-31 エビデンスから検討する糖尿病治療目標の達成~CARMELINA試験から考える~ 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 会議センター, 4階「414+415」)
 座長: 大屋 祐輔(琉球大学 循環器・腎臓・神経内科学(第三内科))
 演者: 東 幸仁(広島大学原爆放射線医科学研究所 ゲノム障害医学研究センター)
 共催: 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社/日本イーライリリー株式会社
- LS-32 The Quebec pulmonary hypertension research endeavor 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 会議センター, 4階「416+417」)
 座長: 下川 宏明(東北大学 循環器内科学)
 演者: Sébastien Bonnet (Pulmonary Hypertension Research Group Quebec Canada, Canada)
 共催: バイエル薬品株式会社

- LS-33 高齢者の心不全とBNP 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 4階「418」)
座長:磯部 光章(榊原記念病院)
1. 高齢者のBNP値
演者:川井 真(東京慈恵会医科大学 内科学講座循環器内科)
 2. 傘寿者(80歳以上の高齢者)の心不全を考える
演者:和泉 徹(新潟南病院)
共催:塩野義製薬株式会社/東ソー株式会社/株式会社LSIメディエンス/
アボット ジャパン株式会社/積水メディカル株式会社/富士レビオ株式会社
- LS-34 心臓突然死予知の最前線2019~JANIES(ジャニーズ)研究の最新報告~ 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 4階「419」)
座長:吉岡公一郎(東海大学 内科学系循環器内科)
演者:池田 隆徳(東邦大学 循環器内科学)
共催:フクダ電子株式会社
- LS-35 AS治療最前線 ~最新データから考えるTAVIの進化~ 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 5階「501」)
座長:澤 芳樹(大阪大学)
1. 知っておくべきTAVIの最新情報
演者:林田健太郎(慶應義塾大学)
 2. 外科医が考える これからのAS治療戦略
演者:田端 実(東京ベイ・浦安市川医療センター)
共催:エドワーズライフサイエンス株式会社
- LS-36 最近のDAPT知見から 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
座長:門田 一繁(倉敷中央病院)
上妻 謙(帝京大学)
1. De-escalation of Antiplatelet Therapy after DES Implantation
演者:木村 剛(京都大学)
 2. Vascular reaction to everolimus-eluting stent in patients with stable angina and ST Elevation Myocardial Infarction: Results from MECHANISM optical coherence tomography study
演者:新家 俊郎(昭和大学)
共催:アボット バスキュラー ジャパン株式会社
- LS-37 2型糖尿病治療に新たな歴史を刻む ~最新知見のレビューと解釈~ 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 5階「503」)
座長:小室 一成(東京大学 循環器内科学)
演者:門脇 孝(東京大学 糖尿病・生活習慣病予防講座/帝京大学溝口病院 病態栄養学講座)
共催:小野薬品工業株式会社/アストラゼネカ株式会社
- LS-38 アミロイドーシス Update 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F201+F202」)
座長:斎藤 能彦(奈良県立医科大学 循環器内科学教室)
演者:猪又 孝元(北里大学北里研究所病院 循環器内科)
共催:ファイザー株式会社

- LS-39 抗凝固療法(仮) 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F203+F204」)
 座長: 未定
1. 未定
 演者: 阿古 潤哉(北里大学 循環器内科学)
 2. The Role of Double/Triple Therapy in AF Patients with ACS
 演者: Stephan Windecker (Department of Cardiology, Bern University Hospital, Switzerland)
 共催: ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社/ファイザー株式会社
- LS-40 健康長寿を叶えるために 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F205+F206」)
 座長: 長谷部直幸(旭川医科大学 内科学講座 循環・呼吸・神経病態内科学分野)
 演者: 大石 充(鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科学)
 共催: 武田薬品工業株式会社

3月30日(土) 15:50~16:40

- CBS-10 これをおさえれば失神診療がわかる—最新のICM事情 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 会議センター, 3階「301」)
 座長: 栗田 隆志(近畿大学 心臓血管センター)
1. ICMが変えた失神診断のアプローチ
 演者: 里見 和浩(東京医科大学 循環器内科)
 2. 失神の鑑別診断とそのコツ
 演者: 安部 治彦(産業医科大学 不整脈先端治療学)
 共催: 日本メドトロニック株式会社
- CBS-11 DAPT and Bleeding Session for Young Physician 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 会議センター, 3階「302」)
 座長: 森野 禎浩(岩手医科大学)
1. Perioperative Management of Patients Treated with PCI and DAPT
 演者: 青木 二郎(三井記念病院 循環器内科)
 2. High Bleeding Risk 症例に挑む—CREDO-Kyoto Risk Scoreに基づくベストアプローチ—
 演者: 夏秋 政浩(佐賀大学)
 共催: アボット バスキュラー ジャパン株式会社
- CBS-12 急性心筋梗塞(AMI)後の心臓突然死(SCD)リスク管理における着用型自動除細動器(WCD)の有用性 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 会議センター, 3階「303」)
 座長: 尾崎 行男(藤田医科大学 循環器内科)
1. 虚血心における WCD の有用性と潜在的役割
 演者: 佐々木真吾(弘前大学 循環器腎臓内科)
 2. WCD の遠隔モニタリング機能の応用と今後の展望
 演者: 庭野 慎一(北里大学 循環器内科)
 共催: 旭化成ゾールメディカル株式会社
- CBS-13 心血管疾患のある糖尿病治療における 1,5-AG の測定意義と活用法 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 会議センター, 3階「304」)
 座長: 中村 正人(東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科)
 演者: 高山 忠輝(日本大学 内科学系 総合診療学分野)
 共催: 日本化薬株式会社

- CBS-14 虚血性心不全に対する治療戦略～ハートシートの使用と適応症例の検討～ 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 3階「311+312」)
座長: 増山 理(JCHO 星ヶ丘医療センター)
演者: 波多野 将(東京大学 重症心不全治療開発講座)
共催: テルモ株式会社
- CBS-15 DESの最新エビデンスとUltrathin Strut Orsiro DES 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 3階「315」)
座長: 上村 史朗(川崎医科大学 循環器内科学)
1. DESエビデンスの歴史から考えるUltrathin Strut Orsiroの弱点とうり
演者: 田邊 健吾(三井記念病院 心臓大動脈センター 循環器内科)
2. 小径冠動脈治療におけるUltrathin Strut Orsiro DESへの期待
演者: 山下 武廣(北海道大野記念病院 心臓血管センター)
共催: 日本ライフライン株式会社
- CBS-16 循環器疾患リスクとしての高尿酸血症: 基礎と臨床から 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 5階「501」)
座長: 井上 晃男(獨協医科大学 心臓・血管内科)
1. 高尿酸血症と循環器疾患
演者: 桑原 政成(虎の門病院 集中治療科 兼 循環器センター内科)
2. 尿酸と尿酸産生の血管疾患マーカーとしての役割
演者: 榎山 暁史(朝日生命成人病研究所 研究部)
共催: 株式会社三和化学研究所
- CBS-17 生活習慣病と低酸素シグナル 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
座長: 南野 徹(新潟大学 循環器内科学)
演者: 武田 憲彦(東京大学 循環器内科)
共催: 田辺三菱製薬株式会社
- CBS-18 超高齢化社会における心不全チーム医療(内服徹底・栄養管理・緩和ケアの観点より) 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 5階「503」)
座長: 伊藤 宏(秋田大学)
演者: 佐藤 幸人(兵庫県立尼崎総合医療センター 循環器内科)
共催: ファイザー株式会社

3月30日(土) 18:30~20:00

- FS-6 第80回冠循環談話会「冠循環分野におけるゲノム医療」 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 3階「301」)
座長: 坂田 泰史(大阪大学 循環器内科学/大阪大学国際医工情報センター)
1. ヒトゲノム情報から考える冠動脈疾患治療・予防
演者: 多田 隼人(金沢大学 救急部・循環器内科/金沢大学先進予防医学研究科 循環予防医学)
2. マルチオミックス連関による心筋症・心不全における精密医療の実現
演者: 野村征太郎(東京大学 重症心不全治療開発講座)
共催: 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

3月30日(土) 18:30~19:30

FS-7 Onco-Cardiology～循環器医の役割と実践方法～ 〈日本語〉

(パシフィコ横浜 会議センター, 3階「311+312」)

座長: 赤澤 宏(東京大学 循環器内科学)

石岡千加史(東北大学 加齢医学研究所 臨床腫瘍学分野)

1. がん治療関連性心血管障害の管理について

演者: 志賀 太郎(がん研究会有明病院 腫瘍循環器・循環器内科)

2. がん関連血栓症に対する DOAC の可能性とその限界

演者: 小坂橋紀通(群馬大学 循環器内科)

共催: バイエル薬品株式会社

FS-8 発症分子病態から迫る肺動脈性肺高血圧症治療の展望 〈日本語〉

(パシフィコ横浜 会議センター, 3階「304」)

座長: 辻野 一三(北海道大学 呼吸器内科学教室)

演者: 片岡 雅晴(慶應義塾大学 循環器内科)

共催: アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社/

日本新薬株式会社

3月31日(日) 12:00~12:50

LS-41 心不全リスクの高い糖尿病患者さんにどう向き合うか? 〈日本語〉

(パシフィコ横浜 会議センター, 1階「メインホール」)

座長: 伊藤 浩(岡山大学 循環器内科学)

演者: 大西 勝也(大西内科ハートクリニック)

共催: 武田薬品工業株式会社

LS-42 糖尿病患者における心血管病予防戦略 〈日本語〉

(パシフィコ横浜 会議センター, 3階「301」)

座長: 百村 伸一(自治医科大学さいたま医療センター)

演者: 室原 豊明(名古屋大学 循環器内科学)

共催: 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社/日本イーライリリー株式会社

LS-43 糖尿病患者における FFRCT による冠動脈硬化の評価～心血管イベント抑制を目指した糖尿病の治療戦略～ 〈日本語〉

(パシフィコ横浜 会議センター, 3階「302」)

座長: 筒井 裕之(九州大学 循環器内科学)

演者: 野末 剛(横浜栄共済病院 循環器内科)

共催: MSD 株式会社/アステラス製薬株式会社/寿製薬株式会社

LS-44 SPPARM α ～その概念から臨床的意義まで～ 〈日本語〉

(パシフィコ横浜 会議センター, 3階「303」)

座長: 倉林 正彦(群馬大学 内科学講座 循環器内科学)

1. 動脈硬化における血管の慢性炎症, その抑制を目指す脂質異常症治療戦略 —SPPARM α の可能性—

演者: 岩田 洋(順天堂大学 循環器内科学)

2. 冠動脈疾患リスクとしての高 TG 血症とその治療 ～SPPARM α への期待～演者: 山下 静也(りんくう総合医療センター/大阪大学 総合地域医療学寄附講座
・循環器内科学)

共催: 興和創薬株式会社

- LS-45 新時代を迎えた肺動脈性肺高血圧症治療～肺動脈性肺高血圧症は治癒可能か～ 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 3階「304」)
座長: 佐藤 徹(杏林大学 循環器内科学)
演者: 大郷 剛(国立循環器病研究センター肺高血圧先端医学研究部 心臓血管内科部門肺循環科)
共催: グラクソ・スミスクライン株式会社
- LS-46 肺動脈性肺高血圧症の最新治療戦略～セレキシパグ使用の実際～ 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 3階「311+312」)
座長: 江本 憲昭(神戸薬科大学 臨床薬学/神戸大学 循環器内科学分野)
演者: 杉村宏一郎(東北大学 循環器内科学分野)
共催: 日本新薬株式会社/
アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社
- LS-47 頻脈性不整脈に対する急性期治療戦略を考える 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 3階「313+314」)
座長: 高橋 尚彦(大分大学 循環器内科・臨床検査診断学講座)
演者: 志賀 剛(東京女子医科大学 循環器内科)
共催: 小野薬品工業株式会社
- LS-48 循環器領域におけるバイオマーカーとしての尿中 L-FABP の有用性と可能性 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 3階「315」)
座長: 山口 修(愛媛大学 循環器・呼吸器・腎高血圧内科学講座)
演者: 木村健二郎(JCHO 東京高輪病院)
共催: シミックホールディングス株式会社/積水メディカル株式会社
- LS-49 ヘパリン起因性血小板減少症(HIT)の最適な診断, 治療—実施した様々な臨床研究, 症例レジストリーの結果や, 最新のエビデンスからの考察— 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 4階「411+412」)
座長: 堀 正二(大阪国際がんセンター)
演者: 宮田 茂樹(国立循環器病研究センター 臨床検査部)
共催: 第一三共株式会社/田辺三菱製薬株式会社
- LS-50 ガイドラインの変革と High-Sensitivity Troponin ～Forth Universal Definition を踏まえて～ 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 4階「413」)
座長: 福本 義弘(久留米大学 内科学講座 心臓・血管内科部門)
演者: 石井 潤一(藤田医科大学 臨床検査科)
共催: シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
- LS-51 不整脈治療 update-guideline and clinical practice 〈日本語〉
(パシフィコ横浜 会議センター, 4階「414+415」)
座長: 野上 昭彦(筑波大学 循環器不整脈)
1. JCS ガイドライン「心房細動のカテーテルアブレーション: ガイドラインの概要と改訂のポイント」
演者: 熊谷浩一郎(福岡山王病院 ハートリズムセンター/国際医療福祉大学)
2. ガイドラインに基づいた心房細動患者に対する周術期抗凝固療法
演者: 井上 耕一(桜橋渡辺病院 心臓血管センター 循環器内科)
共催: バイエル薬品株式会社

- LS-52 循環器領域の遺伝子・免疫治療 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 会議センター, 4階「416+417」)
 座長: 塩島 一郎(関西医科大学 内科学第二講座)
 1. 血管新生遺伝子治療の現状と将来
 演者: 森下 竜一(大阪大学 臨床遺伝子治療学)
 2. 生活習慣病を標的としたワクチン開発研究
 演者: 中神 啓徳(大阪大学 健康発達医学講座)
 共催: アンジェス株式会社
- LS-53 大型血管炎の診断と治療について～新ガイドラインを踏まえて～ 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 会議センター, 4階「418」)
 座長: 松本 直也(日本大学 循環器内科)
 演者: 内田 治仁(岡山大学 CKD・CVD 地域連携包括医療学講座)
 共催: 日本メジフィジックス株式会社
- LS-54 糖尿病合併高血圧患者の降圧療法と心血管病予防 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 会議センター, 4階「419」)
 座長: 渡辺 昌文(山形大学 内科学第一講座)
 演者: 三浦伸一郎(福岡大学 心臓血管内科学講座)
 共催: 大日本住友製薬株式会社
- LS-55 ライソゾーム病と循環器疾患—診断と治療の最前線 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 会議センター, 5階「501」)
 座長: 福田 恵一(慶應義塾大学 循環器内科)
 1. Cardiovascular manifestations in the Mucopolysaccharidosis
 演者: Roberto Giugliani (Medical Genetics Service, Hospital de Clinicas de Porto Alegre, Brazil)
 2. マルチモダリティー時代におけるファブリー病の診断, 及び治療～慶応大学でのチーム医療の取り組み～
 演者: 山川 裕之(慶應義塾大学/横浜市立市民病院 循環器内科)
 共催: JCR ファーマ株式会社
- LS-56 循環器イベント回避に向けた慢性便秘症管理 — 血圧サージの抑制へ 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 会議センター, 5階「502」)
 座長: 平田 健一(神戸大学 内科学講座 循環器内科学分野)
 演者: 苅尾 七臣(自治医科大学 内科学講座循環器内科学部門)
 共催: マイラン EPD 合同会社
- LS-57 TAVI患者のフォローアップにおいて循環器内科医が知っておくべき3つのこと-耐久性, 弁血栓, TAVI術後PCI- 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 会議センター, 5階「503」)
 座長: 三角 和雄(千葉西総合病院)
 演者: 大野 洋平(東海大学 内科学系 循環器内科学)
 共催: 日本メドトロニック株式会社
- LS-58 これからの Physiology Guided PCI 〈日本語〉
 (パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F201+F202」)
 座長: 赤坂 隆史(和歌山県立医科大学)
 1. The Role of Physiology Guided PCI, Latest Trends and Guidelines
 演者: 横井 宏佳(福岡山王病院 循環器センター)

2. Real World Practice of Physiology Guided PCI - How Should We Utilize Physiology in Catheterization Laboratory -

演者：松尾 仁司(岐阜ハートセンター 循環器内科)
共催：アボット バスキュラー ジャパン株式会社

LS-59 Role of PCSK9 inhibitors after acute coronary syndromes 〈日本語〉

(パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F203+F204」)

座長：平山 篤志(大阪警察病院 循環器内科)

演者：Philippe Gabriel Steg (Université Paris Diderot, INSERM U-1148, Département de Cardiologie, Hôpital Bichat Assista Publique - Hôpitaux de Paris, France)

共催：サノフィ株式会社

LS-60 糖尿病患者における GLP-1 受動体作動薬の心血管保護の可能性 〈日本語〉

(パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F205+F206」)

座長：野出 孝一(佐賀大学 循環器内科)

演者：平野 勉(昭和大学 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科学部門)

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

32. 一般演題(口述, ベストポスター, ポスター)

33. 機器・書籍展示

開催日時：3月29日(金) 8:00~18:00

3月30日(土) 8:00~18:20

3月31日(日) 8:00~16:40

会場：パシフィコ横浜 展示ホール B+C

◆ 会員懇親会

日時：2019年3月29日(金) 19:20~21:20

場所：横浜ベイホテル東急 地下2階 クイーンズグラウンドボールルーム

参加費：3,000円

☆「2018年度日本循環器学会医師臨床研究助成」「2018年度日本循環器学会メディカルスタッフ研究助成」の授賞式も行いますので、奮ってご参加ください。

チーム医療セッション

シンポジウム

(1) 日本緩和医療学会-日本循環器学会 ジョイントシンポジウム

チームで取り組む循環器症状の緩和ケア

(3月29日(金) 8:00~9:30 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F201+F202」)

座長: 岸 拓弥(九州大学循環器病未来医療研究センター 循環器疾患リスク予測
共同研究部門)

三浦稚郁子(地域医療振興協会(JADECOM)事務局 医療事業本部 地域看護
介護部)

演 者:

1. 多職種チームで患者のニーズやゴールに向かって協働するには?—資格取得前の医療職養成における多職種連携教育の意義—
榎田めぐみ(昭和大学 保健医療学部)
2. 循環器疾患患者の終末期医療に関する意思決定について
高宮久美子(奈良県立医科大学 看護部)
3. 「心不全緩和ケアカンファレンス」における, 末期・終末期心不全患者のICD/CRTD 設定変更の検討
若林 留美(東京女子医科大学 看護部)
4. 心不全の緩和ケア実践における薬剤使用の経験と多職種の果たす役割
大石 醒悟(兵庫県立姫路循環器病センター 循環器内科)
5. 開業医(在宅医)が多職種連携チームで診る心不全緩和ケア 実情・課題・そして未来展望
土倉潤一郎(土倉内科循環器クリニック)

(2) 日本循環器看護学会-日本循環器学会 ジョイントシンポジウム

循環器疾患患者の在宅医療を考える

(3月29日(金) 16:30~18:00 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F205+F206」)

座長: 渡辺 徳(北信総合病院 循環器内科)

仲村 直子(神戸市立医療センター中央市民病院)

演 者:

1. 医療機関から在宅医療を考える 医師の立場 ~地域密着型心不全レジストリから見えてくる生活背景と地域での取り組み~
高林 健介(枚方公済病院 循環器内科)
2. 未入稿
武田 真弓(甲府共立診療所)
3. 北信州心不全地域連携パスから見えてきた在宅高齢心不全患者の課題とその生活を支える多職種協働の重要性
長谷川 悟(長谷川クリニック)
4. 未入稿
井上久美子(東神戸訪問看護ステーションあじさい)
5. 慢性心疾患患者の在宅療養における医療専門職の役割と課題
眞茅みゆき(北里大学 看護学部 看護システム学)

(3) 日本超音波検査学会-日本循環器学会 ジョイントシンポジウム

これからの心機能評価—日常心エコー検査で何を計測しどう評価するか—

(3月31日(日) 8:00~9:30 パシフィコ横浜 国立大ホール)

座長: 種村 正(心臓血管研究所付属病院)

岩永 史郎(埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科)

演 者:

1. 日常心エコー図検査で計測すべき項目
木村 紀子(獨協医科大学埼玉医療センター)

2. 断層, Mモード, ドプラ法をどう使い分けるか
小谷 敦志(近畿大学医学部 奈良病院 臨床検査部)
3. 3D 心エコー図: 計測項目とその精度
出雲 昌樹(聖マリアンナ医科大学 循環器内科/聖マリアンナ医科大学 超音波センター)
4. スペックトラッキングは日常ルーチンに必要か
上嶋 徳久(心臓血管研究所 循環器内科)
5. 左室拡張能をどう評価し, どう報告するか
石津 智子(筑波大学 医学医療系 臨床検査医学)

(4) 日本心管理療学会-日本循環器学会 ジョイントシンポジウム
重複障害を有する超高齢心疾患患者に対するリハビリテーションの工夫～難渋重症例をどのように対応するか?～

(3月31日(日) 13:30～15:00 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「304」)

座長: 渡辺 敏(聖マリアンナ医科大学)

高橋 哲也(順天堂大学保健医療学部開設準備室 特任教授/順天堂大学医学部附属順天堂医院リハビリテーション室室長補佐)

演 者:

1. 後期高齢心不全患者に対する急性期離床プログラムの開発と運用
角谷 尚哉(北海道大学 循環病態内科学)
2. 重複障害を有する大血管疾患症例における多職種連携とリハビリテーションの工夫
宮澤 僚(昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター)
3. 低侵襲治療を補完する在宅心臓リハビリテーションの可能性
緒方 光(訪問看護ステーションレシーブ)
4. 心不全患者の低栄養状態を嚥下障害から考える
横田 純一(独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター リハビリテーション科)
5. 低栄養状態にある後期高齢心不全患者に対する理学療法工夫
片野 峻敏(札幌医科大学附属病院 リハビリテーション部/札幌医科大学保健医療学部/札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座)

(5) 日本放射線技術学会-日本循環器学会 ジョイントシンポジウム
インターベンション治療における新しい画像支援技術

(3月31日(日) 15:10～16:40 パシフィコ横浜 会議センター, 3階「304」)

座長: 小林 欣夫(千葉大学 循環器内科学)

坂本 肇(山梨大学 放射線部)

演 者:

1. 医師が放射線技師に求める画像支援: PCI, SHD intervention
長沼 亨(新東京病院 心臓内科)
2. 医師が放射線技師に求める画像支援—カテーテルアブレーション—
近藤 祐介(千葉大学 不整脈先端治療学講座)
3. 心臓 MRI 検査における新たな高速撮像技術
吉田 学誉(東京警察病院 放射線科)
4. インターベンション領域における心臓超音波検査の実際と役割
堀 貴好(大垣市民病院 診療検査科)
5. CT での循環器領域における 3D 画像支援
坂倉 徳哉(名古屋ハートセンター 放射線部)

教育講演

(1) 禁煙と循環器疾患～循環器医療チームとしての取り組み～

(3月29日(金) 13:50～15:20 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F203+F204」)

座長: 海老名俊明(横浜市立大学 市民総合医療センター 臨床検査部)

眞茅みゆき(北里大学 看護学部 看護システム学)

演 者:

1. 喫煙が循環器疾患に及ぼす影響についての総論と循環器学会の取り組み
田口 功(獨協医科大学埼玉医療センター 循環器内科)
2. 加熱式タバコ健康影響
田淵 貴大(大阪国際がんセンター がん対策センター疫学統計部)
3. 禁煙支援・治療について—看護師からのアプローチ
宮松 直美(滋賀医科大学 臨床看護学講座(成人看護学))
4. 未入稿
相澤 政明(相模台病院 薬剤部)
5. 未入稿
原田 隆之(筑波大学人間系)

(2) 循環器患者に必要なフットケア

(3月29日(金) 16:30～18:00 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F203+F204」)

座長: 宮本 正章(日本医科大学付属病院循環器内科)

田中 優子(横須賀市立うわまち病院)

演 者:

1. 未入稿
辻 依子(新須磨病院 形成外科・創傷治療センター)
2. 未入稿
菊池 守(下北沢病院)
3. 急性期における重症下肢病変のチーム管理
高木 元(日本医科大学 循環器内科)
4. 血行再建が必要な重症下肢虚血患者で留意すべき点
大浦 紀彦(杏林大学附属病院形成外科)
5. 未入稿
石井 義輝(北九州市小倉第一病院 形成外科)

(3) ガイドラインに基づく心エコーの進め方・考え方

(3月30日(土) 8:40～10:10 パシフィコ横浜 会議センター, 5階「503」)

座長: 大門 雅夫(東京大学 検査部/循環器内科)

戸出 浩之(獨協医科大学埼玉医療センター 超音波センター)

演 者:

1. 心腔計測
木村 紀子(獨協医科大学埼玉医療センター)
2. 拡張能評価
木村 豊(帝京大学ちば総合医療センター 検査部)
3. 大動脈弁狭窄症に求められる心エコー評価
小板橋俊美(北里大学 循環器内科)
4. ガイドラインに基づく僧帽弁逆流症の心エコー評価
町野 智子(筑波大学医学医療系 循環器内科)
5. 右心系評価
鈴木 博英(東京大学 検査部 第五部門)

(4) 心不全緩和ケアの実際

(3月30日(土) 14:10~15:40 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F201+F202」)

座長: 木原 康樹(広島大学大学院医歯薬保健学研究科 循環器内科学)
吉田 俊子(宮城大学 看護学群)

演 者:

1. 心不全緩和ケアチームの実際

大石 醒悟(兵庫県立姫路循環器病センター 循環器内科)

2. 循環器疾患における緩和ケア

水野 篤(聖路加国際病院 循環器内科・QIセンター/聖路加国際大学 急性期看護学)

3. 心不全緩和ケアにおける在宅医の関わり

池田 真介(きずなクリニック)

4. 心不全患者のアドバンス・ケア・プランニング

木澤 義之(神戸大学 緩和支援治療科)

5. 未入稿

高田弥寿子(国立循環器病研究センター)

(5) チーム医療に役立つ急性・慢性心不全診療ガイドライン—2017年改訂版のポイント

(3月31日(日) 10:10~11:40 パシフィコ横浜 アネックスホール, 「F201+F202」)

座長: 筒井 裕之(九州大学 循環器内科学)
長谷川純一(鳥取大学/米子医療センター)

演 者:

1. 未入稿

筒井 裕之(九州大学 循環器内科学)

2. 診断

山本 一博(鳥取大学医学部病態情報内科)

3. ガイドラインに学ぶ心不全薬物治療

絹川弘一郎(富山大学 第二内科)

4. チームで対応する急性期管理

佐藤 直樹(日本医科大学武蔵小杉病院 循環器科・集中治療室)

5. チーム医療と緩和ケア

大石 醒悟(兵庫県立姫路循環器病センター 循環器内科)

プレレジストレーションのお知らせ

第83回学術集会では、参加登録、教育セッション、ランチョン・コーヒープレイク・ファイアサイドセミナーのプレレジストレーションを行います。

第83回学術集会ホームページ「プレレジストレーション」ページからご登録ください。

<http://www.congre.co.jp/jcs2019/contents/pre-regi01.html>

教育セッション、ランチョン・コーヒープレイク・ファイアサイドセミナーのみのプレレジストレーションはできません。

▶ 受付期間

参加登録 ▶ 2018年 **12月26日** [水] 正午～ 2019年 **2月28日** [木] 17:00まで

教育セッション ▶ 2018年 **12月26日** [水] 正午～ 2019年 **2月28日** [木] 17:00まで
* 参加登録時に合わせてお申し込みください(学術集会本体の参加登録が必須となります)。

**ランチョンセミナー
コーヒープレイクセミナー
ファイアサイドセミナー** ▶ 2018年 **12月26日** [水] 正午～ 2019年 **2月28日** [木] 17:00まで
* 参加登録時に合わせてお申し込みください(学術集会本体の参加登録が必須となります)。

▶ 参加登録費

参加区分	参加費 (事前)	参加費 (当日)	必要な提示物
日本循環器学会正会員	16,000円	20,000円	—
日本循環器学会準会員	5,000円	7,000円	所定の証明書
非会員	16,000円	20,000円	—
非会員(コメディカル)	5,000円	7,000円	所定の証明書
研修医(前期)	当日登録のみ	無料	所定の証明書
大学院生 (医学部を除く)		無料	学生証
学部学生 (医学部・薬学部・工学部等含む)		無料	学生証
在日留学生		5,000円	所定の証明書
海外参加者 (日本からの留学生は除く)	14,000円 (団体登録 13,500円)	15,000円	—

※ 参加区分「日本循環器学会正会員」の参加費 16,000円 (当日 20,000円)、「日本循環器学会準会員」の参加費 5,000円 (当日 7,000円) に消費税はかかりません。(不課税)

※ プログラム集の事前配布はございません。プログラムの情報は、ホームページをご確認ください。

※「日本循環器学会準会員」、コメディカルの登録

- ・日本循環器学会準会員、コメディカルの方は所定の証明書の提出が必要です。登録確認画面、もしくは下記ページよりダウンロードしてください。
<http://www.congre.co.jp/jcs2019/contents/pre-regi01.html>

※ 研修医（前期）、留学生の登録

- ・プレジストレーションは「日本循環器学会正会員・準会員」、「非会員医師および医療関係者」、のみを対象とさせていただきます。
研修医(前期)、学部学生、海外参加者、留学生は会期当日に受付を行ってください。
- ・研修医(前期)、留学生は所定の証明書の提出が必要です。
- ※証明書の提出がない場合は「非会員医師および医療関係者」当日参加費20,000円をお支払いいただきますので、予めご留意ください。
- ・証明書は下記ページよりダウンロードしてください。
<http://www.congre.co.jp/jcs2019/contents/pre-regi01.html>

※ 教育セッション

- ・参加費は 3,000 円です。教育セッションは、2019年2月28日(木) 17:00 までお申し込みが可能です。
- ・お申し込み後の返金はできませんので、登録の際はご注意ください。
- ・教育セッションの内容については [下記ページ](#) をご参照下さい。
http://www.congre.co.jp/jcs2019/contents/edu_session.html
- ※**専門医研修単位登録について、プレジストレーションを行った場合でも、必ず教育セッション会場入口「単位登録受付」での登録が必要です。**会期後の単位登録はできませんので、十分ご注意ください。

※ ランチョンセミナー、コーヒーブレイクセミナー、ファイアサイドセミナー

- ・2019年2月28日(木) 17:00 までお申し込みが可能です。
- ・プレジストレーションをされた方のランチョン・コーヒーブレイク・ファイアサイドセミナーのチケットは、ネームカードと同時に発行いたします。

※ 専門医研修単位登録

- ・専門医研修単位登録については、学術集会の会期中に、各単位登録受付にてご登録ください。
- ※**プレジストレーションを行った場合でも、必ず学術集会会場内「単位登録受付」での登録が必要です。**会期後の単位登録はできませんので、十分ご注意ください。

◆銀行振込の場合の注意事項

- プレジストレーションは入金を確認をもちまして完了となります。
プレジストレーションお手続き後 1 週間以内に指定口座に参加費をお振込みください。
- 入金確認には 1 週間程度お時間をいただいております。
振込手数料はご参加者様にてご負担いただきますようお願いいたします。
- 振込人名が参加者様と異なる名称になる場合は、プレジストレーション画面「振込人名」欄にご入力いただくか、参加登録事務局へ E-mail にてご連絡ください。
- お振込の際は、振込人名にご参加者様の氏名をご記入ください。
- 所属機関名のみでのお振込や複数名の参加費一括お振込の場合は、1. 参加者氏名 2. 振込依頼人名 3. 振込予定日 4. 金額を、参加登録事務局へ E-mail にてご連絡ください。
- 銀行振込の場合の参加登録期間は 2 月 22 日 (金) 17:00 まで、最終振込期限は 2 月 28 日 (木) までとなります。

▶ プレレジストレーション登録方法と学会当日までの流れ



学術集会HP「プレレジストレーション」にアクセス



登録画面に必要事項を入力



登録内容を確認後、オンラインにて参加費をお支払い（クレジットカード）



ご登録のE-mailアドレスに「プレレジストレーション完了メール」が到着

ご案内の登録確認画面より「登録確認書」をダウンロード・印刷、もしくは携帯端末用メールアドレスをご入力ください（バーコードが送信されます）。



(学術集会当日)

学術集会当日は、ご自身でダウンロード・ご印刷いただいた「登録確認書」をお持ちいただくか、ご自身でご入力された携帯端末メールアドレスに配信されたバーコードをご用意ください。

自動発券機（CMTM）より、ネームカード・領収書・教育セッションチケット（お申し込みの方のみ）・ランチョン・コーヒープレイク・ファイアサイドセミナーチケット（お申し込みの方のみ）が発行されます。

プレレジストレーション時の注意点

- プレレジストレーション完了メールの自動配信・その他のご連絡はすべて E-mail で行います。
必ず連絡先として使用される E-mail アドレスをご入力ください。
- E-mail アドレスにログイン ID を記載いたします。
個人情報登録完了メールにログイン ID が記載されますので、ご自身で保管してください。
- 参加登録後の取り消しは、お受けいたしかねます。お支払いいただいた参加登録費は理由の如何に関わらず返金いたしませんので、二重登録にご注意ください。
- 登録内容の修正・変更は受付期間であれば、プレレジストレーション画面上にてご自身で修正・変更が可能です。
- 国内参加者の団体登録は受付いたしません。
- 領収書は、学術集会同期中に参加証（ネームカード）と併せて発行いたします。会期終了後は領収書の発行は行いません。

◆プレレジストレーションに関するお問い合わせ先

第83回日本循環器学会学術集会 参加登録事務局

TEL: 03-5216-6956（受付時間：平日10：00～18：00まで）

FAX: 03-5216-5552

E-mail: jcs2019-reg@congre.co.jp

プレナリーセッション・シンポジウム・一般演題要項

プレナリーセッション、シンポジウム、一般演題の開催要領は原則として下記の通りです(ただし一部の日本語発表セッションを除く)。

1) プレナリーセッション：

- 招請外国人による講演(state-of-the-art)を行う。その後、招請外国人及び指定または公募通過者の計5名程度による発表。ただし一部の日本語発表セッションを除く。
- 発表者は各専門領域における各自のデータに加え、現況と将来の方向について講演(オーバービュー)する。
- 発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする。
- 総合討論は行わない。

2) シンポジウム：

- 招請外国人による講演(keynote lecture)を行う。その後、招請外国人及び指定または公募通過者の計5名程度による発表。ただし一部の日本語発表セッションを除く。
- 各自の最先端の研究について発表し、自由な討論を行う。
- 発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする。

3) 一般演題：

- 発表者は原則として、応募時に選択した日本語または英語で行う。
- 一般演題の発表形式は、以下のように分けられます。
 - ① Featured Research Sessions in English(英語発表希望者抄録のうち比較的高得点の演題から構成)
 - ② 一般演題口述発表(発表希望言語により日本語または英語セッションに分けられる)
 - ③ ポスター発表(発表希望言語により日本語または英語セッションに分けられる)

4) 特別企画：

- 真下記念講演、トピックス(*), コントロバーシー, ミートザエキスパート(*), ラウンドテーブルディスカッション, 教育セッションは日本語で行われます。
*一部セッションは英語で行われます。
- 美甘レクチャー, 特別講演は英語で行われます。

第 83 回日本循環器学会学術集会 宿泊のご案内

2019年3月29日(金)～31日(日)の3日間、パシフィコ横浜にて第83回学術集会が開催されます。全国各地よりご参加の皆様方の宿泊手配を(株)JTBで担当をさせていただくことになりました。つきましては、以下に宿泊受付の概要についてご案内を致します。何卒、ご利用賜りますようお願い申し上げます。

1. お申込み方法

下記 URL(学術集会ホームページのトップページ[「宿泊案内」](#)にリンクが貼られています)よりお申込み下さい。

<https://amarys-jtb.jp/jcs2019/>

お支払い方法については、①クレジットカード(オンライン決済)②コンビニエンスストア③インターネットバンク(ペイジー)④銀行振込

いずれかの選択が可能です。

- ・ご利用可能なクレジットカード会社: VISA / MasterCard® / JCB / AMEX / Dinners Club
 - ・コンビニエンスストア支払いを選択された場合、収納代行手数料 420 円(税込)が請求金額に別途加算されます。
 - ・インターネットバンク(ペイジー)、銀行振込支払いを選択された場合、振込手数料はお客様負担にてお願い申し上げます。
- いずれの場合も、ご旅行(ご宿泊)代金のお支払いが完了すると、オンライン(マイページ)上に宿泊プラン登録確認書が自動生成されますので印刷をいただき宿泊先までご持参下さい。
- ・インターネット環境にない場合は、別途お問い合わせ下さい(FAX 申込書用の書面を郵送致します)。

2. 宿泊プランについて

- ◆ご宿泊取扱日: 2019年3月28日(木)/29日(金)/30日(土)/31日(日)の4泊
- ◆宿泊プランは弊社募集型企画旅行契約にて承ります。申込ステップ中表示される旅行条件書を必ずご確認の上お申込をお願い致します。
- ◆立地(エリア)・料金帯ともに豊富なラインアップを取り揃えて皆様のお申込みをお待ちしております。

3. 受付スケジュールについて

申込受付開始: 2018年12月26日(水) 正午

申込受付締切: 2019年2月28日(木) 17:00 ※満員になり次第締め切らせていただきます※

4. 添乗員

この旅行では、添乗員が同行せず、約款に定める旅程管理は行いません。お客様に旅行サービスの提供を受けるために必要な確認書類をお渡し致しますので、お手続きはお客様ご自身で行っていただきます。

5. 最少催行人員 1名様

6. 変更・取消について

- ◆変更・取消についてはオンライン(マイページ)上でお願い申し上げます。尚、会期直前になるとオンライン上の変更・取消を制限させていただきますので FAX、E-mailにてご連絡下さい(電話ではお受け致しかねます)。
- ◆変更・取消に伴うご返金・追加お支払いについても、オンライン(マイページ)上でお手続きをお願い申し上げます。
- ◆お申込み後の取消は、下記の通り取消料を申し受けます。
(取消日=宿泊開始日の前日から起算してさかのぼって)

宿泊プラン	取消日	6日前まで	5日目～前日の解除	当日の解除(17:30 まで) *右記除く	旅行開始後、 無連絡(不泊)
		取消料	無料	20%	50%

7. 個人情報の取り扱いについて

お送りをいただきました個人情報については、連絡の為に利用させていただき、お申込まいただいた旅行において運送・宿泊機関等が提供するサービスの手配・受領の為に手続き、あるいは当学術集会の円滑な運営の為に必要な範囲内で利用致します。

8. お問い合わせ先

(株) JTB 横浜支店 営業第 2 課

「第 83 回日本循環器学会学術集会」宿泊受付デスク

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 3-29-1 第 6 安田ビル 6 階

TEL:045-316-4602 FAX:045-316-5701 e-mail:jtb_convention@jtb.com

[営業時間]午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分(土・日・祝日休業)

(総合旅行業務取扱管理者: 浦上 博行)



旅行企画・実施
(株) JTB

観光庁長官登録旅行業第 64 号

日本旅行業協会正会員・旅行業公正取引協議会会員

〒140-8602 東京都品川区東品川 2-3-11

* 総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引責任者です。この旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がありましたら、ご遠慮なく上記の総合旅行業務取扱管理者にご質問下さい。

学術集会問い合わせ先のご案内

第83回日本循環器学会学術集会ホームページ <http://www.congre.co.jp/jcs2019/> を開設しております。演題応募や学術集会プログラムの確認などにご利用ください。本会ホームページからもリンクしております。

1. 採否通知

2018年12月20日(木)から、採択された一般演題の登録番号、採択演題名、筆頭演者名をホームページでカテゴリ別に掲示しておりますので、各自ご確認ください。

2. 国内演者の資格

演題応募の時点で、筆頭著書および共著者は本学会の正会員または準会員であり、かつ2018年度会費納入者であることが必要です(※ただし、学部学生、修士、初期研修医、外国人留学生はこの限りではない)。入会をご希望の方は、下記ホームページよりご入会の手続きをお願いいたします。なお、入会は、入会金2,000円および2018年度会費(正会員：15,000円、準会員：8,000円)のお振込みをもって完了します。

ホームページ <http://www.j-circ.or.jp> の「ご入会案内」に入会申込書請求の入力フォームをご利用ください。

(一社)日本循環器学会事務局
〒100-0011
東京都千代田区内幸町1-1-1
帝国ホテルタワー18F
TEL: 03-5501-0861
FAX: 03-5501-9855
E-mail: admin@j-circ.or.jp

3. 演題取り下げについて

演題の取り消しは、会期初日の2ヶ月前(2019/1/28)をもちまして受付を終了いたしました。以後(2019/1/29～)については、発表業績として取り扱おうとし、取り消しは致しかねます。

4. その他

第83回学術集会のプログラム・運営などに関するお問い合わせは、運営準備室までE-mail または Faxにてご連絡ください。

第83回日本循環器学会学術集会 運営準備室
(株式会社コングレ)
TEL: 03-5216-6956
FAX: 03-5216-5552
E-mail: jcs2019@congre.co.jp

第84回日本循環器学会学術集会 (JCS2020) アジア太平洋心臓病学会 (APSC2020)

開催概要

第84回日本循環器学会学術集会 (JCS2020)

会 期： 2020年3月13日(金)～15日(日)
会 場： 国立京都国際会館, グランドプリンスホテル京都
会 長： 木村 剛 (京都大学大学院医学研究科 循環器内科学)

メインテーマ：Change Practice!!

1. 美甘レクチャー

Patrick W. Serruys (The Erasmus Medical Center, Rotterdam, The Netherlands)

2. 真下記念講演

萩原 正敏 (京都大学 形態形成機構学)

アジア太平洋心臓病学会 (APSC2020)

会 期： 2020年3月12日(木)～14日(土)
会 場： 国立京都国際会館, グランドプリンスホテル京都
会 長： 赤坂 隆史 (和歌山県立医科大学医学部 循環器内科)

メインテーマ：Evolution & Collaboration

BCVR

The 3rd JCS Council Forum on Basic CardioVascular Research
第3回日本循環器学会基礎研究フォーラム

Science drives Medicine

会期

2019年
9/6 [金] ~ 8 [日]

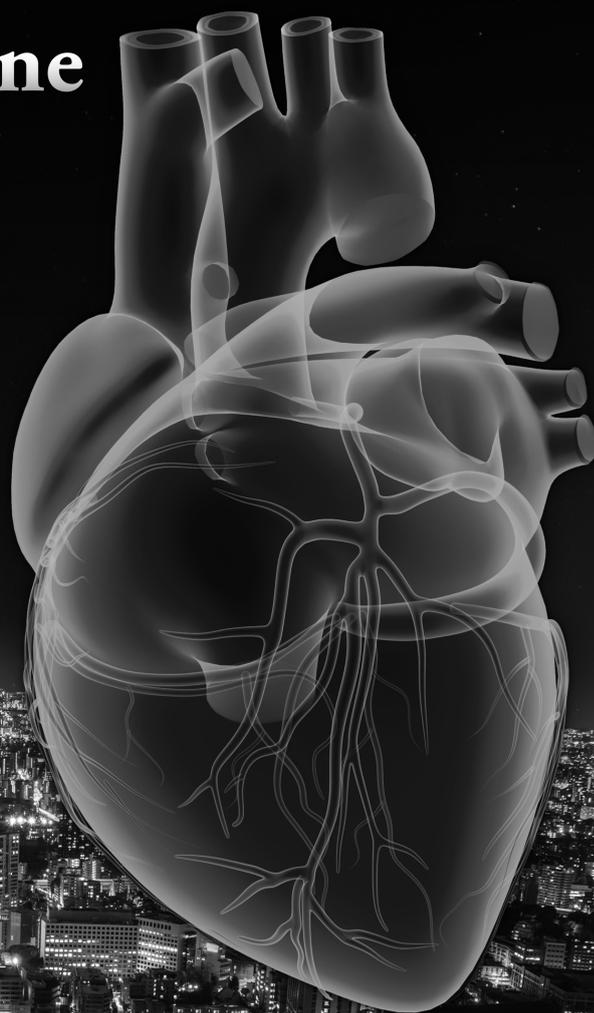
会場

東京コンベンションホール

会長

福田 恵一

慶應義塾大学医学部 循環器内科 教授



演題登録期間

2019年4月9日(火)~6月27日(木) 正午

事前参加登録期間

2019年4月9日(火)~7月31日(水) 正午

<http://www.congre.co.jp/bcvr2019/>

2019年度日本循環器学会基礎研究助成募集要項

●趣 旨

日本循環器学会では、2016年12月16日に脳卒中と循環器病克服5カ年計画を策定した。5戦略として「臨床・基礎研究の強化」・「人材育成」を制定し、その一環として、今後期待される若手の基礎研究へ助成をする。

●対 象

- 1) 国内の基礎研究に貢献が期待される研究者であること。
- 2) 循環器の基礎研究の分野で、新規性と独創性が高く、さらに大きな研究成果が期待できる研究であること。

●応募資格

- 1) 申請時において、日本循環器学会会員(正会員または準会員)であること。
- 2) 2019年4月1日時点で満40歳未満の者。
- 3) 過去に本助成から助成を受けていないこと。
- 4) 国内外問わず他学会及び財団から同様の目的で助成金を受けている場合は対象外とする。
- 5) 1施設(教室)からの複数応募は本助成に限り妨げない。

●選考方法

学術委員会で選出された選考委員の書類選考による。受賞者は最大5名とする。

●応募方法と提出書類

- 1)～3)については、フォーマット1へ記載下さい。4)についてはフォーマット2へ記載下さい。
- 1) 履歴書
 - 2) ①研究の背景・目的 ②研究計画・方法 ③期待される成果・意義 ④研究期間 ⑤これまでに受けた研究費を記載した申請書
 - 3) 研究業績(論文20編以内、うち関連の深い論文に*を記載下さい。)
記載方法：Name, Title, Journal, Volume, Page, Yearの順に記載。
 - 4) 研究指導責任者証明書

●書類受付期間：2019年4月8日(月)～5月8日(火) ※15:00必着(E-mail可)

●選考発表

第3回日本循環器学会基礎研究フォーラムにおいて、研究概要の発表を頂く。
※2年後の日本循環器学会基礎研究フォーラム(第5回基礎研究フォーラム)で成果発表を行う。

●助 成：奨励金(200万円)×最大5名

- ・使途明細表を提出頂く。(採択後にデータにてお送り致します。)

●論文投稿の際における謝辞について

- ・論文投稿の際は、下記の通り Acknowledgment(謝辞)をご記載頂きますようお願い致します。

謝辞：Acknowledgment(謝辞)

【英文】：This work was supported by the Grant for Basic Research of the Japanese Circulation Society (2019)

【和文】：本研究は2019年度日本循環器学会基礎研究助成を受けたものです。

●本助成は学術委員会が行っている事業です。

●お問合せ先

一社)日本循環器学会(JCS)事務局：企画グループ
〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18階
TEL：(03)5501-0864 FAX：(03)5501-9855 E-Mail：jcs-bcvr@j-circ.or.jp

循環器専門医制度

専門医制度委員会

第83回日本循環器学会学術集会の循環器専門医研修単位について

1. 単位加算年度について

2018年度単位として加算されます。

〈2019年度専門医資格認定更新対象の先生へ〉

2019年度専門医資格認定更新のお手続きにあたり、第83回日本循環器学会学術集会で取得される単位も更新に必要な研修単位として認められます。

但し、その他のお手続きにつきましては、各受付期間中に必ずお済ませ下さい。

その他のお手続きの内容は、本誌内「循環器専門医認定更新のご案内」の105ページでご確認ください。

また、2019年度専門医資格認定更新のための研修単位をすでに充足されている場合でも、認定更新後(2019年4月1日～2024年3月31日)の研修単位には加算されませんのでご注意ください。

〈2019年度専門医資格新規認定となる先生へ〉

2018年8月の循環器専門医資格認定試験に合格された先生は、2019年4月1日(2019年度)からの認定となりますため、今回の学術集会は研修単位付与対象とはなりません。認定開始後(2019年4月1日～2024年3月31日)の研修単位には加算されませんのでご注意ください。

2. 循環器専門医資格認定更新に必要な研修単位の登録

《受付日時・各単位数》

注)セッション・講演会の開催時間と登録受付時間は異なります。

	学術集会	教育セッション	医療安全・倫理に関する講演会
単位数	10単位	5単位	2単位
専門医研修単位 登録受付場所	展示ホール (本会広報ブース内)	国立大ホール マリンロビー	国立大ホール マリンロビー
第1日目 3月29日(金)	7:00～18:00	7:30～9:30	—
第2日目 3月30日(土)	7:00～18:20	7:40～9:40	—
第3日目 3月31日(日)	7:00～16:40	9:10～11:10	12:30～14:30

※研修単位の登録は学術集會会期中、指定の時間内に研修単位登録受付において「循環器専門医カード」を提示する事により、単位を登録する方式です。

※会期中に登録を忘れた場合、会期後にプログラム・参加証等の他書類で研修単位を申告されても受付致しません。

※単位登録お手続きの際お渡しする「単位登録控」はご登録の証明となりますので、次回更新まで大切に保管してください。

※ご本人による登録のみが認められます。虚偽による登録が判明した場合には、専門医制度規則第10条により専門医資格の取消となりますのであらかじめご了承ください。

※65歳以上の単位取得免除制度は2008年3月31日をもって廃止されています。更新を希望される場合は年齢にかかわらず単位登録を行ってください。

学術集会

- 研修単位の登録は「専門医研修単位登録受付」（前頁表内に記載）にて行ってください。
- 研修単位は、参加日数に関わらず10単位です。

教育セッション

- 研修単位の登録は「教育セッション専門医研修単位登録受付」（前頁表内に記載）にて行ってください。
- 研修単位は、参加日数に関わらず5単位です。

医療安全・倫理に関する講演会

- 第83回学術集会では、第3回医療安全に関する講演会『「医療事故調査制度」と医療安全』（医療安全委員会）と第3回倫理に関する講演会『研究倫理における被験者保護とサイエンス ジェンナーから臨床研究法まで』（倫理委員会）を必修研修単位である医療安全・医療倫理に関する研修単位付与対象としています。
- 研修単位の登録を行なうことで、2単位の医療安全・医療倫理に関する研修単位を取得できます。
- 研修単位の登録は「医療安全・倫理に関する講演会専門研修単位登録受付」（前頁表内）にて所定の時間内に行ってください。

2019年からの新しい循環器専門医制度のご案内

※必ずご確認ください。

循環器領域では、2019年4月より新専門医制度の研修が始まります。

専門医研修整備基準【循環器領域】や循環器専門医研修カリキュラムも併せてご確認ください。

専門医制度は2019年4月から始まる新専門医制度と従来から実施している旧専門医制度の2つが存在することになります。それぞれ対象となる方が異なりますので、ご自身でよくご確認ください。

新制度

対象者：2016年以降に医師免許を取得した方もしくは基本領域において新制度のプログラムを開始している方

研修について

研修の始め方：日本循環器学会が提供する循環器 J-OSLER(システム)で研修開始日を登録する。現在システム構築中のため、登録は2019年10月頃を予定しています。遡っての登録が可能です。

研修期間：3年以上

システムに登録が必要な経験症例数：循環器指導医に指導を受けた30症例以上

1症例で入力する項目：1.経験時期、2.受持期間、3.患者の施設名、4.領域、5.疾患項目、6.患者ID、7.受け持時患者年齢、8.性別、9.担当状況(入院)、10.この症例の指導医、11.主な医学的プロブレム、12.社会的プロブレム、13.症例の概略、14.症例を経験しての自己省察

病歴要約を記載する症例：上記30症例のうち10症例

1症例で入力する項目：上記にプラスして15.病歴、16.主な入院時現症、17.主要な検査所見、18.プロブレムリスト、19.入院後経過と考察、20.退院時処方、21.総合考察

システムに登録が必要な経験検査法の数：カリキュラムの「判定の基準」に記載の数

研修の修了要件：研修項目がすべて達成され、個別に指導医による承認と、各施設の専門医研修管理委員長による修了判定が記録されること。

試験について

筆記試験：受験資格を有するものが申請をすることにより受験可能

時期：初回は2022年

受験資格：1. 次の5項を充足していること。

- 1) 日本国の医師免許証を有し、医師としての人格及び見識を備えていること。
 - 2) 筆記試験前日までに新制度の内科専門医、外科専門医、小児科専門医いずれかの資格を取得していること。
 - 3) 本学会正会員であり、通算して3年以上の正会員歴を有すること。
 - 4) 受験する年の3月末までに循環器領域の新制度研修を修了していること。
 - 5) 本会が定める所定の高度な救急蘇生法に関する講習を受け、受験年度の41日現在有効な認定を受けていること。
2. 審査料および年会費を所定の期間までに完納していること。
3. 喫煙が心血管病の危険因子であることを認識し、自ら禁煙し且つ禁煙の啓発に努めること。
4. 試験の合格後、専門医名簿への公開に同意すること。

旧制度

旧制度対象の認定審査は2023年度で終了します。すでに旧制度で研修中の方が2023年までに受験できるよう2020年～2023年の受験資格(会員歴と研修歴)に優遇措置を設けます。2019年の試験は優遇措置を設けませんのでご注意ください。

対象者：2015年以前に医師免許を取得した方

2020年～2023年の受験資格に設ける優遇措置：

- ①会員歴が3年以上であること。(従来は6年以上)
2020年に受験するためには2018年度中の入会が必要です。
- ②循環器研修を基本領域資格取得年の4月から開始可能とします。(従来は基本領域資格取得後、筆記試験前日までに満3年の研修が必要でした。
例えば2017年9月に認定内科医を取得した先生は筆記試験が8月のため最速でも2021年の循環器専門医試験受験でしたが、優遇により2020年に受験が可能となります)
- ③研修関連施設での研修を研修施設と同等の扱いにします。(従来は研修関連施設での研修は1/2換算としていました)

新制度で指導医をしていただく先生へ

新制度では、指導医(専門医資格を1回以上更新している専門医)の指導により、専攻医がシステムに登録した症例または検査法に対してチェック・承認をうけることが研修となります。従いまして、指導医の先生は、施設およびシステム上にて登録が必要です。

専門医研修整備基準【循環器領域】や循環器専門医研修カリキュラムをご確認いただき、これらに沿った研修が行えるよう指導をお願い致します。

新制度の施行にあたり循環器専門医研修カリキュラムは大幅に刷新しております。項目別にA～Cの達成目標や研修のポイント、研修修了の目安となる判定の基準を設定しております。是非、ご活用ください。また、別に公開する「指導医マニュアル」もご活用ください。

なお、循環器専門医指導医は新制度の研修において用いられる名称であるため、標榜ができる資格ではございませんのでご理解ください。

循環器専門医認定更新のご案内

平素より大変お世話になっております。2019年度循環器専門医資格認定更新のお手続きについてご連絡致します。自動的に更新されませんので、各期日までに必ずご対応ください。

◆◆◆ 認定更新の条件およびお手続き (Step①～Step⑤) ◆◆◆

Step① 「更新」の意思表示 & 基本領域資格情報の登録

期日：2018年11月29日 対象：更新者全員

認定更新申請システムにアクセスし、基本領域資格情報を登録してください。ログインに必要な「会員番号」「パスワード」は郵送書類をご確認ください。インターネット環境がない場合は、次頁の申請書に必要事項をご記入の上、FAXしてください。

認定更新申請システム：http://www.j-circ.or.jp/information/senmoni/web_shinsei.htm

Step② 年会費(15,000円/年)の振込み

期日：2019年3月29日入金まで

今年度までの会費を未納入の先生は年会費をお振り込みください。

Step③ 単位の取得

期日：2019年3月31日

Step①が終了した先生は更新に必要な単位を取得ください。現在の取得単位は当学会HPの「循環器専門医制度」→「専門医単位照会」よりご確認ください。

Step④ 更新料(30,000円)の振込み

Step①～③を完了された先生へ更新料の振込み用紙を12月中旬以降、順次、事務局より発送致します。

Step⑤ 更新手続きの完了

更新料をお振り込みいただきましたら更新手続きは完了です。

※ご提出頂いた基本領域資格の認定期間が2019年3月31日以前の場合は、2019年4月以降、更新後の基本領域資格証書(コピー)をご提出頂きます。

- 更新後の認定期間は2019年4月1日～2024年3月31日となります。
- 証書発送は、上記の更新条件を充足した方から順次発送致します。(3月中旬以降予定)

〈 Web申請が難しい(インターネット環境がない)場合 〉
以下に必要事項をご記入の上, FAXにて事務局までお送りください.

一般社団法人 日本循環器学会
専門医制度委員会 殿

日本循環器学会認定循環器専門医資格 認定更新申請書

更新申請します.

喫煙が心血管病の危険因子であることを認識し, 自らが禁煙し且つ禁煙の啓発に努めます.
認定期間内に認定更新に必要な下記条件を充足し, 認定更新を希望します.

- ① 「更新」の意思表示
- ② 基本領域資格を取得していること
- ③ 更新に必要な単位の取得
- ④ 更新年度までの年会費の納入
- ⑤ 認定更新料の納入

辞退申請します.

年 月 日

氏名 :

会員番号 :

ご住所 : 〒

TEL :

○「更新」の場合には, 必ず, 基本領域資格証書(コピー)も併せてお送りください.

【FAX送信先・お問合せ先】

FAX: 03-5501-9855 / **TEL: 03-5501-0864**

MAIL: senmoni@j-circ.or.jp

一般社団法人 日本循環器学会 事務局

循環器専門医認定更新
所定単位表

一般社団法人 日本循環器学会

以下の方法にて5年間に**必修研修単位を含む50単位**を取得することにより、循環器専門医の認定更新を行う。

★印については必修研修とし、認定期間内に30単位を必ず取得のこと。★内での組み合わせは自由。

☆印については必修研修とし、認定期間内に最低1回(2単位)は受講すること。

登録方法	対象者	必修	単位加算対象	単位数
専門医カード 単位登録票	参加者	★	日本循環器学会 学術集会	10
		★	〃 教育セッション	5
		☆	〃 医療安全・倫理に関する講演会※1	2
		★	日本循環器学会 地方会	5
		★	〃 地方会教育セッション	3
		〃	〃 基礎研究フォーラム(BCVR)	3
事務局登録	筆頭著者		「Circ J」掲載論文(CL・EX・RC・ICMのみ)	10
	参画者		本会が推奨する臨床研究プロジェクト※2	2~4
			本会が実施するプログラム	◎
	自己研修		本会が実施する教育プログラム CD-ROM/DVD/ビデオ※3	3
		本会が実施する教育研修 e-ラーニング※4	1	
自己申告	参加者		循環器関連学会 年次学術集会	3
			関連学会 年次学術集会	1
			日本医学会総会	5
			WCC・AHA・ACC・APSC・ESC	2
			その他の海外循環器関連学会集会	1
	筆頭著者		本会指定の循環器関連学会学術誌 掲載論文(英文)	5
			〃 (和文)	3
			本会指定以外の循環器関連学術誌 掲載論文(英文)	3
			〃 (和文)	1
	留学者		留学(連続して10ヶ月以上の場合のみ)	1×月数

《単位登録方法について》

専門医カード：学会当日会場において専門医カードを持参・提示することにより単位を取得する。

単位登録票：学会当日会場において、単位登録票に記入し提出することにより単位を取得する。

事務局登録：上記該当者は自動的に単位が加算される。

自己申告：単位不足の場合、自己申告期間(認定5年目)に所定の自己申告書にて不足単位を申告する。但し、留学・研究プロジェクトについては『認定更新に関する規程』参照。

※1 医療安全・医療倫理に関する研修については、ホームページ上での視聴研修あるいは地方会でのDVDセッションでも可。ただし、同じ講演内容については、重複して単位は加算されない。

※2 詳細については「大規模臨床試験プロジェクト」単位付与規程に基づき専門医制度委員会で決定する。

※3 発売から約2年間のみが単位付与対象となる。各視聴教材に同封の単位申請ハガキに記載されている単位申請有効期限を確認すること。

※4 視聴と設問正解を以って単位付与とする。

ただし、認定期間5年間で最大15単位。同じ内容については、重複して単位は加算されない。

◎印の単位数は委員会判断とする。

2019年度日本循環器学会認定循環器専門医資格認定審査について

I. 審査方法

書類審査及び筆記試験(書類審査合格者のみ筆記試験の受験資格を有する)

II. 受験資格

1. 次の5項を充足していること。
 - 1) 日本国の医師免許証を有し、医師としての人格及び見識を備えていること。
 - 2) 受験年度の4月1日現在、認定内科医／総合内科専門医／外科学会認定登録医／外科専門医／小児科専門医、いずれかの資格を取得していること。
 - 3) 本学会正会員であり、通算して6年以上の正会員歴を有すること(※1)。
 - 4) 医師免許取得後、専門医試験日前日をもって満6年以上の臨床研修歴を有すること(※2)。6年のうち3年以上は本学会指定の研修施設で研修していること(※3)。2004年度(平成16年度)以降に医師免許を取得したものは、基本領域資格取得後、専門医試験日前日をもって満3年以上本学会指定の研修施設で研修していること(※3, ※4)。
 - 5) 「AHA ACLS プロバイダーコース」「AHA ACLS-EP コース」「AHA ACLS インストラクターコース」「AHA ACLS-EP インストラクターコース」のいずれかを受講し、受験年度の4月1日現在有効な認定を受けていること。また小児科系に限り「AHA PALS プロバイダーコース」「AHA PALS インストラクターコース」も同等資格として認める。
 2. 審査料(※5)および年会費を2019年6月末までに完納していること。
 3. 喫煙が心血管病の危険因子であることを認識し、自ら禁煙し且つ禁煙の啓発に努めること。
 4. 試験の合格後、専門医名簿への公開に同意すること。
- ※1 2019年4月1日現在6年目で可。2015年度以降の入会者は受験できません。
 ※2 2003年度以前に医師免許を取得した方は2年間のスーパーローテーションを含む。
 ※3 研修関連施設での研修期間は1/2に換算されます。
 ※4 2016年9月以降の基本領域資格取得者は満3年以上の研修歴が満たないため、今回受験できません。
 ※5 払込用紙は5月上旬に送付の予定です。

III. 申請方法

以下の書類を事務局まで郵送してください。①～⑤はWEBを介して作成し、印刷して提出してください。⑥はWEB上よりダウンロードして必要事項を記入して提出してください。⑦～⑧はコピーを提出してください。書類作成にあたり、当会HPの「診療実績表評価基準」「よくあるご質問」「申請書作成の手引き」等を必ず確認してください。

※症例や引用論文は原則として10年以内のものとしします。

※手術症例は開胸・開腹を伴うものとしします。

※提出書類で個人が特定できる情報(氏名、ID、住所、生年月日の日にち)には必ずマスキングをして下さい。マスキングされていない(視認できる)場合には、それだけで不合格になることがあります。

(①～⑧まで全ての書類を同封してお送りください)

- ① 循環器専門医資格認定審査申請書
- ② 診療実績表(A)受持入院患者一覧表
- ③ 診療実績表(B)研修記録
- ④ 診療実績表(C)手術所見, (D)外科手術記録, (E)剖検記録のいずれか
- ⑤ 研修(研修関連)施設在籍証明書
- ⑥ 循環器専門医研修カリキュラム達成度評価表
- ⑦ 基本領域の資格証書のコピー
- ⑧ 「AHA ACLS プロバイダー」「AHA ACLS-EP」「AHA ACLS インストラクター」「AHA ACLS-EP インストラクター」、また小児科系に限り「AHA PALS プロバイダー」「AHA PALS インストラクター」いずれかのカードのコピー

IV. 筆記試験不合格者への措置について

2019年度試験より、2018年度以降の書類審査に合格し筆記試験で不合格となった受験申請者は、次年度と次々年度の書類審査を免除する措置を適用致します。

つきましては、2018年度試験の筆記試験不合格者は、2019年度及び2020年度試験の書類審査を免除致します。なお審査料は通常通り必要です。

【措置内容】

1. 対象
2018年度の筆記試験不合格者
2. 有効期間
筆記試験不合格となった次年度と次々年度
3. 受験資格
通常の受験資格(上記Ⅱ. 受験資格)と同様です。
4. 申請書類
「診療実績表(A)～(E)」と「研修(研修関連)施設在籍証明書」の提出が免除されます。以下の書類を申請書類提出期間中(下記V. 日程)に事務局まで郵送してください。
 - ① 循環器専門医資格認定審査申請書
 - ② 循環器専門医研修カリキュラム達成度評価表
 - ③ 基本領域の資格証書のコピー
 - ④ 「AHA ACLS プロバイダー」「AHA ACLS-EP」「AHA ACLS インストラクター」「AHA ACLS-EP インストラクター」、また小児科系に限り「AHA PALS プロバイダー」「AHA PALS インストラクター」いずれかのカードのコピー

V. 日 程

日 程	内 容
1月30日～4月1日 10:00まで 申請期間が当初より延長になりました	受験申請・申請書類作成期間(※1) <u>この期間以後の新規受験申請は受付不可</u>
4月1日～4月9日 消印有効	申請書類提出期間(※2)
5月上旬	審査料払込用紙送付(※3)
5月～7月中旬	申請書類審査期間
7月下旬	書類審査結果通知(※4)
8月18日(日)	筆記試験施行(※5) 横浜, 大阪
10月下旬	可否通知

- ※1 受験者がWEBを介して受験申請・申請書類を作成する期間。
WEBで入力いただいたデータはこちらで保管しておりませんので、必要に応じてご自身で記録をお取りください。
- ※2 受験者が申請書類を事務局へ送付する期間。
この期間以後に到着した書類は一切受け付け致しません。
なお、提出された書類の確認は申請書類提出期間以降に行います。
提出された書類は返却いたしませんので、必ず控えをとってお送りください。
(書類審査不合格の場合は、「研修カリキュラム達成度評価表」のみ返却致します。)
- ※3 事務局から審査料払込用紙を送付します。審査料は20,000円です。
1度支払われた審査料は、いかなる理由であっても返金しません。
- ※4 書類審査不合格の場合は、責任者にも判定理由を通知します。
- ※5 試験練習問題は学会ホームページ(一般公開)でご確認頂けます。

VI. 認定について

- 試験の合格後、専門医認定申請の手続きをご案内致します。
- 認定料は30,000円です。

循環器専門医資格認定試験およびその申請書等において不正が判明した場合は専門医制度規則により厳格な処分が科せられます。

「循環器専門医カード」再発行のご案内

(専門医の先生へ)

日本循環器学会主催学術集会，地方会には，専門医カードをお持ちください。
 専門医カードをお持ち頂くと研修単位登録受付での登録がスムーズです。

紛失等された場合は，下記「循環器専門医カード再発行申請書」をFAX，
 郵便，E-mailで，日本循環器学会事務局へご提出ください。



カード再発行の流れ

1. 下記「再発行申請書」に必要事項を記入後，FAX，郵便，E-mail等で事務局へご提出ください。
2. 再発行料(3,240円)の請求書をお届けします。郵便局からお振込ください。
 改姓の場合は無料です。申請書内「事務局への連絡事項欄」に改姓のため等理由をご記載ください。
3. 再発行料のご入金を確認後，専門医カードをお届け致します。

発行時期 ※申請書の提出日によって，専門医カードの発行時期が異なります。

申請書提出メ切	専門医カード発行時期
12月末	2月下旬
3月末	5月上旬
7月末	9月上旬

ご提出・お問い合わせ：一般社団法人 日本循環器学会 事務局 専門医担当
 〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F
 TEL: 03-5501-0864 FAX: 03-5501-9855 E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

FAX: 03-5501-9855
 E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

(一社)日本循環器学会専門医制度委員会
循環器専門医カード再発行申請書

(一社)日本循環器学会
 代表理事 殿

標記のカードを紛失致しましたので，下記のとおり再発行を申請致します。
 なお，紛失したカードが発見された時には，速やかに学会に届け出を致します。

太枠内はもれなく記入してください 年 月 日

申請者氏名：	会員番号(6桁)：
生年月日：(西暦) 19 年 月 日	
事務局への連絡事項：	

※手続きには再発行料(¥3,240(税込))が必要です。申請書到着後，請求書を送付致します。

カード発行は，ご入金後となりますのでご了承くださいますようお願い申し上げます。

※万一，請求書送付から1ヶ月経過してもご入金確認ができない場合は，本件申込みは失効することと致します。

※再発行料請求書及び循環器専門医カードは，刊行物と同じ送本先へ送付致します。

事務局記入欄

申請受付日	請求書送付	入金確認	送付

会員ポータルサイト開始のお知らせと利用に伴うお願い

■会員ポータルサイト開始のお知らせ

日本循環器学会では、会員の皆様の利便性向上、新専門医制度への対応、システム老朽化への対応を目的とし、現在利用しているシステムの刷新を進めております。

利便性向上に向けた対応として、皆様の本会での登録情報をご自身で閲覧・一部編集頂けるようになり、年会費のお支払いについてもいくつかの方法を選んで頂く事が可能となります。

現時点では、異動やお引越等により登録情報の変更が必要となった場合や、年会費の支払い状況をご確認頂く場合でも、お電話や書面、メールにて事務局までお問い合わせを頂いております。

年会費をお支払い頂く場合でも、振込用紙を基本としている為、郵便局やコンビニエンスストア等へ足をお運び頂いている状況かと思えます。

日々の診療や研究で大変お忙しい皆様にとって、ご不便な仕組みとなっている事を改善し、皆様が便利に活用頂く為の、会員ポータルサイトを構築し公開させて頂く事をお知らせ致します。

会員ポータルサイトでは、次の事ができるようになります。

- 年会費のお支払い状況、専門医単位取得数、専門医認定期間等を閲覧頂けます
- 異動・お引越等による住所・ご所属等の一部変更を、ご都合のよい時にご自身で実施頂けます
- 年会費のお支払いも、郵便振込用紙以外の選択肢が増え、ネットバンキングや口座引落を選択頂けます
- 新規ご入会頂く際の年会費支払いを、クレジットカードで決裁可能となり、スムーズにご入会頂けるようになります

■会員ポータルサイト利用に伴うお願い

サイトをご利用頂くには**会員番号**と**パスワード**が必要となります。その初期パスワードを設定頂く為に、現在学会に登録されているメールアドレス宛てに、初期設定の為のURLをお送り致します。これが届かないと、会員ポータルサイトをご利用頂く事ができません。

その為、私どもでは、会員の皆様宛てに、会員番号カードと現在学会に登録されているメールアドレスを印刷した用紙を2月より順次郵送させて頂いております。

皆様のお手元に届きましたら、まずメールアドレスをご確認頂き、異なる場合、QRコードまたは、学会ホームページより変更登録サイトへアクセスの上、**3月17日**までに正しいメールアドレスをご登録ください。3月17日以降に変更頂いた場合、初期設定の為のメールを4月以降順次送信を致しますので、会員ポータルサイトを利用頂けるまでにお時間を要する事につきましてご容赦ください。



メールアドレス登録サイト



【ご注意ください】

会員番号カードは、会員番号をお知らせする為だけのものです。専門医単位登録の際には**専門医カード**をお持ち下さい。

2019年度実施 代議員(社員)選挙・理事選挙のお知らせ

平素より学会活動にご尽力を賜り誠にありがとうございます。

2019年度は「代議員(社員)選挙」と「理事選挙」の実施を予定しております。各選挙の概要については、随時ホームページ等で情報を更新して参りますのでご確認いただきますようお願いいたします。

従来、理事選挙は学術集会会期中に実施していましたが、今回からオンラインによる立候補・投票に移行いたします。

《代議員(社員)選挙》

現在就任中の社員が2020年3月31日に退任することに伴い、2020年度から就任する社員の選出を行います。選挙権および被選挙権の資格を得るためには、下記の条件を満たす必要がございますのでご注意ください。

選挙資格者 (投票)	<ul style="list-style-type: none"> ・正会員であること ・2019年3月31日時点において2018年度会費を納入済みであること (※本会の名誉会員、特別会員および功労会員は、上記に関わらず選挙権を有する)
被選挙資格者 (立候補)	<ul style="list-style-type: none"> ・正会員であること ・2019年3月31日時点において2018年度会費を納入済みであること ・立候補すること ・就任時(2020年4月1日時点)に65歳未満であること

※年会費納入については、本年3月31日時点で、学会の口座に着金していることが必要です。

【実施概要】

【立候補・投票のオンライン版と書面の併用】

今回も前回(2015年度実施)同様に、立候補・投票はオンラインまたは書面の併用にて実施いたします。書面による立候補・投票を希望する方は、4月中旬頃にホームページにてご案内いたしますのでご確認ください。

※次回、2023年度実施の代議員(社員)選挙より、経費削減の為に書面との併用を廃止しオンラインのみに移行いたしますのでご理解とご協力をお願いいたします。

【定数等】

全国で「283名」の予定で、支部ごとの分配数は「選挙資格者数」に基づき、2019年度第1回理事会(6月開催)で決定されます。

【実施スケジュール】

※具体的な日程は2018年度第4回理事会(3月開催)において承認を得てからお知らせいたします。

※立候補期間ならびに、投票期間を約1カ月に短縮し、縦覧期間を廃止しております。

2019年	6月下旬	立候補受付開始(オンラインまたは書面)
	8月初旬	立候補者公示
	8月中旬	投票(オンラインまたは書面)
	9月中旬	開票作業(選挙管理委員会開催)
	9月27日	2019年度第2回理事会にて結果報告
	10月初旬	結果報告(ホームページ)
2020年	4月1日	新社員就任

《理事選挙》

上述の代議員(社員)選挙で選出された社員の中から、新たに2020-2022年度就任理事を選出いただく「理事選挙」を実施いたします。

詳細な条件は確定次第、ホームページに記載いたしますのでご確認ください。

【実施概要】

【立候補・投票のオンライン化】

今回から代議員(社員)選挙と同様に、立候補および投票を今回からオンライン化することが決定いたしました(2018年度第3回理事会承認)。社員選挙との違いは書面との併用がなくオンラインのみとなる点です。方法については後日ホームページに掲載いたしますのでご確認ください。なお、代表理事を選出する「代表理事選出委員会」については、例年同様に学術集會会期中に開催を予定しております。

【実施スケジュール】

※具体的な日程は2018年度第4回理事会において承認を得てからお知らせいたします。

2019年	12月初旬	立候補受付開始(オンライン)
2020年	1月中旬ごろ	立候補者公示
	1月下旬～2月中旬	投票期間(オンライン)
	2月中旬	開票作業・当選者発表
	3月(学術集會会期中)	代表理事選出委員会
	6月(社員総会)	新理事就任

〈選挙に関するお問合せ先〉

一般社団法人日本循環器学会 事務局 選挙担当
〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1
帝国ホテルタワー18F
TEL : 03-5501-0864 FAX : 03-5501-9855
E-mail : senkyo@j-circ.or.jp

地方会・関連学会・研究会情報

【お願い】 各学会情報は、申請された時点の情報を掲載していますので、開催までに情報に変更が生じることがございます。当日参加される場合は、必ず各学会・各地方会・各研究会にて情報をご確認ください。

日本循環器学会地方会情報

2019年4月以降に開催される地方会の演題登録分から演題登録システムが変わります。
登録手順は、各地方会ホームページに御座います登録手順をご覧ください。

第121回北海道地方会

会 期：2019年6月22日(土)
会 場：北海道大学学術交流会館
会 長：安齊俊久(北海道大学 循環病態内科学)

第168回東北地方会

会 期：2019年6月1日(土)
会 場：盛岡地域交流センター マリオス(盛岡市)
会 長：渡邊博之(秋田大学 循環器内科学)

第169回東北地方会

会 期：2019年12月7日(土)
会 場：仙台国際センター(仙台市)
会 長：下川宏明(東北大学 循環器内科学分野)

第252回関東甲信越地方会

会 期：2019年6月15日(土)
会 場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会 長：小林欣夫(千葉大学 循環器内科学)

第253回関東甲信越地方会

会 期：2019年9月28日(土)
会 場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会 長：松本直也(日本大学 循環器内科学分野)

第254回関東甲信越地方会

会 期：2019年12月7日(土)
会 場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会 長：鈴木 洋(昭和大学藤が丘病院)

第255回関東甲信越地方会

会 期：2020年5月22日(土)
会 場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会 長：藤田英雄(自治医科大学附属さいたま医療センター 循環器内科)

第138回北陸地方会

会 期：2019年6月30日
会 場：金沢大学医薬保健学域医学類(金沢市)
会 長：阪上 学(金沢医療センター 循環器内科)

第127回近畿地方会

会 期：2019年6月22日(土)
会 場：京都テルサ
会 長：的場聖明(京都府立医科大学 循環器内科学)

第128回近畿地方会

会 期：2019年11月30日(土)
会 場：大阪国際会議場
会 長：是恒之宏(大阪医療センター)

第115回中国地方会

会 期：2019年11月30日(土)
会 場：JMS アステールプラザ(広島市)
会 長：榎野 新(中国労災病院)

第126回九州地方会

会 期：2019年6月29日(土)
会 場：宮崎市民プラザ(宮崎市)
会 長：中村都英(宮崎大学 心臓血管外科学分野)

海外学会情報

ACC2019

会 期：2019年3月16日(土)～18日(月)
開催地：ニューオーリンズ(アメリカ)
U R L： <https://www.expo.acc.org/ACC19/Public/enter.aspx>

APSC2019

会 期：2019年5月22日(水)～26日(日)
開催地：パサイ(フィリピン)
U R L： http://apsc2019.ph/?fbclid=IwAR2hHaleAFnc6LcarSySIFdWP8U28NkPwVFzi7kA43_N3dZcKsdegXr5noU

ESC Congress 2019

—Together with World Congress of Cardiology—
会 期：2019年8月31日(土)～9月4日(水)
開催地：パリ(フランス)
U R L： <https://www.escardio.org/Congresses-&-Events/ESC-Congress>

AHA2019

会 期：2019年11月16日(土)～18日(月)
開催地：フィラデルフィア(アメリカ)
U R L：未定

その他の学会開催情報

第30回日本医学会総会2019中部

会 期：2019年4月27日(土)～29日(月・祝)
会 場：名古屋国際会議場，名古屋学院大学白鳥学舎，
ウインクあいち
会 長：齋藤英彦(名古屋大学名誉教授)
テーマ：医学と医療の深化と広がり—健康長寿社会の
実現をめざして—
事前参加登録：2018年2月1日(木)正午
～2019年4月5日(金)正午
問合先：学術準備室
〒466-8550 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65
名古屋大学医学部 基礎研究別館 1F 106
Tel. 052-744-2037 Fax. 052-744-2038
学術準備室分室
〒460-0004 愛知県名古屋市中区新栄町2-13
栄第一生命ビルディング(株式会社コングレ
内)
Tel. 052-950-3369 Fax. 052-950-3370
E-mail: isoukai2019@congre.co.jp

日本学術会議公開シンポジウム

「心疾患の診療提供体制：循環器病対策基本法制定を
受けて—かかりつけ医での診療・多職種介入・心臓リ
ハビリテーションの定着に向けて—」

「循環器病対策基本法(正式名：健康寿命の延伸等を
図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対
策に関する基本法)」が可決、成立致しました。今後、
脳卒中や心臓病など循環器病の予防の推進、循環器病
患者の健康寿命の延伸に向けた心臓リハビリテーショ
ンを含む、循環器病の医療体制の整備、教育・啓発活
動、研究の推進などが期待されます。そこで、一般医
療者向けに「心疾患の診療提供体制：循環器病対策基
本法制定を受けて」と題しました公開シンポジウムを
開催いたします。

主 催：日本学術会議(臨床医学委員会 循環器・内
分泌・代謝分科会)
AMED「慢性心不全患者に対する多職種介
入を伴う外来・在宅心臓リハビリテーション
の臨床的効果と医療経済学的効果を調べる研
究」研究班(磯部光章代表)

厚生労働省「地域におけるかかりつけ医等を
中心とした循環器病の診療提供体制構築の研
究」研究班(磯部光章代表)

共 催：日本心不全学会，日本心臓リハビリテーシ
ョン学会
後 援：日本医師会，日本心臓血圧研究振興会，日本
心臓財団，日本循環器学会
日 時：2019年3月21日(木・祝)14時～17時
場 所：日本学術会議講堂
参加申込：日本循環器学会 HP(日本循環器学会から
のお知らせ，1/11付)から WEB フォームを
利用して申請いただけます。
対 象：一般医療者
参加費：無料(先着300名)

第20回 CTO Club

会 期：2019年6月14日(金)～15日(土)
会 場：ウインクあいち
研究会 HP：<http://cct.gr.jp/ctoclub>
参加登録：2019年3月1日(金)～5月20日(月)まで，
ホームページより事前参加登録を受付いたし
ます。
問合先：〒440-0851 愛知県豊橋市前田南町1-1-5 2E
CTO Club 事務取扱
Tel. 0532-57-1276 Fax. 0532-52-2883
E-mail: cto@heartorg.gr.jp

近畿心血管治療ジョイントライブ (KCJL)2019

会 期：2019年4月11日(木)～13日(土)
会 場：ナレッジキャピタルコングレコンベンション
センター(大阪府)
参加登録：2019年1月9日(水)～3月19日(火)まで，
ホームページより事前参加登録を受け付けま
す。
当番世話人：小林智子(京都桂病院)
問合先：〒440-0851 愛知県豊橋市前田南町1-1-5 2E
KCJL 事務局
Tel. 0532-57-1278 Fax. 0532-52-2883
E-mail: kcjl@kcjl.gr.jp
URL：<http://www.kcjl.gr.jp>

研究助成

第17回(平成31年度)榊原記念研究助成金募集要項

助成対象課題：循環器領域の疫学・基礎・臨床課題
サブテーマ：カルテと診療情報のビッグデータ化とそ
の有機的活用に関する研究
(平成30年度のサブテーマは「心不全」で採
択は5件)

対象研究者

- 1) 大学又は研究機関に所属する者。
- 2) 応募締切日において年齢40歳未満の者。
- 3) 候補者自身が計画した研究課題を持つこと。
- 4) 大学・大学院・研究所等の教授，准教授，病院・
研究所等の部長職以上の職にあるものは対象としな

い。
5) 国籍, 所属機関, 性別は問いません。
※お一人で複数のテーマでの応募は受けません。
なお, 一度この研究助成をお受けになった方は,
ご遠慮ください。一件200万円を限度とし, 若手
研究者を対象とします。

研究期間: 2019年10月~2021年9月
業績について: 研究者自身に帰属しますが, 研究終了
時に当会の研究成果発表会(未定)で発表し,
成果報告書を提出して頂きます。

また, 学会, 論文等にて発表の際は当会の
研究助成によることを明確にして頂きます。

応募手続: 当会所定の応募用紙に記載の上, 必ず期限
内に書留便でお送り下さい。

受付締切: 2019年4月1日(月)必着

用紙請求及び提出先: 〒162-0054 東京都新宿区河田
町8番1号

公財)日本心臓血管研究振興会
Tel. 03-3357-7643 Fax. 03-3353-8090

応募用紙は当財団ホームページ(<http://www.hq.heart.or.jp/>)よりワード形式でダウ
ンロードできます。

採択方法: 当会が委託した選考委員会により決定され
ます。なお, 審査の結果は2019年9月下旬ま
でにご連絡致します。

第30回(2019年度)研究助成等募集のお知らせ

(公財)福田記念医療技術振興財団では, ME を利用し
た医療技術に関する研究助成を行っております。2019
年4月1日より, 次のとおり募集を行います。
公募事業:

①研究助成

- (1)個人研究 1件100万円を限度に, 6件
- (2)共同研究 1件200万円を限度に, 5件

②国際交流助成

- (1)研究留学 1件100万円を限度に, 4件
- (2)国際会議出席
1件 30万円を限度に, 4件
- (3)海外からの研究者招聘
1件100万円を限度に, 4件

③論文表彰(副賞50万円) 2件

応募締切日(当日消印有効):

- ①については, 2019年4月25日
- ②については, 前期分2019年4月25日(出発が2019
年7月1日から2020年2月29日まで), 後期分2019
年12月31日(出発が2020年3月1日から2020年6月
30日まで)
- ③については, 2019年12月31日

応募方法: 財団所定の申請書に記載し, 書留で事務局
宛に送付してください。

問合せ先: 〒113-8570 東京都文京区湯島2丁目31番20
号 フクダ電子(株)春木町ビル内

公益財団法人 福田記念医療技術振興財団事務局
Tel. 03-5684-0288 Fax. 03-5684-0268
URL: <http://www.fukudakinen.or.jp/>

公益財団法人健康加齢医学振興財団

①井村臨床研究賞(第15回)候補者募集

趣 旨: 健康な加齢(胎生期からの成長, 成熟, 老化)
に伴う変化の機構と, それに関連して起こる心血管
系疾患, 内分泌代謝疾患, 及びこれらと密接に関係
した疾患の成因, 病態, 予知, 予防, 診断, 治療な
どに関する人を対象としてなされた研究で, 例とし
ては

- 1) 基礎研究の成果の臨床への橋渡し研究
(translational research)
- 2) 疾患の成因や病態生理の解明
- 3) 疾患の新しい診断・治療・予防法の開発
- 4) 疫学的研究(ゲノム疫学を含む)

などの分野の臨床研究において, 顕著な業績をあげ
た国内の研究者または研究グループに贈呈

贈呈数: 1名または1研究グループ

内 容: 賞状, 賞牌(ゴールド・メダル), 副賞(研究
助成金200万円)

応募締切: 2019年4月20日(当日消印有効)

応募規定:

- 1) 他薦に限る
- 2) 研究分野: 上記趣旨のとおり
- 3) 推薦書類の一式: 財団規程の用紙により作成
し財団事務局に送付(規程用紙は事務局に文書
により請求)

授与式: 2019年12月予定

②井村臨床研究奨励賞(第15回)候補者募集

趣 旨: 健康な加齢(胎生期からの成長, 成熟, 老化)
に伴う変化の機構と, それに関連して起こる心血管
系疾患, 内分泌代謝疾患, 及びこれらと密接に関係
した疾患の成因, 病態, 予知, 予防, 診断, 治療な
どに関する人を対象として, または人の材料を用い
てなされた研究などを対象とする。

例としては

- 1) 基礎研究の成果の臨床への橋渡し研究
(translational research)
- 2) 疾患の成因や病態生理の解明
- 3) 疾患の新しい診断・治療・予防法の開発
- 4) 疫学的研究(ゲノム疫学を含む)

などの分野の臨床研究において, 注目すべき優秀な
研究業績をあげている国内の45歳未満の研究者に対
し, その将来の発展を期待して贈呈

贈呈数: 2名以内

内 容: 賞状, 賞牌(シルバー・メダル), 副賞(研究
助成金30万円)

応募締切: 2019年4月20日(当日消印有効)

応募規定:

- 1) 推薦書類の一式: 財団規程の用紙により作成し

財団事務局に送付(規程用紙は事務局に文書により請求)

2) 2019年3月31日現在で45歳未満であること

授与式: 2019年12月予定

問合先: 〒606-8413 京都市左京区浄土寺下馬場町86

番地 国際健寿ビル1階

公益財団法人 健康加齢医学振興財団

Tel. 075-761-2381 Fax. 075-761-2382

Circulation Journal 英文姉妹誌 Circulation Reports

2019年1月10日 創刊!

2019年1月10日に Circulation Reports Vol.1 Issue1 が創刊されました

日本循環器学会の学会誌 Circulation Journal は2019年で創刊83年を迎え、国内外の優秀な先生方から年間約1400件御投稿戴く中、採択率約25%といった現状もあり、惜しくも不採択になった先生方の論文を発表する場をつくりたいと長年討議が重ねられてきました。一方、インターネットを利用した論文発表や議論が益々活発になってきている昨今、このような時代の潮流にのり、さらなる循環器医療の発展に寄与できる方法を考え、完全 on-line 公開の英文誌 *Circulation Reports (Circ Rep)* 創刊を致しました。

現在、循環器医学・研究は従来の生理学・薬理学・分子生物学・疫学研究以外の医工学・医療情報学・医療経済学など新分野や新手法による分析や解析が必要とされています。また心血管疾患の予防が重要視されている中、栄養、運動、チーム医療・医療制度・社会医学や心血管リスク因子の包括的な管理が期待されています。*Circulation Reports (Circ Rep)* はこれらの領域も含めた、心臓・血管疾患に関わる幅広い論文投稿を期待しています。また医師や医師以外の研究者からの提言も受け入れ *Circulation Reports (Circ Rep)* が循環器医療・循環器研究に関する課題や問題の議論の場にもしたいと考えています。以上のように循環器医・循環器研究者・医師以外の読者にとっても興味を引く内容も取り込んでいく予定です。

新規投稿だけではなく、Circulation Journal の姉妹誌として、紙面の都合上 Circulation Journal に掲載できなかった優れた論文を Transfer の形式を取り、迅速な投稿受付をいたします。採択された論文は on-line 早期公開を迅速に実施し、毎月10日に on-line 本公開といたします。また、Protocol Paper, Brief Report, Statement/Opinion といった Circulation Journal にはない、新たな論文種別を加え、若手の編集委員と協力して、積極的に採択を進めております(尚、Circulation Journal 同様、Case Report は受付致しません)。公開前に統計学的な観点からも査読を行い、統計面の裏付けを行った論文を採択することで、当誌の論文レベルを上げていきたいと考えています。引き続き、先生方からの心臓・血管疾患に関わる幅広い論文投稿を心よりお待ち申しております。

編集委員会 委員長 室原 豊明
Circulation Reports 編集長 佐田 政隆

オンライン公開ホームページ(J-stage 内、閲覧無料)
●<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/circrep/-char/en>

●QRコード



投稿規定
●https://www.jstage.jst.go.jp/guide/circrep/8/9083/-char/en/ITA_20181001.pdf

●QRコード



ACLS 講習会情報

●ACLS プロバイダーコース案内

受講料 (初回受講) 32,000円

受講料 (更新受講) 18,000円 ※受講要件は ACLS 更新コースと同様です。

受講対象者：原則として医療従事者(医師・看護師・救急救命士など日本国内での医療国家試験有資格者)。なお、臨床経験を有している方が望ましい内容が多く含まれていますので、医療従事者をめざしている学生(医学生、看護学生、薬学部学生など)の受講は原則として認めておりません。

受講申込方法：当会ホームページ「BLS・ACLS 講習会情報」のページからご希望のコースをお選びいただき、オンラインフォームにてお申し込みください。以下のコーススケジュールの募集締めきりは延長される場合がございますので、ホームページにてご確認ください。

※2018年11月申込より、ACLS プロバイダー更新は、BLS プロバイダーの有効期限を問わない(有効期限が経過していても良い)といたしました。

JCS-ITC2019/03/02-03九州支部熊本中央病院 AHA ACLS プロバイダーコース

日 程：2019年3月2日(土)、3日(日)

会 場：熊本中央病院

コースディレクター：平井信孝(熊本地域医療センター 循環器内科)

2019年1月27日(日)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：熊本地域医療センター 循環器内科
平井信孝

Phone: 096-363-3311/Fax: 096-362-0222

E-mail: nobutaka@krmc.or.jp

JCS-ITC2019/03/09-10関東甲信越支部帝京大学板橋キャンパス AHA ACLS プロバイダーコース

日 程：2019年3月9日(土)、10日(日)

会 場：帝京大学板橋キャンパス

コースディレクター：金子一郎(帝京大学 医学部救急医学講座)

2019年2月6日(水)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局
佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2019/03/02-03東北支部秋田赤十字病院 AHA ACLS プロバイダーコース

日 程：2019年3月2日(土)、3日(日)

会 場：秋田赤十字病院

コースディレクター：藤田康雄(秋田赤十字病院)

2019年2月12日(火)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 東北支部講習会事務局
佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcsstohoku@acls-jcs.org

JCS-ITC2019/03/09-10四国支部徳島赤十字病院 AHA ACLS プロバイダーコース

日 程：2019年3月9日(土)、10日(日)

会 場：徳島赤十字病院

コースディレクター：當別當洋平(徳島赤十字病院)

2019年2月18日(月)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：徳島赤十字病院 當別當洋平

E-mail: tobetto325@yahoo.co.jp

JCS-ITC2019/03/09-10近畿支部和歌山県立医科大学 AHA ACLS プロバイダーコース

日 程：2019年3月9日(土)、10日(日)

会 場：和歌山県立医科大学

コースディレクター：加藤正哉(和歌山県立医科大学)

2019年2月10日(日)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：日本循環器学会近畿支部 清水光則

Phone: 06-6229-3456/Fax: 06-6229-2556

E-mail: jcsitc-kinki@congre.co.jp

JCS-ITC2019/03/09-10関東甲信越支部榊原記念病院 AHA ACLS プロバイダーコース

日 程：2019年3月9日(土)、10日(日)

会 場：榊原記念病院

コースディレクター：西成真琴(東芝林間病院 循環器内科)

2019年2月21日(木)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局
佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2019/03/16-17北海道支部国立病院機構 函館病院 AHA ACLS プロバイダーコース

日 程：2019年3月16日(土), 17日(日)
 会 場：国立病院機構 函館病院
 コースディレクター：高橋 弘(製鉄記念室蘭病院)
 2019年2月25日(月)まで募集(延長の場合あり)
 問合せ：日本循環器学会北海道支部事務局 横田 卓
 Phone: 011-706-6973/Fax: 011-706-7874
 E-mail: hokucirc@med.hokudai.ac.jp

JCS-ITC2019/03/16-17中国支部山口大学医学部 AHA ACLS プロバイダーコース

日 程：2019年3月16日(土), 17日(日)
 会 場：山口大学医学部
 コースディレクター：若松弘也(山口大学医学部附属病院 集中治療部)
 2019年3月6日(水)まで募集(延長の場合あり)
 問合せ：日本循環器学会中国支部事務局 大坪順子
 Phone: 080-2933-8695/Fax: 0836-22-2246
 E-mail: nichijun@yamaguchi-u.ac.jp

JCS-ITC2019/03/16-17関東甲信越支部本郷マッシュアップスタジオ AHA ACLS プロバイダーコース

日 程：2019年3月16日(土), 17日(日)
 会 場：本郷マッシュアップスタジオ
 コースディレクター：中山英人(埼玉医科大学病院 麻酔科)
 2019年2月27日(水)まで募集(延長の場合あり)
 問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局 佐々木和也
 Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244
 E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2019/03/16-17関東甲信越支部獨協医科大学 AHA ACLS プロバイダーコース

日 程：2019年3月16日(土), 17日(日)
 会 場：獨協医科大学
 コースディレクター：菊地 研(獨協医科大学 心臓・血管内科)
 2019年2月25日(月)まで募集(延長の場合あり)
 問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局 佐々木和也
 Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244
 E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2019/03/23-24四国支部近森教育研修センター AHA ACLS プロバイダーコース

日 程：2019年3月23日(土), 24日(日)
 会 場：近森教育研修センター
 コースディレクター：川井和哉(近森病院 循環器科)
 2019年3月8日(金)まで募集(延長の場合あり)
 問合せ：高知大学医学部・総合診療部 山崎聡子
 Phone: 088-880-2515/Fax: 088-880-2518
 E-mail: ahakts@mac.com

JCS-ITC2019/03/23-24近畿支部国立循環器病研究センター AHA ACLS プロバイダーコース

日 程：2019年3月23日(土), 24日(日)
 会 場：国立循環器病研究センター
 コースディレクター：田原良雄(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
 2019年2月24日(日)まで募集(延長の場合あり)
 問合せ：日本循環器学会近畿支部 清水光則
 Phone: 06-6229-3456/Fax: 06-6229-2556
 E-mail: jcsitc-kinki@congre.co.jp

JCS-ITC2019/03/23-24東海支部市立島田市民病院

日 程：2019年3月23日(土), 24日(日)
 会 場：市立島田市民病院
 コースディレクター：岩嶋大介(りんくう総合医療センター)
 2019年2月20日(水)まで募集(延長の場合あり)
 問合せ：日本循環器学会東海支部事務局 渡辺裕一
 Phone: 052-950-3365/Fax: 052-950-3370
 E-mail: jcs-tokai@congre.co.jp

JCS-ITC2019/04/06-07関東甲信越支部帝京大学板橋キャンパス AHA ACLS プロバイダーコース

日 程：2019年4月6日(土), 7日(日)
 会 場：帝京大学板橋キャンパス
 コースディレクター：金子一郎(帝京大学 医学部救急医学講座)
 2019年3月6日(水)まで募集(延長の場合あり)
 問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局 佐々木和也
 Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244
 E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2019/04/13-14東北支部弘前大学医学部附属病院 AHA ACLS プロバイダーコース

日 程：2019年4月13日(土), 14日(日)
 会 場：弘前大学医学部附属病院
 コースディレクター：西崎史恵(弘前大学 循環器内科)
 2019年4月4日(木)まで募集(延長の場合あり)
 問合せ：JCS-ITC 東北支部講習会事務局 佐々木和也
 Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244
 E-mail: aclsjcsstohoku@acls-jcs.org

**JCS-ITC2019/04/20-21 東北支部秋田赤十字病院
AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2019年4月20日(土), 21日(日)
会 場：秋田赤十字病院
コースディレクター：藤田康雄(秋田赤十字病院)
2019年4月2日(火)まで募集(延長の場合あり)
問合せ：JCS-ITC 東北支部講習会事務局 佐々木和也
Phone: 019-652-5406 / Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcostohoku@acls-jcs.org

**JCS-ITC2019/04/20-21 関東甲信越支部本郷マッシュ
アップスタジオ AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2019年4月20日(土), 21日(日)
会 場：本郷マッシュアップスタジオ
コースディレクター：中山英人(埼玉医科大学病院 麻
酔科)
2019年4月3日(水)まで募集(延長の場合あり)
問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局
佐々木和也
Phone: 019-652-5406 / Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

**JCS-ITC2019/05/11-12 関東甲信越支部帝京大学板橋
キャンパス AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2019年5月11日(土), 12日(日)
会 場：帝京大学板橋キャンパス
コースディレクター：金子一郎(帝京大学 医学部救急
医学講座)
2019年4月10日(水)まで募集(延長の場合あり)
問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局
佐々木和也
Phone: 019-652-5406 / Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

**JCS-ITC2019/05/18-19 関東甲信越支部本郷マッシュ
アップスタジオ**

2019年5月18日(土), 19日(日)
会 場：本郷マッシュアップスタジオ
コースディレクター：中山英人(埼玉医科大学病院 麻
酔科)
2019年4月25日(木)まで募集(延長の場合あり)
問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局
佐々木和也
Phone: 019-652-5406 / Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

●ACLS EP プロバイダー資格コース案内

コースの特徴：成人の心停止に対する二次救命処置を ACLS プロバイダーコースを学習した方が、さらにレベルアップするためのコースです。ACLS プロバイダーコースの知識・スキルを習得していることを前提として、心血管系エマージェンシー、心拍再開後ケア、臨床薬理および中毒学、呼吸および代謝のエマージェンシーにどう対応するかをディスカッション形式で学習していきます。

本コースを受講していただくことで、同時に ACLS プロバイダー資格を更新することができます。

受講料：18,000円

受講要件：有効期限内の ACLS プロバイダーカードまたはインストラクターカードを有すること

BLS プロバイダーカード-インストラクターカードの有効期限は問わない

追補1) 上記カード提示ができない場合は、受講当日であってもコースの受講をお断りすることがございますのでご注意ください。またカードを紛失している場合などは事前に各コースの責任者(コースディレクター)にご連絡ください。なお、受講希望者多数の場合には施設の重複を避けるなど、地域性も考慮して選考させていただきます。

対象者：原則として医療従事者：医師、救急集中治療の経験のある看護師など

追補1) ACLS プロバイダーとして実際の臨床経験を積んだ方で、心電図や病態の把握ができることが必要になります。

※下記コースの受講申込については、当会ホームページ「BLS/ACLS 講習会情報」ページよりオンラインフォームにてお申し込みください。

【G2015暫定コース】JCS-ITC2019/03/16関東甲信越支部相澤病院 AHA ACLS EP プロバイダーコース

日 程：2019年3月16日(土)

会 場：相澤病院

コースディレクター：宮澤 泉(長野赤十字病院 循環器科)

2019年2月25日(月)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局
佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

【G2015暫定コース】JCS-ITC2019/04/21関東甲信越支部本郷マッシュアップスタジオ AHA ACLS EP プロバイダーコース

日 程：2019年4月21日(日)

会 場：本郷マッシュアップスタジオ

コースディレクター：中山英人(埼玉医科大学病院 麻酔科)

2019年4月3日(水)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局
佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

【G2015暫定コース】JCS-ITC2019/03/24北海道支部国立病院機構北海道医療センター AHA ACLS EP プロバイダーコース

日 程：2019年3月24日(日)

会 場：国立病院機構 北海道医療センター

コースディレクター：高橋 弘(製鉄記念室蘭病院)

2019年3月4日(月)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：日本循環器学会北海道支部事務局 横田 卓

Phone: 011-706-6973/Fax: 011-706-7874

E-mail: hokucirc@med.hokudai.ac.jp

映像教材販売のご案内

教育研修映像販売のご案内

教育研修委員会

下記の教材1タイトルご購入につき、専門医研修単位が3単位加算されます。本体についている返信はがきに必要事項をご記入の上、切手を貼ってご郵送ください。ただし、単位の付加は、ご購入ご本人のみに限ります。単位受付は同じタイトルにつき1回限りの受付となりますのでご了承ください。

※なお、単位申請ハガキの受付には期限があります。詳細は下記の各DVD単位申請期間をご確認ください。

ご購入の申し込みは、日循ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>)の「刊行物購入のご案内」からオンラインでお受けしています。もしくはファックス(03-6368-9509)で、ご希望のタイトル、氏名、会員番号、お届け先住所、電話番号をお書き添えの上、お申込みください。

■循環器教育セッション

※DVD-ROMは家庭用DVDレコーダーでは再生できませんのでご注意ください

※座長所属はセッション開催時のもの。

第44回循環器教育セッション DVD-ROM ¥5,200(税込) 2016年3月18日(金)~20日(日)

単位申請期間：2018年3月31日

※研修単位の申請期間は終了しております。

セッション I

1. 慢性血栓塞栓性肺高血圧症における経皮的肺動脈形成術

座長：福本 義弘(久留米大学心臓血管内科)

2. 心房細動に対するクライオバルーンアブレーション

座長：沖重 薫(横浜みなと赤十字病院心臓病センター内科)

セッション II 心臓血管イメージングの最前線

座長：尾崎 行男(藤田保健衛生大学循環器内科)

竹石 恭知(福島県立医科大学循環器・血液内科学)

セッション III わが国における心臓移植

座長：布田 伸一(東京女子医科大学重症心不全制御学)

松居 喜郎(北海道大学循環器・呼吸器外科)

第45回循環器教育セッション DVD-ROM ¥5,200(税込) 2017年3月17日(金)~19日(日)

単位申請期間：2019年3月31日

セッション I

1. 心臓リハビリテーションでの運動療法の主体は有酸素持久運動か筋力トレーニングか？

座長：後藤 葉一(国立循環器病研究センター心臓血管内科・循環器病リハビリテーション部)

2. EVTの進歩とピットフォール—血管外科医の視点から—

座長：大木 隆生(東京慈恵会医科大学外科学講座)

セッション II 成人先天性心疾患の管理

座長：丹羽公一郎(聖路加国際病院心血管センター循環器内科)

赤木 禎治(岡山大学病院成人先天性心疾患センター)

セッション III 突然死の原因となる致死性不整脈に対する診断と治療

座長：池田 隆徳(東邦大学循環器内科学分野)

渡邊 英一(藤田保健衛生大学循環器内科)



購入し研修されると専門医研修単位が **3単位** 取得できます。

※単位の付加は、ご購入ご本人様のみに限ります。単位受付は同じタイトルにつき一回限りとなりますのでご了承ください。

発行予定
7月1日

(送料、税込)

DVD 購入者は

WEBでも ご視聴いただけます!

これ一枚で**51セッション** **242延べ座長・演者!**
55時間収録!

価格 **5,200円**

<収録内容>

美甘レクチャー (日本心臓財団美甘基金) 1セッション Minimalist Lessons from the First TAVI Program in Rouen A Journey from the Initial Case to Sustain Success	会長特別企画 1, 3～11, 13～18, 20～22 21セッション 01. 循環器領域におけるIoT技術の進歩 03. Case Report Award Session (CRAS) Surgery Session 04. Case Report Award Session (CRAS) Internal Medicine Session 05 (HF). LVAD～up-to-date and future～ 06. Meet the Editor-in-Chief of Circulation: Arrhythmia and Electrophysiology -How to Submit a Strong Manuscript 07. Asian Pacific CVS Summit 08. 個人情報法を踏まえた臨床研究のあり方 09. 新たな循環器専門医制度構築に向けての最近の動向(専門医制度委員会共同企画) 10-1. これからの心臓外科女性医師～男女共同参画に向けて～ 10-2. 医療界の202030～意識を変える・組織を変える～(男女共同参画委員会共同企画セッション) 10-3. 女性循環器医ネットワーク：JCS-JJC創設 11. 心血管疾患の臨床疫学研究の課題と展開～臨床から地域へ、地域から臨床へ～ 13. 生物統計が解決！臨床研究ビットフォール 14 (HF). 心不全における非薬物治療へのターニングポイントは？ 15 (HF). 複雑重症心不全とどう戦うか？～Two heads or Too many cooks?～ (U40心不全ネットワーク共同企画) 16. 緩和医療のFuturability～高度化する医療のなかで緩和・終末期医療を考える～ 17. 循環器救急疾患における診断と治療 18 (O). Onco-Cardiology～がんと循環器診療における新たな関係～ 20. 新しい時代を迎える大型血管炎の診断・治療の最前線 21. Futurability of Medical Device Development～Let's Lead theWorld by Bringing Together the Power of Industry, Government and Academia in Japan and the United States～ 22. 地域をまもる～各地での地域医療連携の取り組み～
真下記念講演 1セッション Recent Progress in iPS Cell Research and Application	会長特別講演 2 1セッション IL-6, Anti-IL-6R Antibody and Arid5A for the Therapy of Autoimmune Diseases Including Aortitis as Well as Septic Shock
会長講演 1セッション "Futurability" for Cardiology and Cardiovascular Surgery	特別講演 1～10 10セッション 01. GI Bleeding during LVAD Support: Pathophysiology and Therapy 02. Enhancing Engraftment with Epicardial-Derived Cells and a Notch-Signaling Hydrogel 03. iPS Cells Derived Cardiac Progenitors and Smarter Exosomes from Engineered Stem Cells for Cardiac Repair 04. History and Future Outlook on the Development of Cardiovascular Surgical Techniques 05. History and Future Outlook of Cardiovascular Surgery 06. Mesenchymal Stem Cells, Cardiac Reparative Macrophages and Myocardial Infarction 07. Observations on the Pathogenesis of Atherosclerosis 08. Current Situation and Future Outlook of Surgeries for Congenital Heart Diseases 09. Diabetic Foot Care as a Model for Health Systems Evolution and Innovation in the Era of NCDs (Non-communicable Diseases) 10. Seize the Opportunity of The Times to Promote the Quality of Cardiovascular Surgery in China
代表理事講演 1セッション Aims of Our JCS	招待講演 1～3 3セッション 01. Efficacy of a Wearable Cardioverter-Defibrillator after Myocardial Infarction: Results of the Vest Prevention of Early Sudden Death Trial (VEST) 02. Beyond Statins: Where to in 2018? 03. Anticoagulation for Stroke Prevention in Atrial Fibrillation: Current Status and Future Perspectives
大阪宣言 1セッション "まごころ"のおくりもの～みんなでつなごう心臓移植～	プレナリーセッション 1～9 9セッション 01 (HF). "Futurability" of Therapeutic Strategy of Heart Failure 02 (A). Recent Progress in Catheter Ablation for Ventricular Tachyarrhythmias 03 (IM). The Recent Advances in the Assessment of Valvular Heart Diseases with Imaging Modalities 04. Futurability of Regeneration Therapy 05 (O). Multilayered Cardiovascular Genetics 06 (P). Surgical Treatment and Re-intervention for Adults with Congenital Heart Disease 07 (CAD). Translational Research for Coronary Artery Disease 08 (HF). Revolutionary Strategy for Heart Failure Prevention 09 (IM). Development of Imaging in the Assessment of Myocardial Ischemia
臓器移植法制定20周年記念鼎談 1セッション	
会長特別講演 2 1セッション IL-6, Anti-IL-6R Antibody and Arid5A for the Therapy of Autoimmune Diseases Including Aortitis as Well as Septic Shock	
国際名誉会員就任講演 1セッション The History of Cardiac Catheterization	
特別講演 1～10 10セッション 01. GI Bleeding during LVAD Support: Pathophysiology and Therapy 02. Enhancing Engraftment with Epicardial-Derived Cells and a Notch-Signaling Hydrogel 03. iPS Cells Derived Cardiac Progenitors and Smarter Exosomes from Engineered Stem Cells for Cardiac Repair 04. History and Future Outlook on the Development of Cardiovascular Surgical Techniques 05. History and Future Outlook of Cardiovascular Surgery 06. Mesenchymal Stem Cells, Cardiac Reparative Macrophages and Myocardial Infarction 07. Observations on the Pathogenesis of Atherosclerosis 08. Current Situation and Future Outlook of Surgeries for Congenital Heart Diseases 09. Diabetic Foot Care as a Model for Health Systems Evolution and Innovation in the Era of NCDs (Non-communicable Diseases) 10. Seize the Opportunity of The Times to Promote the Quality of Cardiovascular Surgery in China	
招待講演 1～3 3セッション 01. Efficacy of a Wearable Cardioverter-Defibrillator after Myocardial Infarction: Results of the Vest Prevention of Early Sudden Death Trial (VEST) 02. Beyond Statins: Where to in 2018? 03. Anticoagulation for Stroke Prevention in Atrial Fibrillation: Current Status and Future Perspectives	

※本DVD-ROMはDVD-Videoプレイヤーでは再生できません。
セキュリティの観点よりインターネット接続状態のPCでご視聴が可能となります。

お申込みはインターネットまたはFAXでもお申込み頂けます。

日本循環器学会ホームページから、又は、https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd にアクセスしてください。

DVDに収録されている座長・演者名(ご所属)及び演題名もご覧いただけます。

■お問い合わせ先

株式会社 メディカルビスタ

TEL 0120-046-844

FAX : 03-6368-9509

Mail : jcsdvd@medicalvista.jp

第82回日本循環器学会学術集会 DVD-ROMのお申込

価格 1部 ¥5,200 (送料、税込)

お申込方法

① インターネットの場合

日本循環器学会ホームページ (<http://www.j-circ.or.jp>) 「刊行物購入のご案内」から、
又は、次のURLにアクセスしお申込ください。

https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd

② FAXの場合

下記お申込書にご記入頂き、**03-6368-9509** まで FAX にてお申込ください。

お支払方法

<お申込者個人名の場合>

■銀行振込、■郵便振替、又は■クレジットカード払いの何れかでお支払いください。

お申込受付後、ご指定いただいたお支払い方法についてのご案内をお送り致します。

ご送付先は、E-Mail アドレスのご記入がある場合 E-mail アドレス宛に、E-mail アドレスのご記入がない場合、
FAX 番号宛にお送りいたします。上記の何れかの方法でお支払いください。

DVDの発送はお支払い確認後、随時対応します。

<団体又は法人名の場合>

請求書、納品書、領収書等の発行を必要とされる場合、その他通信欄にご記入下さい。

DVD納品後のお支払いにつきましてもお申し出いただければ可能です。

第82回 学術集会 DVD-ROM のお申込書

(FAX 番号、又は E-mail アドレスのどちらか必ずご記入ください。)

年 月 日

フリガナ お名前	申込部数	会員番号
ご所属	お支払方法 <input type="checkbox"/> 銀行振込 <input type="checkbox"/> 郵便振替 <input type="checkbox"/> クレジットカード払い (要 E-mail アドレス)	
ご住所 (ご送付先) 〒	<input type="checkbox"/> ご所属先 <input type="checkbox"/> ご自宅	
ご連絡先 TEL :	FAX :	
E-mail アドレス	@	
その他通信欄		

JCS82

<ご提供いただきます個人情報は、個人情報保護法に準拠して取扱います>

企画著作 一般社団法人日本循環器学会

制作販売受託

株式会社メディカルビスタ 日循 DVD-ROM 事務局

☎ 0120-046-844 (9:30-18:30) FAX: 03-6368-9509

E-mail: jcsdvd@medicalvista.jp



JCS2018

第46回 循環器教育セッション

会場：堂島リバーフォーラム 日時：2018年3月23～25日

発行予定
7月2日

DVD-ROM発売!!

DVD購入者はWEBでもご視聴いただけます。

価格 **5,200円** (送料、税込)

購入し研修されると専門医研修単位が **3単位** 取得できます。

※単位の付加は、ご購入ご本人様のみに限ります。単位受付は同じタイトルにつき一回限りとなりますのでご了承ください。

お申込みはインターネットまたは FAX でもお申込み頂けます。

日本循環器学会ホームページから、又は、https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd にアクセスしてください。

<収録内容>

教育セッションⅠ (ビデオセッション)

学会1日目 3月23日(金) 15:50～17:50

1. 経カテーテル弁膜症治療の Pit fall ～私はこうしている～

座長：
高山 守正 (榊原記念病院 循環器内科)
志水 秀行 (慶應義塾大学 外科 (心臓血管))

演者：
大野 洋平 (東海大学 循環器内科)
前田 孝一 (大阪大学 心臓血管外科)

2. PCI の神髄を極める

座長：
小林 欣夫 (千葉大学 循環器内科)
安藤 献児 (小倉記念病院 循環器内科)

演者：
角辻 暁 (大阪大学 国際循環器学)
中村 淳 (新東京病院)

教育セッションⅡ：

循環器内科各分野の新しいエビデンスをどう日本で活用していくか①

学会2日目 3月24日(土) 8:00～10:00

1. 不整脈

座長：
池田 隆徳 (東邦大学 循環器内科)
渡邊 英一 (藤田保健衛生大学 循環器内科)

演者：
香坂 俊 (慶應義塾大学 循環器内科)
庭野 慎一 (北里大学 循環器内科)
井上 耕一 (桜橋渡辺病院 心臓血管センター 不整脈科)

2. 心臓リハビリテーション

座長：
増山 理 (兵庫医科大学 内科学循環器内科)
元山 貞子 (藤田保健衛生大学 循環器内科)

演者：
長山 雅俊 (榊原記念病院 総合診療部)
井澤 英夫 (藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 循環器内科)

3. 倫理

座長：
尾崎 行男 (藤田保健衛生大学 循環器内科)
田邊 健吾 (三井記念病院 循環器内科)

演者：
前村 浩二 (長崎大学 循環器内科)

教育セッションⅢ：

循環器内科各分野の新しいエビデンスをどう日本で活用していくか②

学会3日目 3月25日(日) 10:00～12:00

1. 虚血

座長：
中川 義久 (天理よろづ相談所病院 循環器内科)
上妻 謙 (帝京大学 循環器内科)

演者：
松尾 仁司 (岐阜ハートセンター 循環器内科)
田邊 健吾 (三井記念病院 循環器内科)

2. 心不全

座長：
志賀 剛 (東京女子医科大学 循環器内科)
佐藤 直樹 (日本医科大学武蔵小杉病院 循環器内科)

演者：
吉川 勉 (榊原記念病院 循環器内科)
野出 孝一 (佐賀大学 循環器内科)

3. 高血圧

座長：
代田 浩之 (順天堂大学 循環器内科)
赤石 誠 (東海大学医学部付属東京病院 循環器内科)

演者：
栗木 宏実 (大阪大学 老年・総合内科学)
刈尾 七臣 (自治医科大学 循環器内科)

●動作環境

※本DVD-ROMはDVD-Videoプレイヤーでは再生できません。
セキュリティの観点よりインターネット接続状態のPCでご視聴が可能となります。

Windows _____
2.33GHz以上のx86互換プロセッサ
512MB以上のRAM (1GB以上推奨)、128MB以上のグラフィックメモリ
プラットフォーム：Windows Vista、Windows 7、Windows 8.1、Windows 10
ブラウザ：最新バージョンのMicrosoft Internet Explorer、Microsoft Edge、Mozilla Firefox、Google Chrome、Opera
プラグインソフトウェア：Adobe Flash Player

Macintosh _____
Intel Core Duo 1.83GHz以上のプロセッサ
512MB以上のRAM (1GB以上推奨)、128MB以上のグラフィックメモリ
プラットフォーム：Mac OS X v10.6以降
ブラウザ：最新バージョンのSafari、Mozilla Firefox、Google Chrome、Opera
プラグインソフトウェア：Adobe Flash Player

※最終的にDVDに収録される内容は演者の先生方のご同意の得られた内容が対象になります。

■お問い合わせ先

株式会社 メディカルビスタ

TEL 0120-046-844

FAX : 03-6368-9509

Mail : jcsdvd@medicalvista.jp

第46回 循環器教育セッションDVD-ROMのお申込

価格 1部 ¥5,200 (送料、税込)

お申込方法

① インターネットの場合

日本循環器学会ホームページ (<http://www.j-circ.or.jp>) 「刊行物購入のご案内」から、
又は、次のURLにアクセスしお申込ください。

https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd

② FAXの場合

下記お申込書にご記入頂き、**03-6368-9509** まで FAX にてお申込ください。

お支払方法

<お申込者個人名の場合>

■銀行振込、■郵便振替、又は■クレジットカード払いの何れかでお支払いください。

お申込受付後、ご指定いただいたお支払い方法についてのご案内をお送り致します。

ご送付先は、E-Mail アドレスのご記入がある場合 E-mail アドレス宛に、E-mail アドレスのご記入がない場合、FAX 番号宛にお送りいたします。上記の何れかの方法でお支払いください。

DVDの発送はお支払い確認後、随時対応します。

<団体又は法人名の場合>

請求書、納品書、領収書等の発行を必要とされる場合、その他通信欄にご記入下さい。

DVD納品後のお支払いにつきましてもお申し出いただければ可能です。

第45回 循環器教育セッションDVD-ROMのお申込書

(FAX 番号、又は E-mail アドレスのどちらか必ずご記入ください。)

年 月 日

フリガナ お名前	申込部数	会員番号
ご所属	お支払方法 <input type="checkbox"/> 銀行振込 <input type="checkbox"/> 郵便振替 <input type="checkbox"/> クレジットカード払い	
ご住所(ご送付先) 〒	<input type="checkbox"/> ご所属先 <input type="checkbox"/> ご自宅	
ご連絡先 TEL :	FAX :	
E-mail アドレス	@	
その他通信欄		

JCS_ES46

<ご提供いただきます個人情報、個人情報保護法に準拠して取扱います>

事務局からのお知らせ

〈住所／勤務先変更の届出について〉

毎月の「CJ」や各地方会の開催案内、プログラム等を確実にお手許にお届けできるよう、適時、住所／勤務先変更の届出をお願いしております。

ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>)より、「会員事務手続き」にて変更登録をお願い致します。または、次ページの「登録事項変更届」をご利用ください。

なお、学会活動や医療情報などに関する重要なお知らせをEメールで積極的に発信してまいりますので、可能な限りEメールアドレスをお届け下さいますようお願い致します。

〈会員限定 HP へのアクセス等について〉

- UMIN(大学病院医療情報ネットワーク)のIDを利用しての会員のみアクセス制限をしております。
- 新規ご入会の先生につきましては、ご入会手続き後にお持ちのUMINIDをお伺い致します。お持ちでない方はUMINIDの取得申請を代行しております。

● 学会に関する問い合わせは下記事務局までご連絡下さい。

(一社)日本循環器学会

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

各業務担当メールアドレス・電話番号のご案内		
	メールアドレス	電話番号
代表(下記のどの担当か不明の場合)	admin@j-circ.or.jp	03-5501-0861
登録事項変更・入会・退会等	henkou@j-circ.or.jp	
Circulation Journal	cj@j-circ.or.jp	
Circulation Reports	cr@j-circ.or.jp	
地方会	chihokai@j-circ.or.jp	
BLS/ACLS 関連(AHA 心肺蘇生法講習)	itc@j-circ.or.jp	
IT/Database(JROAD 他)関連	itdatabase@j-circ.or.jp	
ダイバーシティ	divercity@j-circ.or.jp	
ガイドライン関連	jcsGL@j-circ.or.jp	
学術集会	meeting@j-circ.or.jp	03-5501-0862
各請求書・年会費等	keiri@j-circ.or.jp	03-5501-0863
予防関連	j-yobou@j-circ.or.jp	
禁煙	nonsmoking@j-circ.or.jp	
専門医	senmoni@j-circ.or.jp	03-5501-0864
国際交流	international@j-circ.or.jp	
国内交流	kokunai@j-circ.or.jp	

FAX(業務共通)

03-5501-9855

ホームページ URL

<http://www.j-circ.or.jp/>

一般社団法人 日本循環器学会

登録事項変更届

[ホームページからお届けいただけます]

TEL (03) 5501-0861

FAX (03) 5501-9855

E-mail: henkou@j-circ.or.jp

Web: <http://www.j-circ.or.jp/>

会員番号:	【6桁】	生年月日:	年	月	日 (歳)
フリガナ:					
会員氏名:					
(旧姓名:)					
勤務先:					
名称					
部・科					
役職					
所在地 〒 -					
代表 TEL () - FAX () -					
内線					
直通 TEL () - FAX () -					
旧勤務先名称:					
自宅: 〒 -					
TEL () - FAX () -					
旧自宅住所:					
E-mail:					
変更希望日: 年 月 日 変更			郵送物送付先(連絡先): <input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅		
英文誌 Circulation Journal の有償送付(年額 4,000 円)を: <input type="checkbox"/> 希望する(正会員のみ) <input type="checkbox"/> 希望しない					
会告の有償送付(年額 1,000 円)を: <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない					
退 会 届【退会希望者のみ記入】 ※年会費の未納分がある場合、納入があった年度の末日をもって退会となります。 年 月 日をもって退会します。					
退会事由:					
事務局への通信欄:					

*ご提供いただきました個人情報は、学会サービスの提供その他本会の事業目的に沿って行う活動およびこれに付随する業務を行う目的の範囲内においてのみ利用させていただきます。

*メールにおける情報発信を積極的に行ってまいります。メールアドレスの変更・登録を是非お願いいたします。